

平成25年度

**市政世論調査概要**

第67集

和歌山市



## はじめに

近年、安倍政権の経済政策の効果により、景気は着実に上向き、和歌山市においても、景気動向調査等で景気の上昇が確認できるどころです。今年4月に消費税率が8%に引き上げられ、景気への影響が懸念されますが、安定した社会保障制度を早期に確立することで、持続的な成長への道筋が見えてくると考えます。

さて、今年には「和歌山ディスティネーションキャンペーン」や「紀伊山地の霊場と参詣道世界遺産登録10周年」など「和歌山」が注目される年であります。これを絶好の機会ととらえ、和歌山市に来られる方々を「おもてなしの心」で歓迎し、万葉の時代から人々を魅了し続ける、四季折々の食・文化・歴史が凝縮されたこの「和歌山市の魅力」を市内外に積極的に発信し、そして、いよいよ来年開催となった「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」の盛り上がりにつなげていきたいと思っております。

そのためには、行政だけでなく市民の皆様のご協力が必要です。これまで、「市民力」「基盤力」「観光力」の3つの磨きに重点を置き、さらに「いのちを守る」「人と文化を育てる」「ふるさと力を高める」といった新しい視点を加え、「元気わかやま市」の実現への基礎を固め、道筋をつけてきました。この道筋を引き継ぎ、市民一人ひとりが「ふるさとに誇りを持ち、住んでいてよかったと実感できるまち」の実現を目指し、「未来への架け橋」を築きたいと思っております。

この冊子は、これらの状況を踏まえ、アンケート調査した結果を市政に最大限活用し、今後の施策や計画に反映させていただくことを目的とした貴重な資料であります。

ここに平成25年度市政世論調査概要（第67集）をとりまとめましたので、関係各位におかれましては、ご活用いただければ幸いです。

終わりに、この調査を実施するにあたり、ご協力いただきました市民の皆様に厚くお礼申し上げます。

和歌山市長 大橋 建一



### 和歌山市き章（明治42年制定）

和歌山市は三方山に囲まれ、西は紀伊水道をへだてて、淡路島、四国が見える風光明媚な温暖の地である。

その和歌山市の力強い発展をき章が表している。

すなわち、山の形の印は、和歌山市は三方山に囲まれているので、その地形を表し、白い矢印は和歌山市発展の勢いを表す（三方の山を貫く市民の力）。

○ はワカ山のカ（カタカナ文字）を図案化したもの。

和 は和カヤマの和を表している。

（色は決まっていない。）

### 市民憲章（昭和41年11月3日制定）

わたくしたちは、和歌山市民であることに誇りをもち、平和で豊かなまちをつくるため、市民の心がまえを定めます。

- ① 自然を愛し、きれいなまちをつくりましょう。
- ② 互いにたすけあい、希望にみちたまちをつくりましょう。
- ③ きめごとを守り、人に迷惑をかけない市民になりましょう。
- ④ 仕事に誇りをもち、たくましい市民になりましょう。
- ⑤ 教養を高め、視野の広い市民になりましょう。

## 目 次

<b>I. 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の内容.....	1
3. 調査の方法.....	1
4. 集計区分 .....	2
5. 回答者の属性.....	3
6. 回答者の家族環境.....	6
<b>II. 調査の結果</b> .....	<b>9</b>
1. 市政一般について.....	9
2. 地域の助け合いについて.....	10
3. 消防・防災について.....	18
4. 防犯対策について.....	36
5. 消費者意識について.....	40
6. 国民体育大会・全国障害者スポーツ大会について.....	44
7. 男女共生について.....	46
8. 男性の育児参加について.....	47
9. 健康について.....	49
10. スポーツについて.....	64
11. 日常の買い物環境について.....	68
12. 家庭での動物の飼育状況について.....	69
13. 市民公益活動について.....	71
14. 節水について.....	75
15. 生ごみの処理について.....	81
16. 和歌山市の広報について.....	82
17. 市政運営について.....	87
18. 和歌山市の取組みに対しての満足度・重要度について.....	89
19. 和歌山市の市政について（自由意見）.....	101
<b>III. 調査票</b> .....	<b>109</b>

### ※報告書利用にあたって

- 図および表中の比率は、小数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。
- 複数の回答を依頼した質問では、比率の合計が100%を超えています。
- 図中の「n」とは、質問別の該当対象者数を示し、比率は「n」を100%として表示しています。「n」が調査母数の場合は表示していません。今年度は「971」となっています。
- 年齢層別クロス集計について、18～19歳は回答数が少ないため、本調査の結果が和歌山市における当該年齢層の傾向と異なる可能性があることをご理解の上、調査結果をご覧下さい。

\*\*\*\*\*

## 調査の概要

\*\*\*\*\*



# I. 調査の概要

## 1. 調査の目的

和歌山市では毎年「市政世論調査」を行い、市民の希望や意識について調査し、市政運営のための基礎資料として活用している。

## 2. 調査の内容

- 市政一般について
- 地域の助け合いについて
- 消防・防災について
- 防犯対策について
- 消費者意識について
- 国民体育大会・全国障害者スポーツ大会について
- 男女共生について
- 男性の育児参加について
- 健康について
- スポーツについて
- 日常の買い物環境について
- 家庭での動物の飼育状況について
- 市民公益活動について
- 節水について
- 生ごみの処理について
- 和歌山市の広報について
- 市政運営について
- 和歌山市の取組みに対しての満足度・重要度について
- 和歌山市の市政について（自由意見）

## 3. 調査の方法

- ◆ 調査区域           和歌山市全域
- ◆ 調査対象           平成 25 年 6 月 24 日現在、和歌山市に居住する満 18 歳以上の男女を等間隔無作為抽出
- ◆ 調査方式           郵送による配布・回収
- ◆ 調査期間           平成 25 年 7 月 16 日(火)～同 7 月 31 日(水)
- ◆ 回収率             発送数 2,000 人  
回収数 971 人  
回収率 48.6%
- ◆ 調査機関           和歌山市広報広聴課（対象者の抽出およびアンケートの策定）  
（株）都市空間研究所（配布・回収・集計・取りまとめ）



#### 4. 集計区分

居住区は全市内 42 地区で調査したが、下表のとおり 6 地域にとりまとめ集計した。

##### 1. 中心部

本町・城北・広瀬・雄湊・大新・新南・吹上・砂山・今福・高松・芦原・宮前・中之島・宮北

##### 2. 南部

雑賀・雑賀崎・和歌浦・名草・田野

##### 3. 東部

四箇郷・宮・西和佐・和佐・小倉

##### 4. 東南部

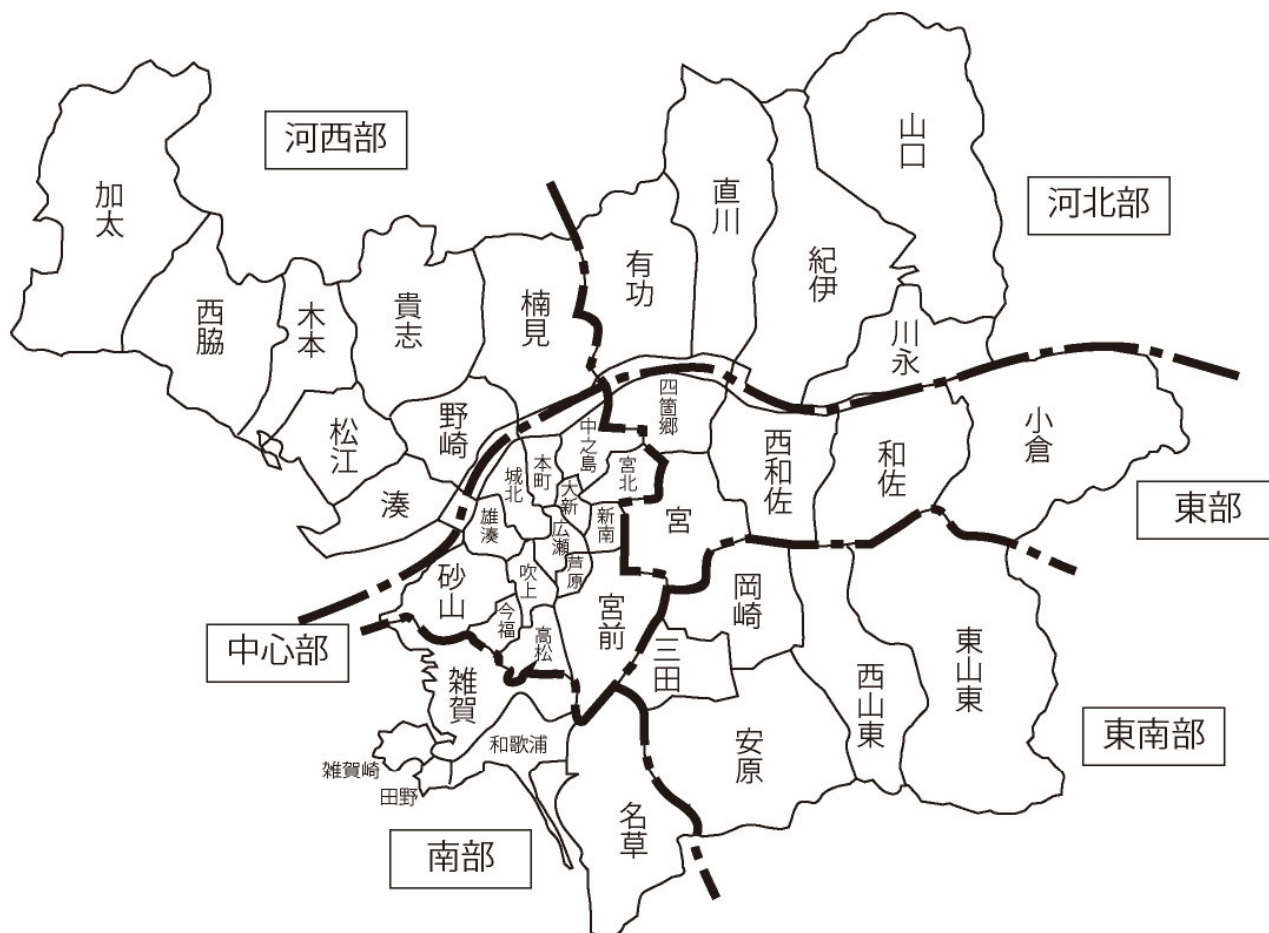
岡崎・三田・安原・西山東・東山東

##### 5. 河西部

野崎・湊・松江・楠見・貴志・木本・西脇・加太

##### 6. 河北部

有功・直川・紀伊・川永・山口



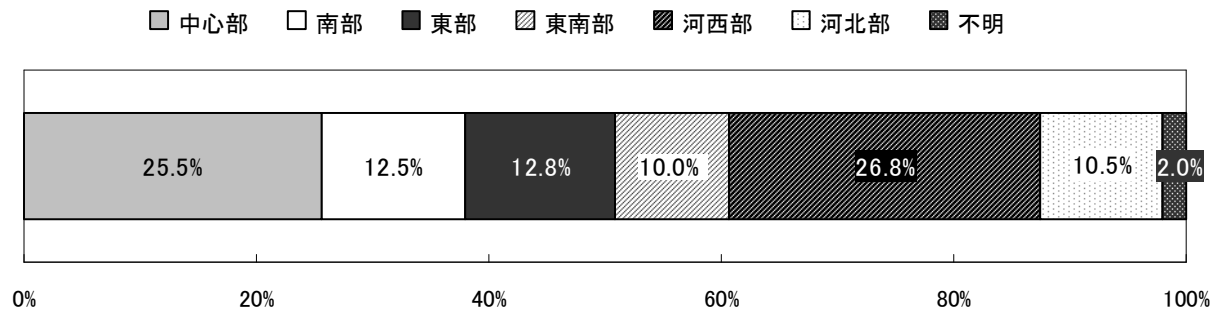
## 5. 回答者の属性

回答者の属性について、アンケートの問1～問5の結果を集計した。

区分		総数	18歳 ～ 19歳	20歳 代	30歳 代	40歳 代	50歳 代	60歳 代	70歳 代	80歳 以上	不明
総数		971	16	64	107	142	154	231	204	47	6
地域別	中心部	248	3	14	25	44	41	54	54	11	2
	南部	121	2	7	11	18	19	28	32	4	0
	東部	124	4	6	13	16	18	31	26	9	1
	東南部	97	1	9	14	11	21	17	19	4	1
	河西部	260	3	22	33	36	36	68	50	11	1
	河北部	102	3	6	11	15	14	28	18	6	1
	不明	19	0	0	0	2	5	5	5	2	0
性別	男性	421	9	29	44	68	67	98	82	21	3
	女性	531	7	35	63	74	87	122	116	24	3
	不明	19	0	0	0	0	0	11	6	2	0
職業別	会社員	205	2	25	40	57	53	22	4	1	1
	自営業	70	0	1	4	11	9	28	15	2	0
	農林水産業	14	0	0	0	0	3	5	5	1	0
	公務員	29	0	4	3	7	12	3	0	0	0
	パート・アルバイト	125	0	10	14	31	33	27	10	0	0
	専業主婦	200	0	5	37	21	27	66	42	1	1
	学生	26	12	14	0	0	0	0	0	0	0
	無職	257	0	1	5	7	11	66	125	38	4
	その他	37	1	4	4	7	6	11	3	1	0
	不明	8	1	0	0	1	0	3	0	3	0
居住年数別	1年未満	13	0	3	5	2	1	1	0	1	0
	1～3年未満	19	1	7	3	2	1	1	1	2	1
	3～5年未満	20	0	3	8	5	0	3	1	0	0
	5～10年未満	29	0	2	16	4	4	1	1	1	0
	10～20年未満	69	15	6	5	23	5	10	4	1	0
	20～30年未満	102	0	43	17	9	18	10	2	2	1
	30年以上	719	0	0	53	97	125	205	195	40	4
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

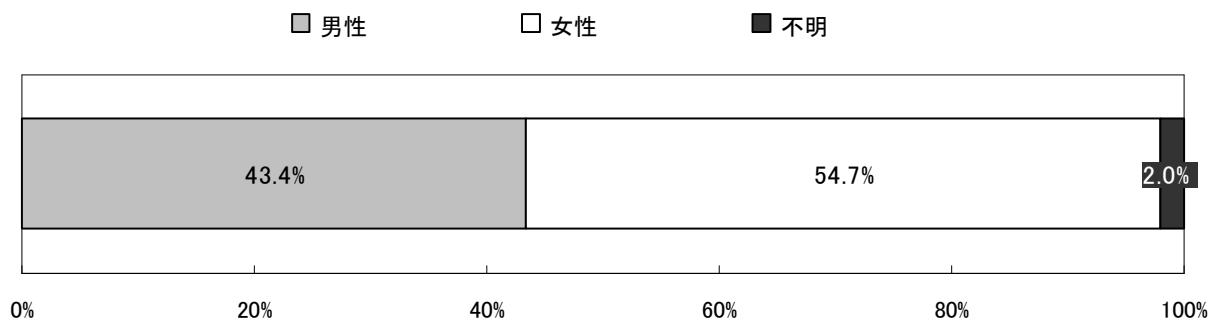
## 【居住区】

回答者は「河西部」(26.8%)が最も多く、次いで「中心部」(25.5%)、「東部」(12.8%)の順となっている。



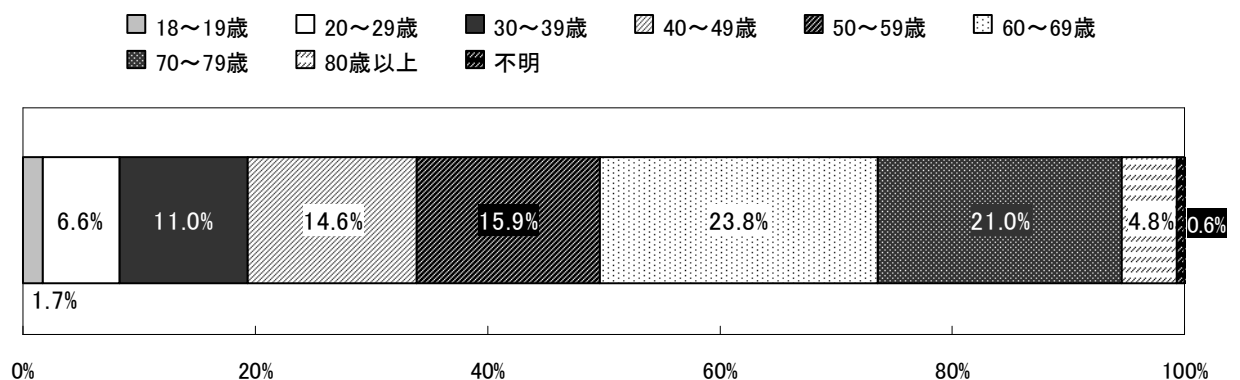
## 【性別】

男女別構成比は「女性」54.7%、「男性」43.4%で女性がやや多くなっている。



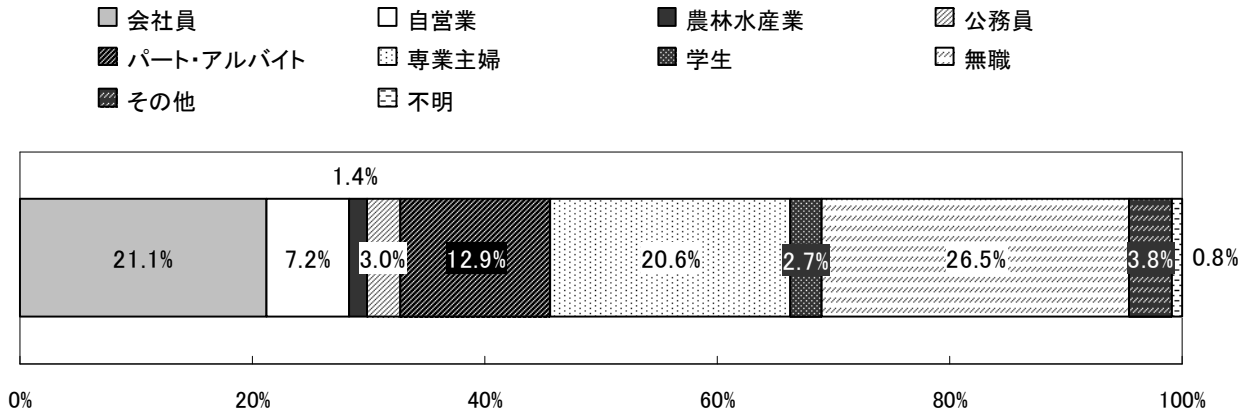
## 【年齢】

回答者は「60～69歳」(23.8%)が最も多く、次いで「70～79歳」(21.0%)となっている。



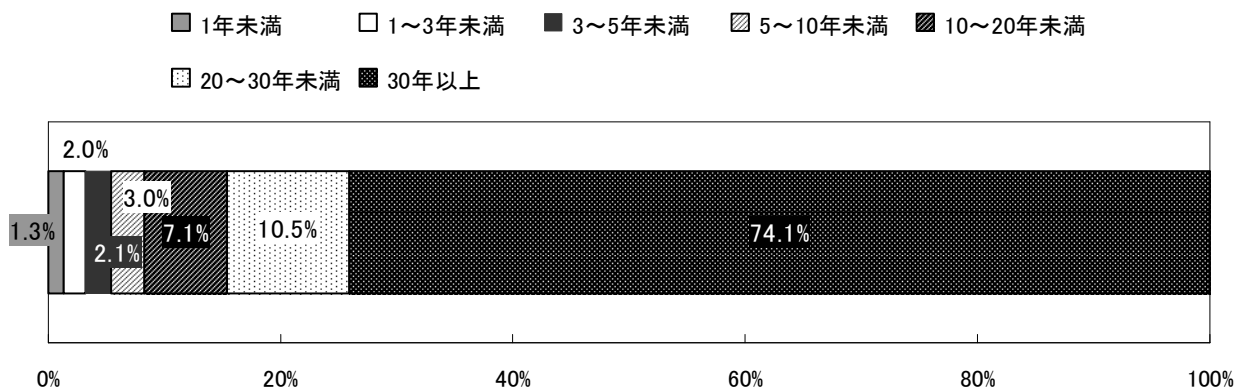
## 【職業】

回答者は「無職」(26.5%)、「会社員」(21.1%)、「専業主婦」(20.6%)、「パート・アルバイト」(12.9%)の順となっている。



## 【居住年数】

和歌山市に住んでいる年数は「30年以上」の居住者が74.1%で、「5年未満」は5.4%となっている。



## 6. 回答者の家族環境

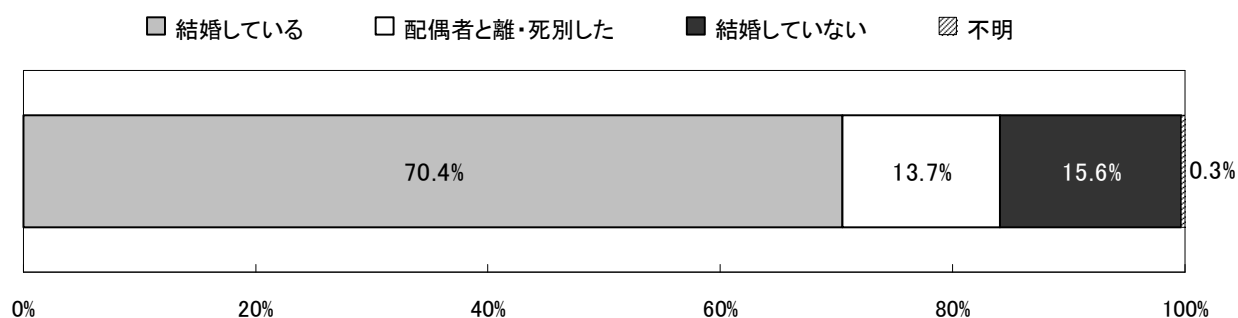
回答者の家族環境について、アンケートの問6～問7の結果を集計した。

### 問6 結婚

あなたは現在結婚をしていますか？

1. 結婚している      2. 配偶者と離・死別した      3. 結婚していない

「結婚している」は70.4%、「結婚していない」は15.6%である。「配偶者と離・死別した」は13.7%となっている。



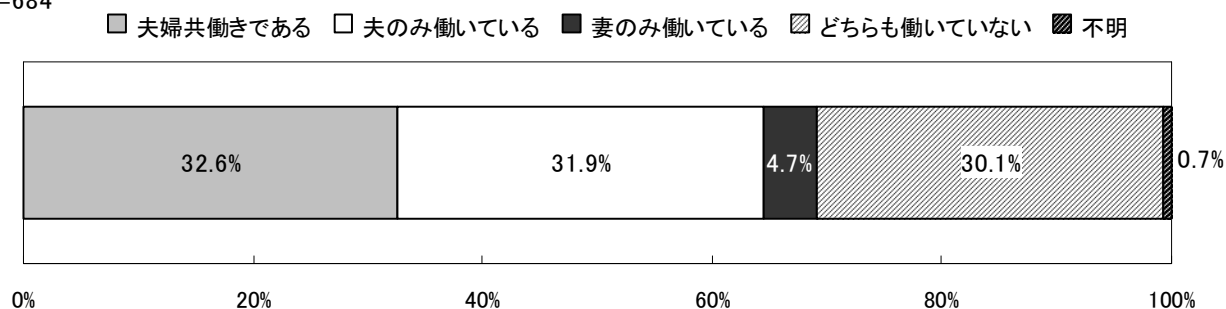
### 問6-1 共働き

問6で「1. 結婚している」と回答された方のみお答えください。夫婦とも働いていますか？

1. 夫婦共働きである      2. 夫のみ働いている  
3. 妻のみ働いている      4. どちらも働いていない

問6で「結婚している」と回答した684人のうち、「夫婦共働きである」(32.6%)が最も多く、「夫のみ働いている」(31.9%)をやや上回る。「どちらも働いていない」は30.1%となっている。

n=684

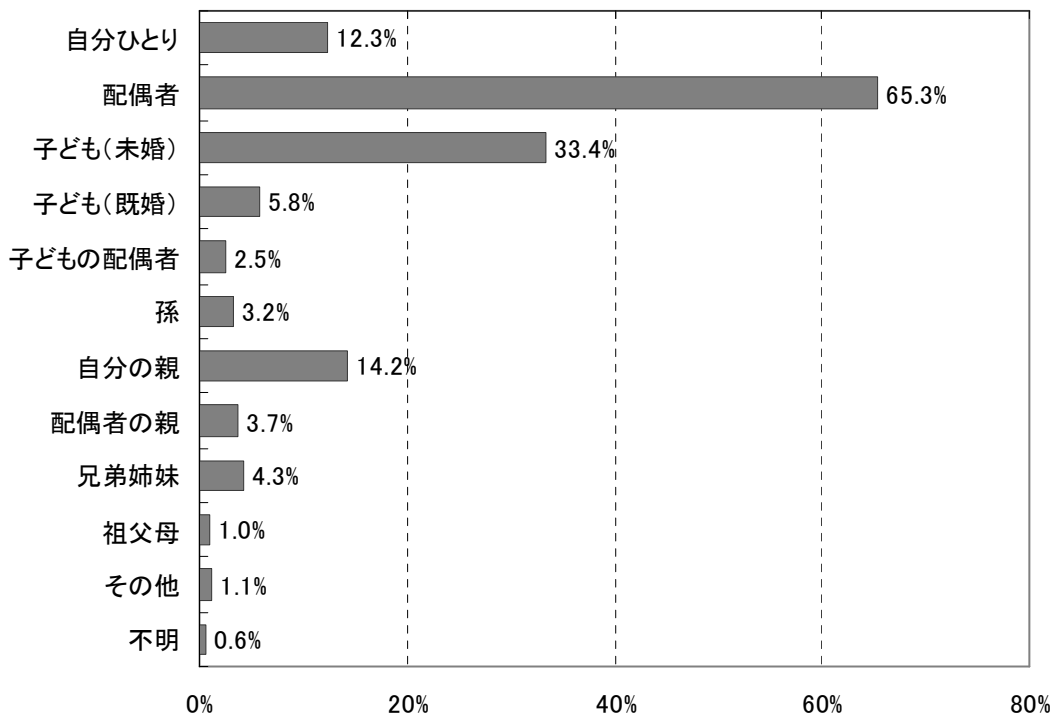


## 問7 家族構成

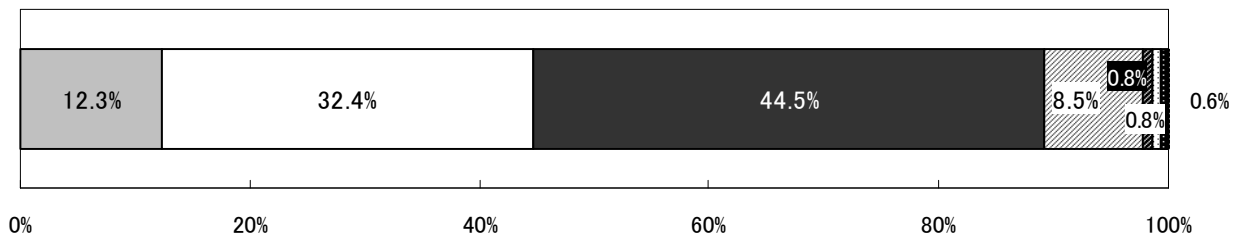
あなたは現在、どなたと一緒に住まいますか？該当するものをすべてお選びください。

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. 自分ひとり   | 2. 配偶者     | 3. 子ども（未婚） |
| 4. 子ども（既婚） | 5. 子どもの配偶者 | 6. 孫       |
| 7. 自分の親    | 8. 配偶者の親   | 9. 兄弟姉妹    |
| 10. 祖父母    | 11. その他（   | ）          |

同居人としては「配偶者」が65.3%と最も多く、次いで「子ども(未婚)」(33.4%)、「自分の親」(14.2%)となっている。回答により家族構成を分類すると「2世代世帯」(44.5%)が最も多く、次いで「夫婦のみ世帯」(32.4%)、「単独世帯」(12.3%)、「3、4世代世帯」(8.5%)の順となっている。



単独世帯
  夫婦のみ世帯
  2世代世帯
  3、4世代世帯
  その他の親族世帯
  その他
  不明



\*\*\*\*\*

## 調査の結果

\*\*\*\*\*





## Ⅱ. 調査の結果

### 1. 市政一般について

#### 問8 ご自身の状況や考え方について

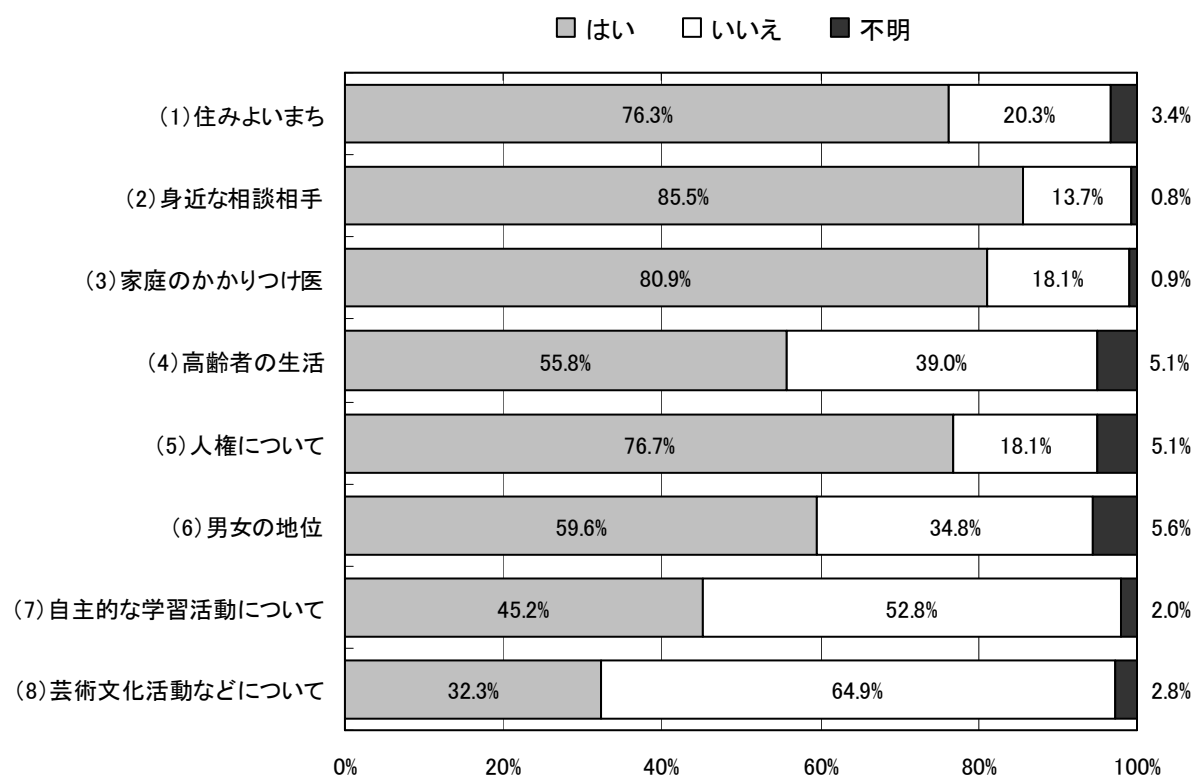
あなたご自身の状況や考え方についてお答えください。

- (1) 和歌山市が住みよいまちだと感じていますか？
- (2) 身近に相談したり、助けてもらえる人がいますか？
- (3) ご家庭のかかりつけ医はありますか？
- (4) 高齢者が住み慣れた地域で充実した生活を送れていると思いますか？
- (5) あなたの身の回りで人権が守られていると思いますか？
- (6) あなたの身の回りで男女の地位が平等になっていると思いますか？
- (7) 日頃から趣味や関心のあるテーマについて、自主的に学習活動を行っていますか？
- (8) 日頃から芸術文化活動を行い、又は鑑賞する機会をもっていますか？

1. はい

2. いいえ

ご自身の状況や考え方について、「はい」の割合は「身近に相談したり、助けてもらえる人がいますか」が 85.5%と最も高く、次いで「ご家庭のかかりつけ医はありますか」が 80.9%となっている。「いいえ」の割合は「日頃から芸術文化活動を行い、又は鑑賞する機会をもっていますか」(64.9%)と「日頃から趣味や関心のあるテーマについて、自主的に学習活動を行っていますか」(52.8%)が50%を超えている。



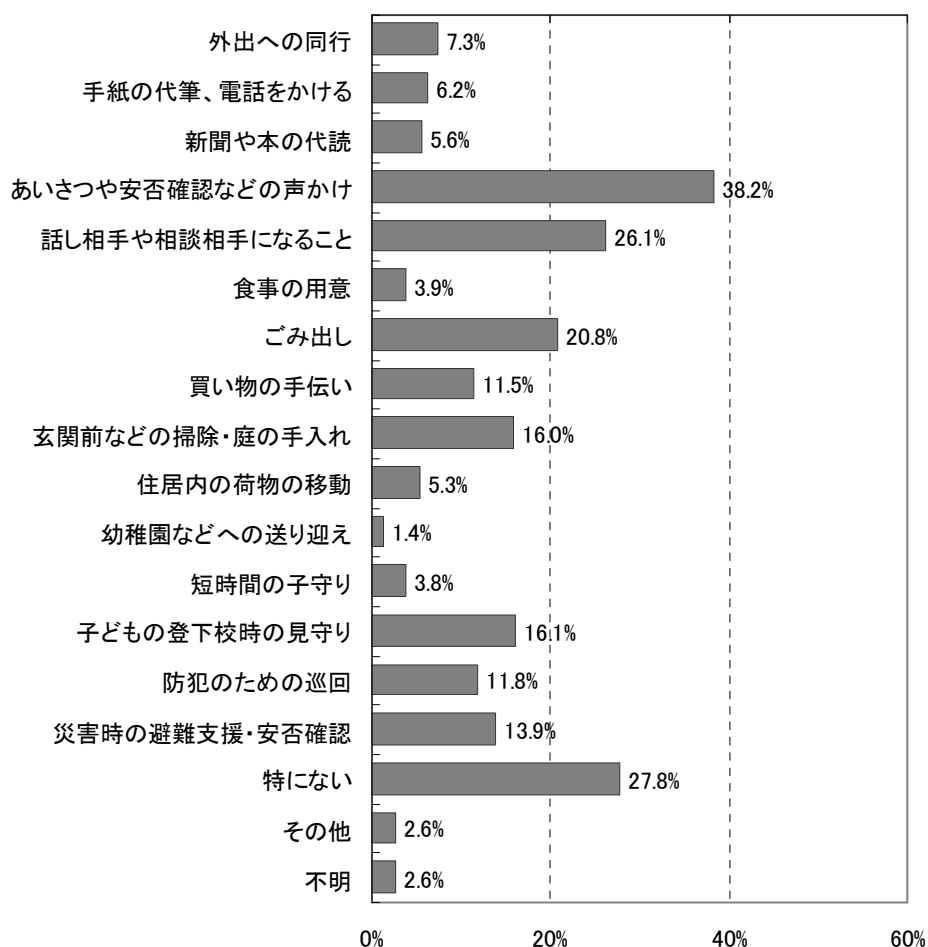
## 2. 地域の助け合いについて

### 問9 地域住民への支援や協力について

**あなたが地域の住民に支援や協力ができることは何ですか？該当するものを3つまでお選びください。**

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1. 外出への同行         | 2. 手紙の代筆、電話をかける    |
| 3. 新聞や本の代読        | 4. あいさつや安否確認などの声かけ |
| 5. 話し相手や相談相手になること | 6. 食事の用意           |
| 7. ごみ出し           | 8. 買い物の手伝い         |
| 9. 玄関前などの掃除・庭の手入れ | 10. 住居内の荷物の移動      |
| 11. 幼稚園などへの送り迎え   | 12. 短時間の子守り        |
| 13. 子どもの登下校時の見守り  | 14. 防犯のための巡回       |
| 15. 災害時の避難支援・安否確認 | 16. 特にない           |
| 17. その他 ( )       |                    |

地域住民への可能な支援や協力は、「あいさつや安否確認などの声かけ」が 38.2%と最も高く、次いで「話し相手や相談相手になること」(26.1%)、「ごみ出し」(20.8%)の順となっている。「子どもの登下校時の見守り」(16.1%)、「玄関前などの掃除・庭の手入れ」(16.0%)、「災害時の避難支援・安否確認」(13.9%)、「防犯のための巡回」(11.8%)、「買い物の手伝い」(11.5%)は10%台である。「特にない」は27.8%となっている。



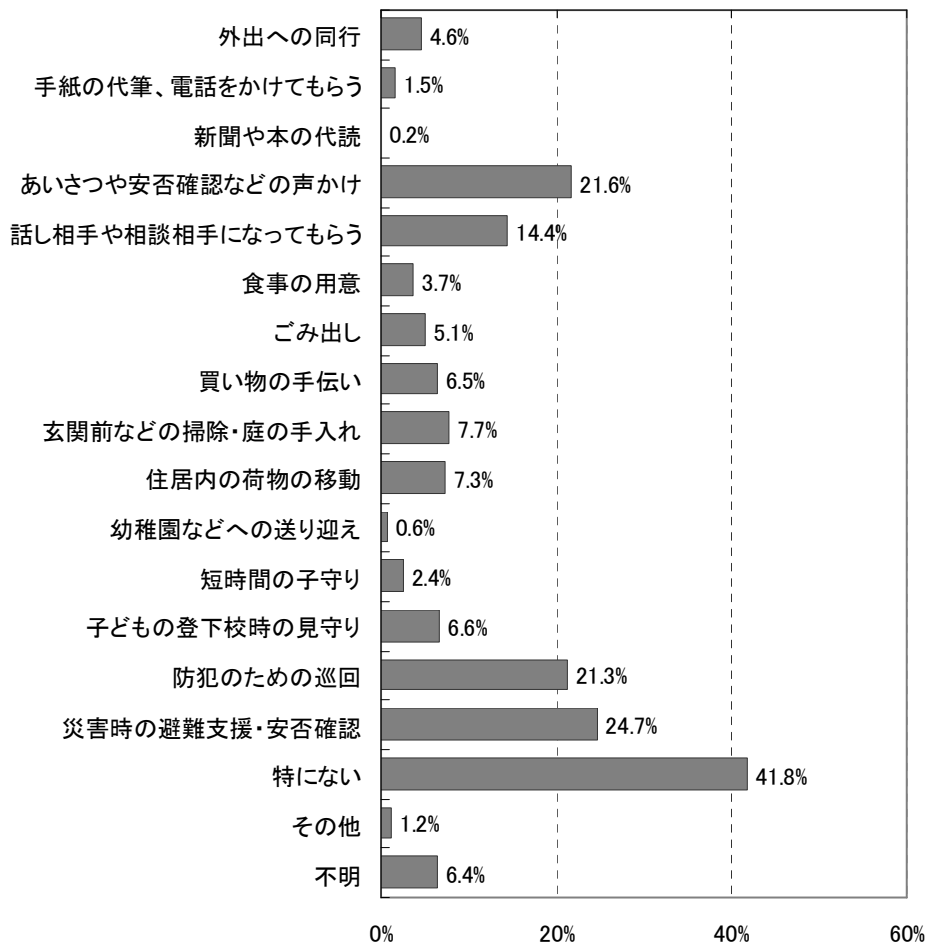
その他：「周辺道路のごみ掃除」、「前の家の見守り」、「趣味を通じて高齢者を楽しませる」など

問 10 地域住民から受けたい支援や協力について

あなたが地域の住民から受けたいと思う支援や協力は何か？該当するものを3つまでお選びください。

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 1. 外出への同行           | 2. 手紙の代筆、電話をかけてもらう |
| 3. 新聞や本の代読          | 4. あいさつや安否確認などの声かけ |
| 5. 話し相手や相談相手になってもらう | 6. 食事の用意           |
| 7. ごみ出し             | 8. 買い物の手伝い         |
| 9. 玄関前などの掃除・庭の手入れ   | 10. 住居内の荷物の移動      |
| 11. 幼稚園などへの送り迎え     | 12. 短時間の子守り        |
| 13. 子どもの登下校時の見守り    | 14. 防犯のための巡回       |
| 15. 災害時の避難支援・安否確認   | 16. 特にない           |
| 17. その他 ( )         |                    |

地域住民から受けたいと思う支援や協力は、「災害時の避難支援・安否確認」が 24.7%と最も高く、次いで「あいさつや安否確認などの声かけ」(21.6%)、「防犯のための巡回」(21.3%)、「話し相手や相談相手になってもらう」(14.4%) の順となっている。「特にない」は 41.8%となっている。



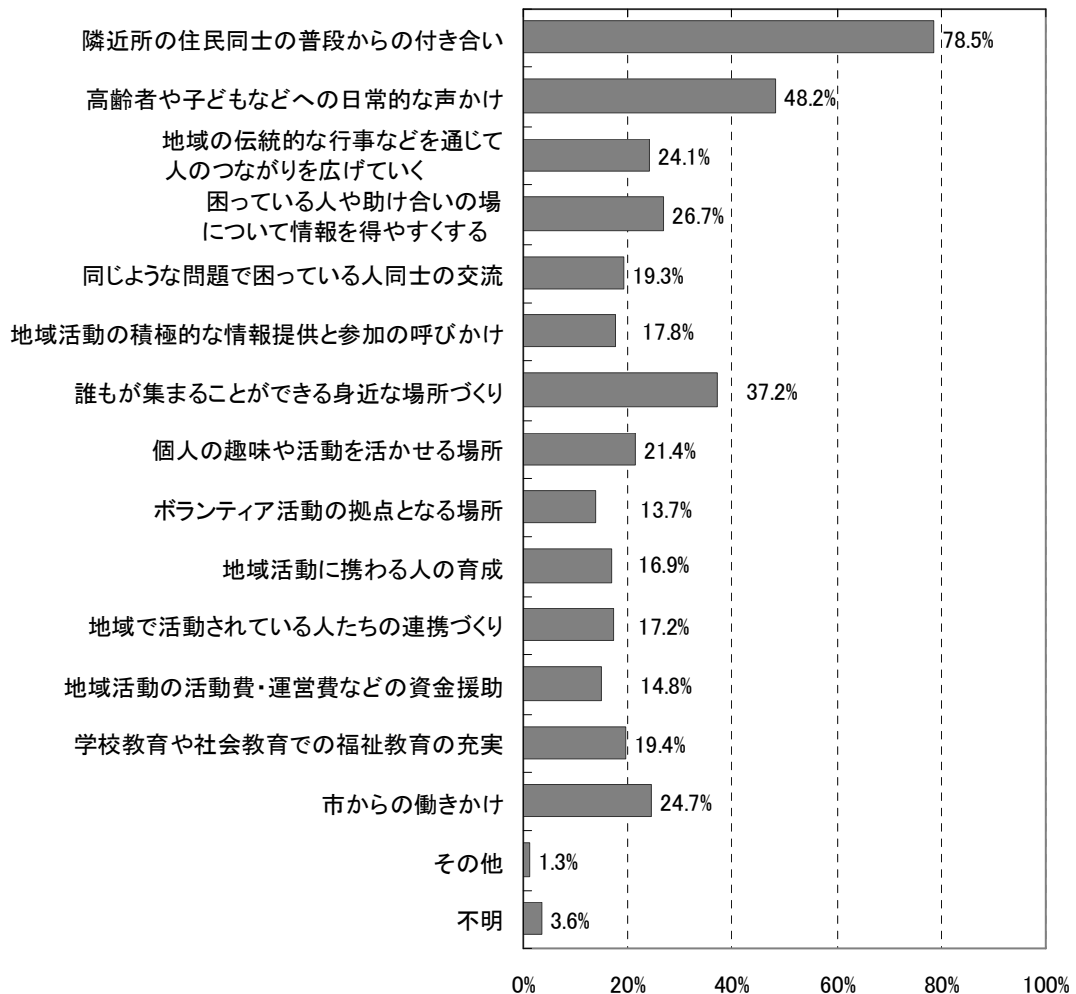
その他：「高齢者の通院の送迎」、「一人住まいの安否確認」、「地域のつながりづくり」など

問 11 地域における助け合いを活発にするために必要なことについて

あなたは、地域における助け合いを活発にするためにはどのようなことが必要だと思いますか？該当するものをすべてお選びください。

1. 隣近所の住民同士の普段からの付き合い
2. 高齢者や子どもなどへの日常的な声かけ
3. 地域の伝統的な行事などを通じて人のつながりを広げていく
4. 困っている人や助け合いの場について情報を得やすくする
5. 同じような問題で困っている人同士の交流
6. 地域活動の積極的な情報提供と参加の呼びかけ
7. 誰もが集まることができる身近な場所づくり
8. 個人の趣味や活動を活かせる場所
9. ボランティア活動の拠点となる場所
10. 地域活動に携わる人の育成
11. 地域で活動されている人たちの連携づくり
12. 地域活動の活動費・運営費などの資金援助
13. 学校教育や社会教育での福祉教育の充実
14. 市からの働きかけ
15. その他 ( )

地域における助け合いを活発にさせるために必要なことは、「隣近所の住民同士の普段からの付き合い」が78.5%と最も高く、次いで「高齢者や子どもなどへの日常的な声かけ」(48.2%)、「誰もが集まることができる身近な場所づくり」(37.2%)の順となっている。



その他：「あいさつ」、「サークルなどに気軽に参加できる環境づくり」など

問 12 地域活動への参加について

あなたは「地域活動」に参加したことがありますか？該当する番号をお選びください。

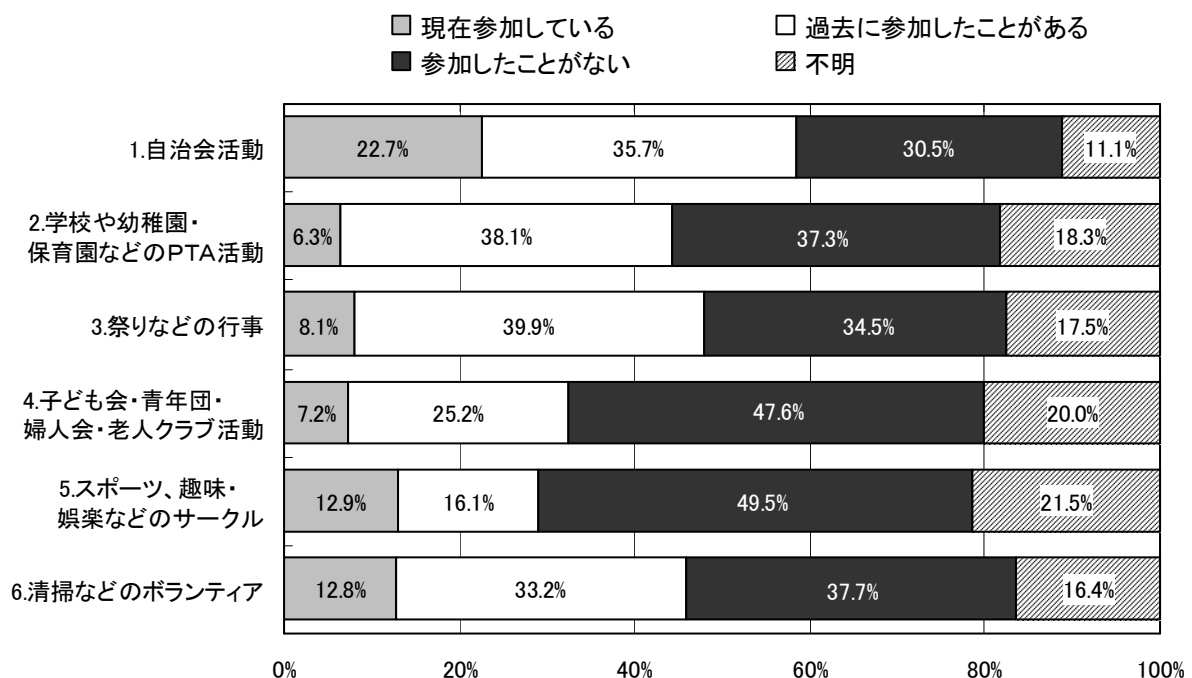
地域活動内容	現在参加している	過去に参加したことがある	参加したことがない
1. 自治会活動	1	2	3
2. 学校や幼稚園・保育園などのPTA活動	1	2	3
3. 祭りなどの行事	1	2	3
4. 子ども会・青年団・婦人会・老人クラブ活動	1	2	3
5. スポーツ、趣味・娯楽などのサークル	1	2	3
6. 清掃などのボランティア	1	2	3
7. その他 ( )	1	2	3

「現在参加している」地域活動は、「自治会活動」が 22.7%と最も高く、次いで「スポーツ、趣味・娯楽などのサークル」(12.9%)、「清掃などのボランティア」(12.8%)の順となっている。

「過去に参加したことがある」地域活動は、「祭りなどの行事」が 39.9%と最も高く、次いで「学校や幼稚園・保育園などのPTA活動」(38.1%)、「自治会活動」(35.7%)の順となっている。

「参加したことがない」地域活動は、「スポーツ、趣味・娯楽などのサークル」が 49.5%と最も高く、次いで「子ども会・青年団・婦人会・老人クラブ活動」(47.6%)、「清掃などのボランティア」(37.7%)の順となっている。

その他の回答については、具体的な記述はなかった。



問 13 地域活動への参加について

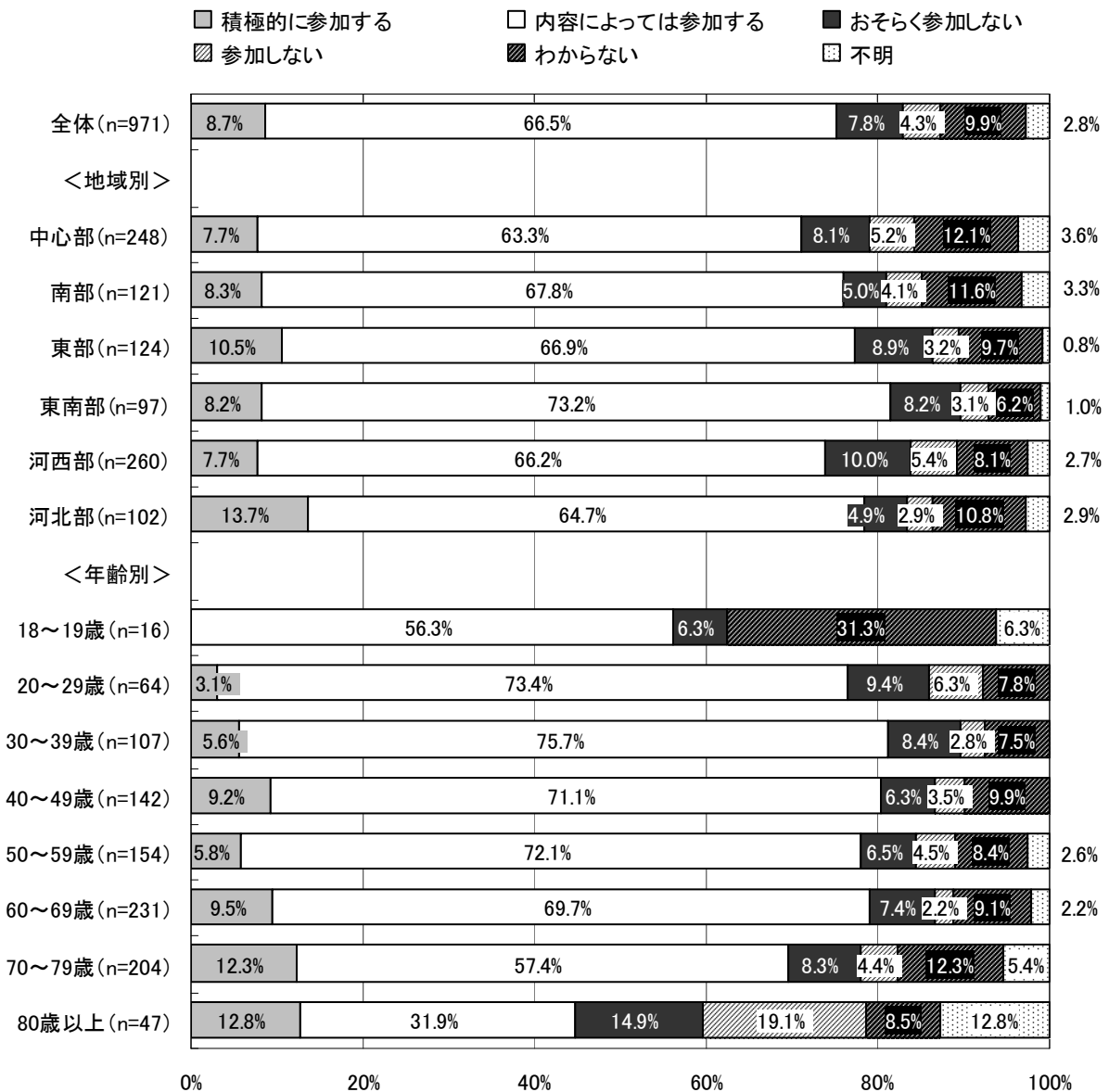
「地域活動」への参加をお願いされた場合、参加しますか？あなたの考えに近いものをつぎの中から1つお選びください。

- 1. 積極的に参加する
- 2. 内容によっては参加する
- 3. おそらく参加しない
- 4. 参加しない
- 5. わからない

参加する意向（「積極的に参加する」8.7%と「内容によっては参加する」66.5%の計）は75.2%、参加しない意向（「おそらく参加しない」7.8%と「参加しない」4.3%の計）は12.1%となっている。

地域別にみると、参加する意向はいずれの地域も70%を超えており、東南部が81.4%と最も高くなっている。

年齢別にみると、参加する意向は30歳代（81.3%）と40歳代（80.3%）が80%を超えている。



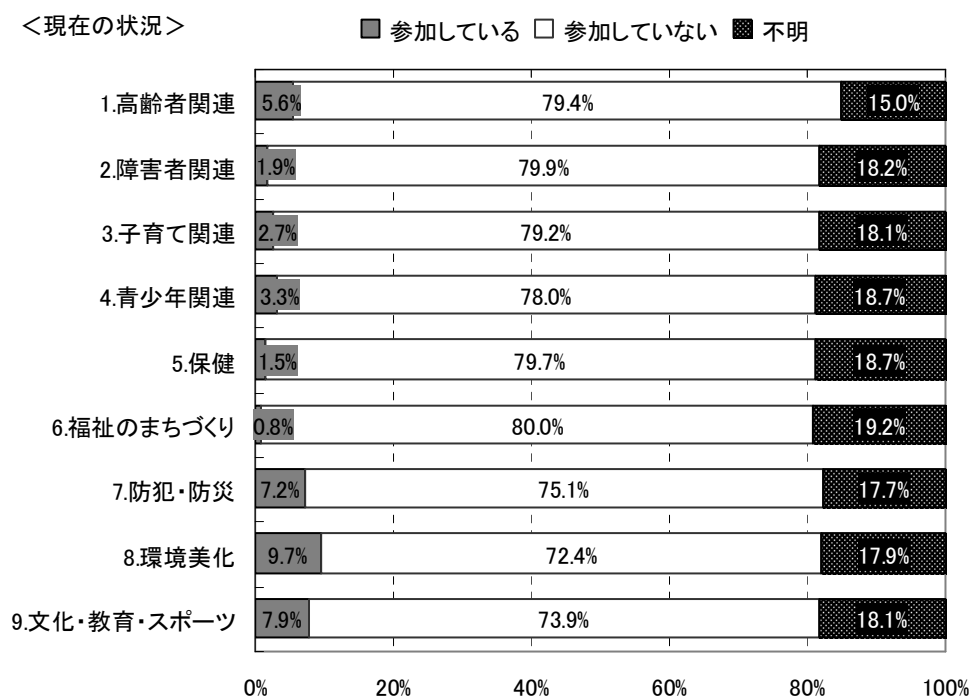
問 14 ボランティア活動への参加について

あなたは「ボランティア活動」（近隣への手助け、支援を含む）に参加していますか？  
また、今後、参加したいと思いますか？「現在の状況」と「今後の意向」のそれぞれに該当する番号・記号をお選びください。

ボランティア活動内容	現在の状況		今後の意向	
	1 参加 して	2 参加 して ない	A 参加 し たい	B 参加 した くない
1. 高齢者関連（見守り活動、趣味活動への協力、施設訪問など）	1	2	A	B
2. 障害者関連（手話・音訳・点字による支援、外出支援、施設訪問など）	1	2	A	B
3. 子育て関連（託児、子育て相談や子育てサークル支援など）	1	2	A	B
4. 青少年関連（悩み相談、交流、見守りなど）	1	2	A	B
5. 保健（健康教室などの支援、食生活改善活動など）	1	2	A	B
6. 福祉のまちづくり（福祉マップづくりなど）	1	2	A	B
7. 防犯・防災	1	2	A	B
8. 環境美化（自然愛護や美化活動、リサイクル運動など）	1	2	A	B
9. 文化・教育・スポーツ	1	2	A	B
10. その他（ ）	1	2	A	B

ボランティア活動への参加について、現在の状況はいずれの項目も「参加している」の回答は10%未満である。

その他の回答については、具体的な記述はなかった。

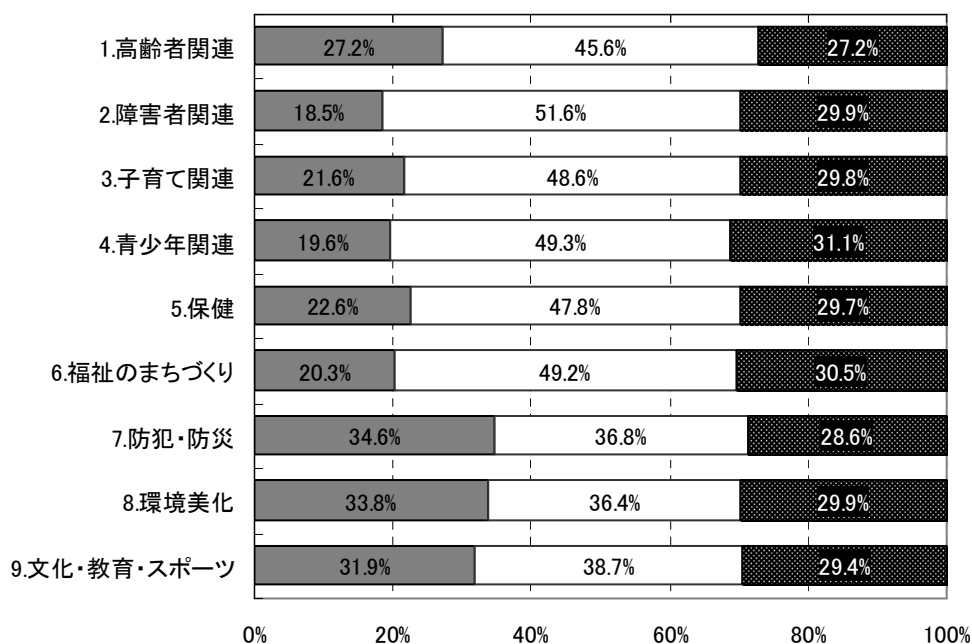


ボランティア活動の参加への今後の意向は、「防犯・防災」(34.6%)と「環境美化」(33.8%)、「文化・教育・スポーツ」(31.9%)が30%台で他の項目よりも高くなっている。

今後の意向の「参加したい」回答を年齢別にみると、60歳代がいずれの項目も20%を超えている。

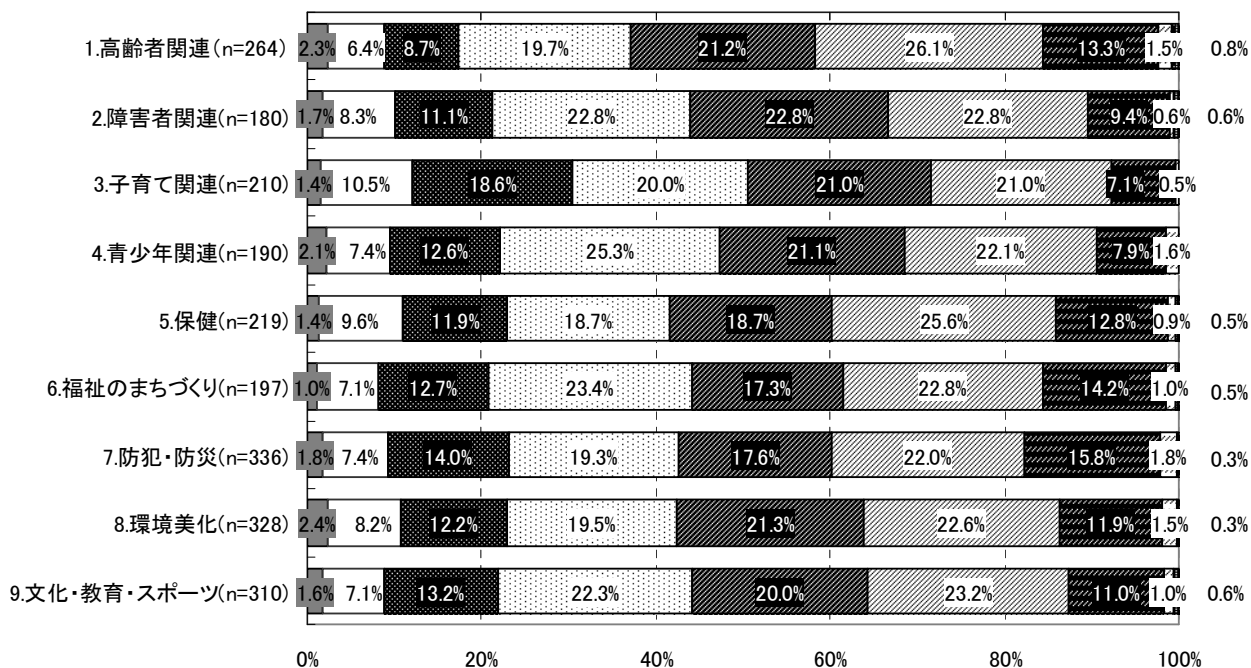
<今後の意向>

■ 参加したい □ 参加したくない ■ 不明



<今後の意向・参加したい>

■ 18～19歳 □ 20～29歳 ■ 30～39歳 □ 40～49歳 ■ 50～59歳  
 □ 60～69歳 ■ 70～79歳 □ 80歳以上 ■ 不明



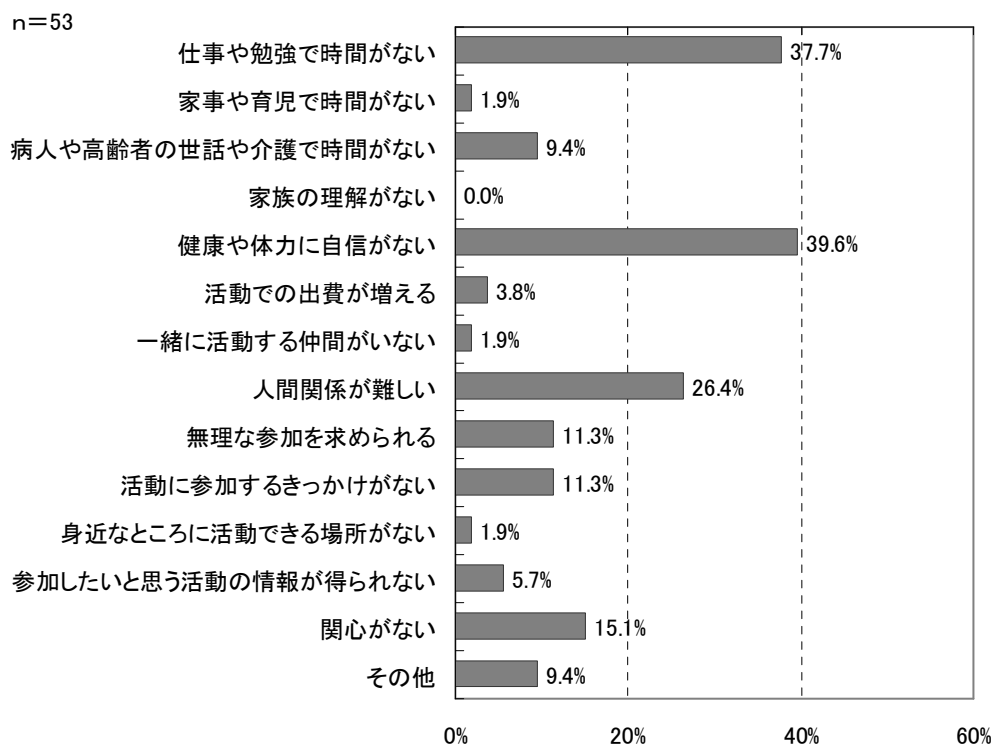


問 15 地域活動・ボランティア活動に参加しない理由

問 12 で地域活動のいずれの項目も「3. 参加したことがない」、問 14 でボランティア活動のいずれの項目も「2. 参加していない」、「B. 参加したくない」を回答された方のみお答えください。その理由は何ですか？該当するものをすべてお選びください。

- |                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 仕事や勉強で時間がない          | 2. 家事や育児で時間がない        |
| 3. 病人や高齢者の世話や介護で時間がない   |                       |
| 4. 家族の理解がない             | 5. 健康や体力に自信がない        |
| 6. 活動での出費が増える           | 7. 一緒に活動する仲間がいない      |
| 8. 人間関係が難しい             | 9. 無理な参加を求められる        |
| 10. 活動に参加するきっかけがない      | 11. 身近なところに活動できる場所がない |
| 12. 参加したいと思う活動の情報が得られない |                       |
| 13. 関心がない               | 14. その他 ( )           |

問 12、問 14 でいずれの項目も参加の意思がないと回答した 53 人について、理由として「健康や体力に自信がない」の割合が 39.6%と最も高く、次いで「仕事や勉強で時間がない」(37.7%)、「人間関係が難しい」(26.4%)の順となっている。



### 3. 消防・防災について

#### 問 16 「住宅用火災警報器」の設置について

あなたは、ご自宅に「住宅用火災警報器」（煙式・熱式）を設置していますか？

1. 設置している

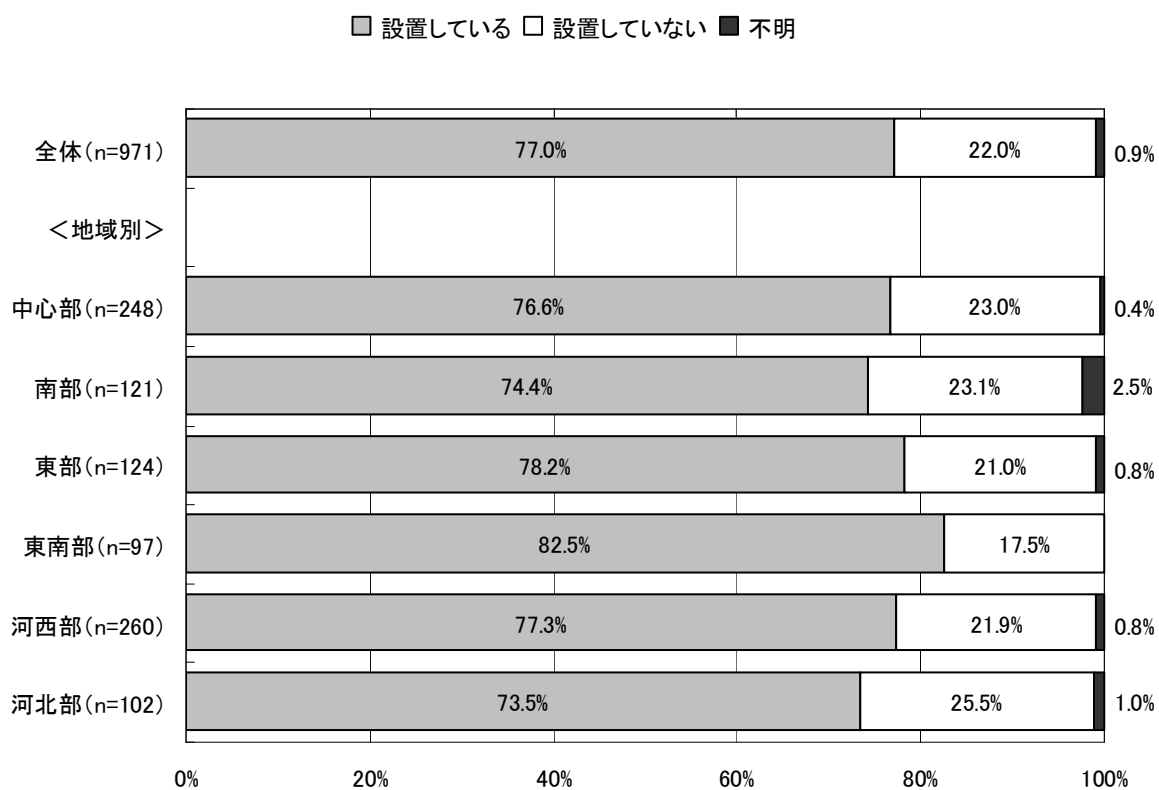
2. 設置していない

(共同住宅等で自動火災報知設備が設置されている場合は、設置していると回答してください。)

※ 「住宅用火災警報器」とは、火災が発生したときの煙や熱を自動的に感知して、警報音や音声などで火災を知らせてくれるものです。

「設置している」は77.0%「設置していない」は22.0%となっている。

地域別にみると、いずれの地域も設置率は70%を超え、東南部は82.5%と最も高くなっている。



問 16-1 「住宅用火災警報器」の設置義務についての認知度

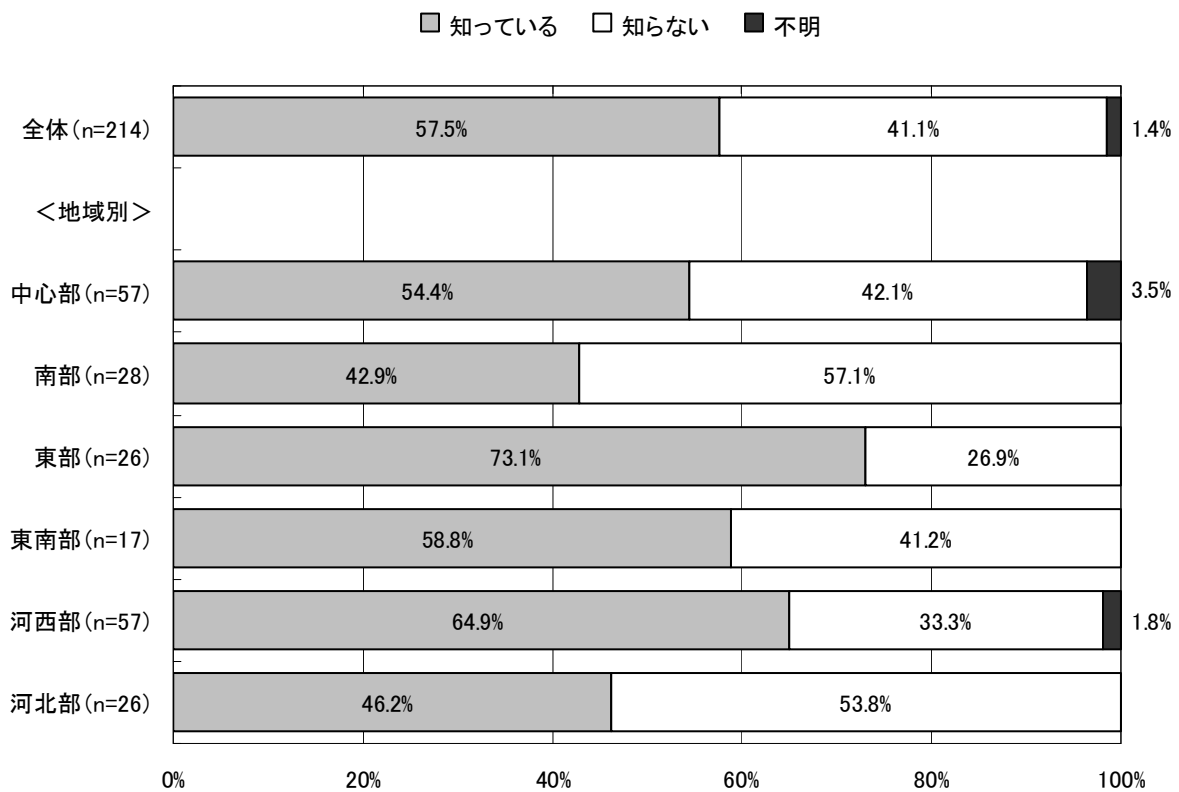
問 16 で「2. 設置していない」と回答された方のみお答えください。

和歌山市では、すべての住宅の寝室等に「住宅用火災警報器」の設置が義務づけられていることを知っていますか？

1. 知っている

2. 知らない

問 16 で「設置していない」と回答した 214 人のうち、認知率は 57.5%となっている。地域別にみると、東部が 73.1%と最も高く、次いで河西部が 64.9%となっている。南部(42.9%)と河北部 (46.2%) は 40%台で他の地域より低くなっている。



## 問 17 「消火器」の設置について

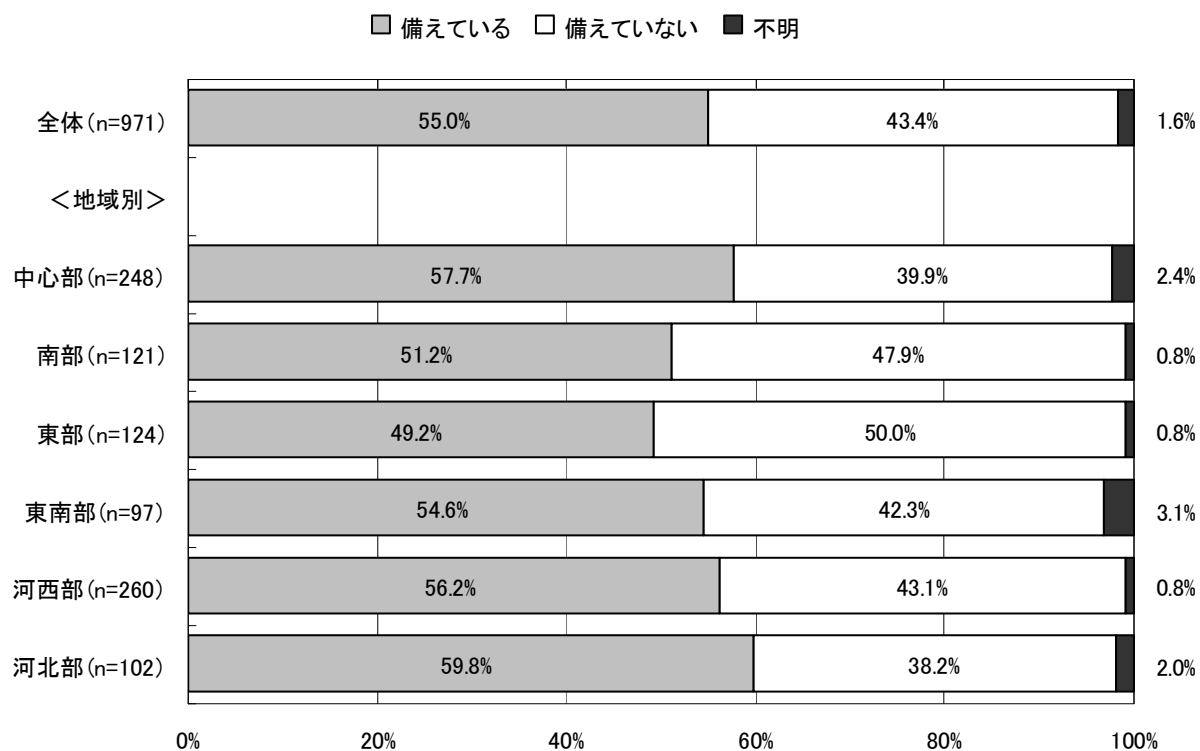
あなたは火災に備えてご自宅に「消火器」を備えていますか？

1. 備えている

2. 備えていない

「備えている」は55.0%、「備えていない」は43.4%となっている。

地域別にみると、「備えている」の割合は河北部が59.8%と最も高く、東部が49.2%と最も低くなっている。



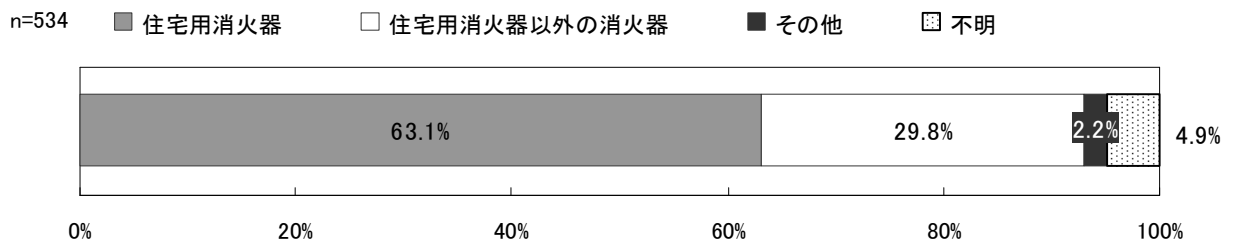
### 問 17-1 「消火器」の種類について

問 17 で「1. 備えている」と回答された方のみお答えください。

ご自宅に備えつけている「消火器」の種類は何ですか？

1. 住宅用消火器（特徴：赤色以外のものもあります。ゲージ付き。住宅用と表記されている）
2. 住宅用消火器以外の消火器（赤色のもの）
3. その他（ ）

問 17 で「備えている」と回答した 534 人のうち、「住宅用消火器」が 63.1%、「住宅用消火器以外の消火器」が 29.8%となっている。



その他：「スプレー式小型消火剤」、「携帯用消火器」など

### 問 18 「消火器」の廃棄について

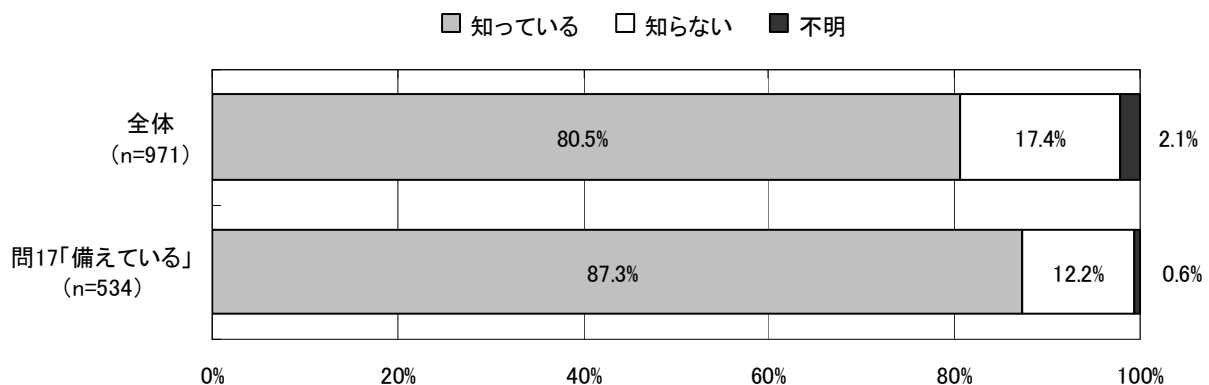
あなたは、消火器が一般のごみとして捨てられないことをご存知ですか？

1. 知っている
2. 知らない

※ 古くなった消火器を廃棄するときは、リサイクルシールを貼り、特定窓口（消火器販売店など）か指定取引場所へ持っていかなくてはなりません。

「知っている」は 80.5%、「知らない」は 17.4%となっている。

問 17 で「備えている」と回答した 534 人のうち、「知っている」は 87.3%と、全体の割合よりも 6.8 ポイント上回っている。





## 問 20 災害への備えについて

あなたは現在、災害に対し、備えを行っていますか？

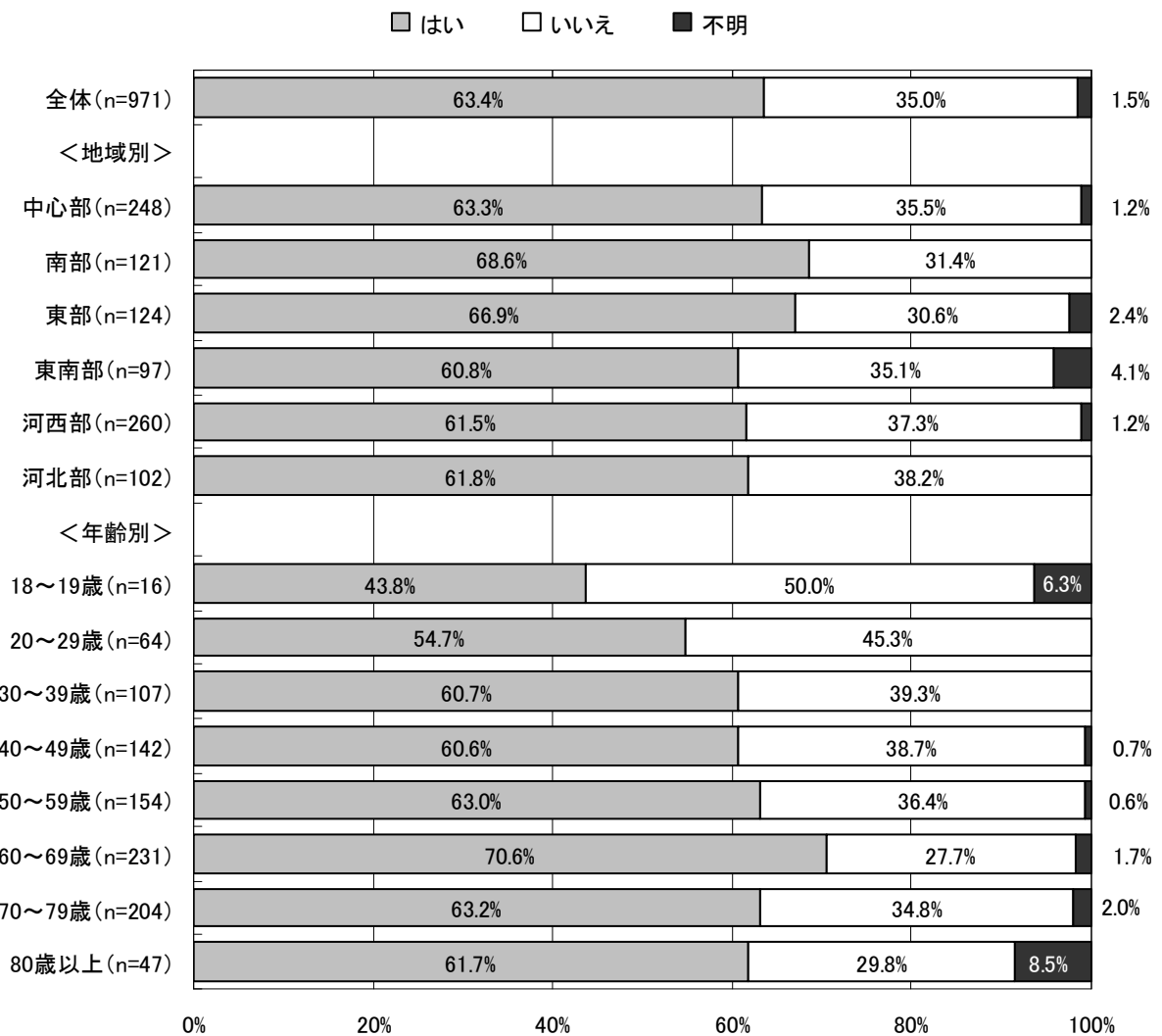
1. はい

2. いいえ

「はい」は63.4%、「いいえ」は35.0%となっている。

地域別にみると、いずれの地域も60%を超え、南部が68.6%と他の地域より割合が高くなっている。

年齢別にみると、30歳以上の年代で60%を超え、60歳代が70.6%と最も高くなっている。



## 問 20-1 災害に備えていること

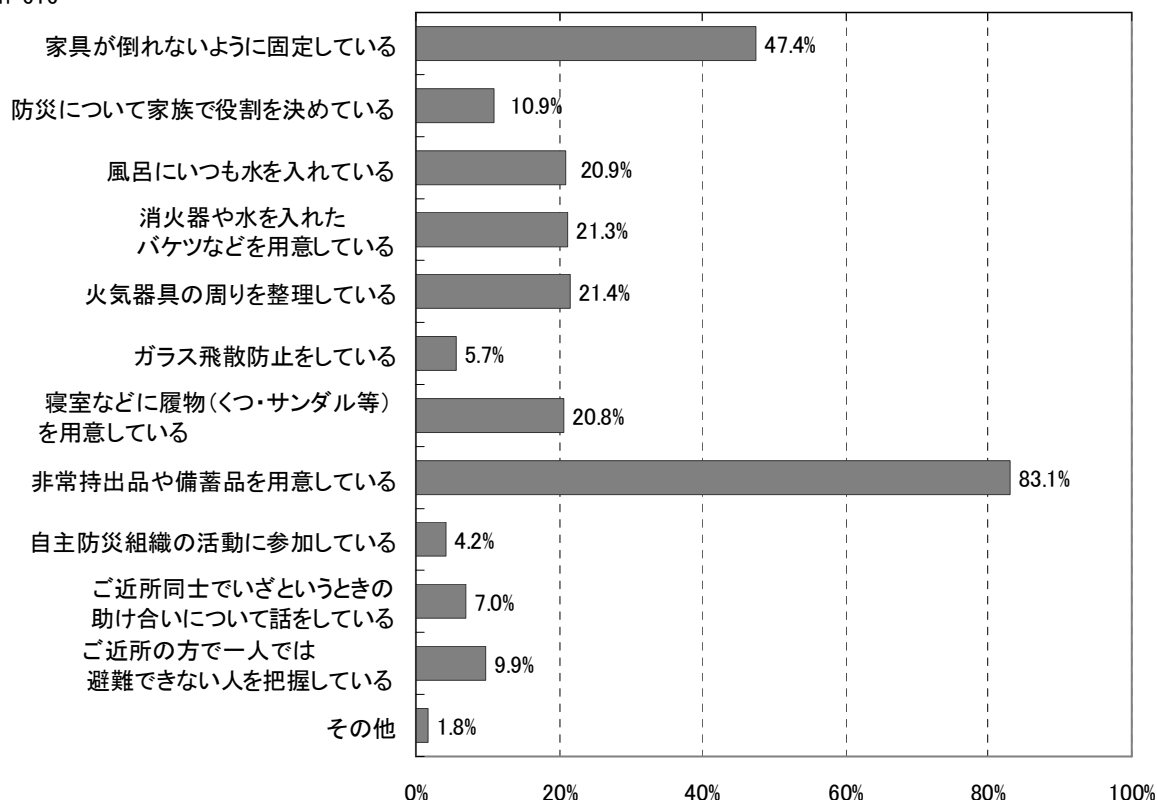
問 20 で「1. はい」と回答された方のみお答えください。

災害に備えてどのようなことをしていますか？該当するものをすべてお選びください。

1. 家具が倒れないように固定している
2. 防災について家族で役割を決めている
3. 風呂にいつも水を入れている
4. 消火器や水を入れたバケツなどを用意している
5. 火気器具の周りを整理している
6. ガラス飛散防止をしている
7. 寝室などに履物（くつ・サンダル等）を用意している
8. 非常持出品や備蓄品を用意している
9. 自主防災組織の活動に参加している
10. ご近所同士でいざというときの助け合いについて話をしている
11. ご近所の方で一人では避難できない人を把握している
12. その他（ )

問 20 で「はい」と回答した 616 人について、「非常持出品や備蓄品を用意している」の割合が 83.1%と最も高く、次いで「家具が倒れないように固定している」（47.4%）となっている。「火気器具の周りを整理している」（21.4%）、「消火器や水を入れたバケツなどを用意している」（21.3%）、「風呂にいつも水を入れている」（20.9%）、「寝室などに履物（くつ・サンダル等）を用意している」（20.8%）はいずれも 20%台である。

n=616



その他：「耐震補強をしている」、「家具のないところで寝ている」、「家族で避難場所を話し合っている」など



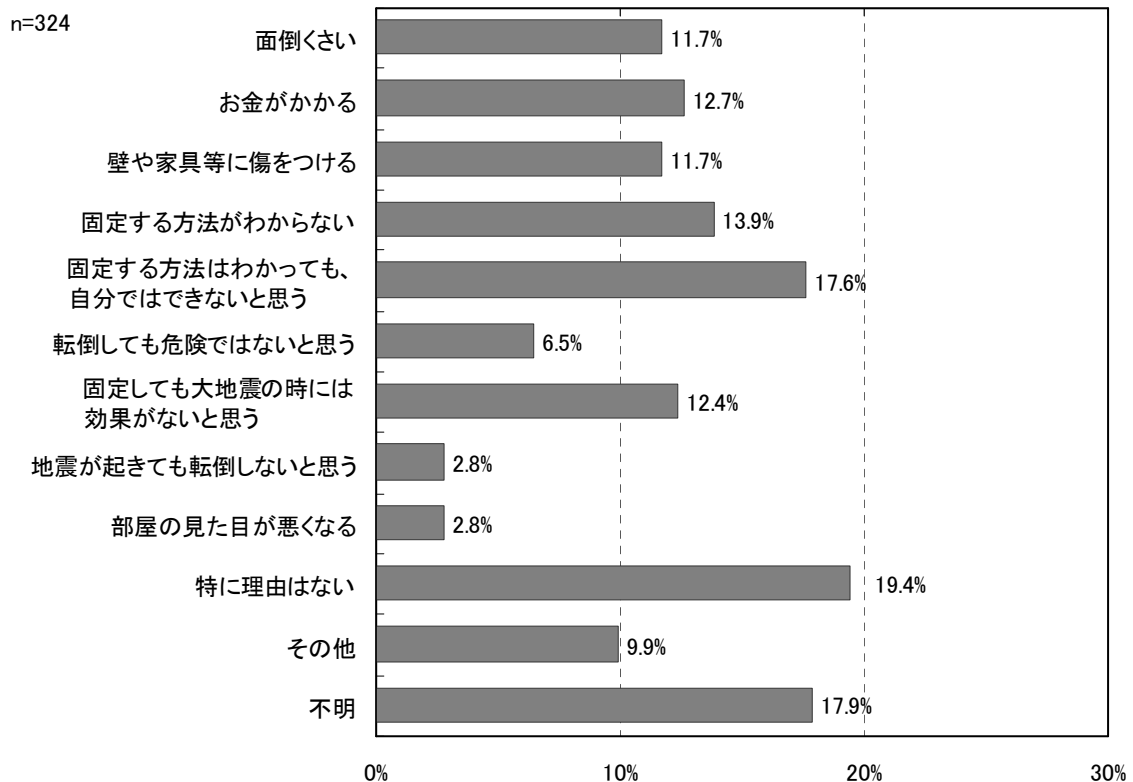
問 20-2 家具を固定していない理由

問 20-1 で「1. 家具が倒れないように固定している」を回答されていない方のみお答えください。家具を固定していない理由は何ですか？

該当するものをすべてお選びください。

- |                             |                         |
|-----------------------------|-------------------------|
| 1. 面倒くさい                    | 2. お金がかかる               |
| 3. 壁や家具等に傷をつける              | 4. 固定する方法がわからない         |
| 5. 固定する方法はわかっても、自分ではできないと思う |                         |
| 6. 転倒しても危険ではないと思う           | 7. 固定しても大地震の時には効果がないと思う |
| 8. 地震が起きても転倒しないと思う          | 9. 部屋の見た目が悪くなる          |
| 10. 特に理由はない                 | 11. その他 ( )             |

問 20-1 で「家具が倒れないように固定している」を選択しなかった 324 人について、「固定する方法はわかっても、自分ではできないと思う」の割合が 17.6%と最も高く、次いで「固定する方法がわからない」(13.9%)、「お金がかかる」(12.7%)、「固定しても大地震の時には効果がないと思う」(12.4%)の順となり、「特に理由はない」は 19.4%となっている。



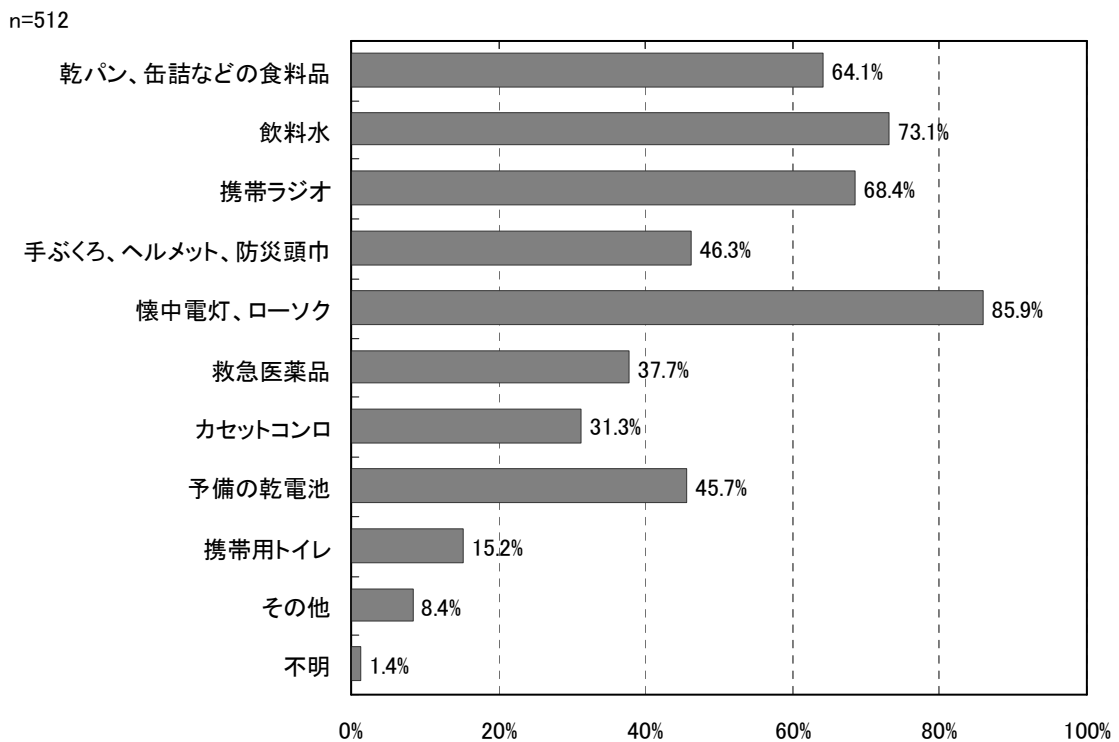
その他：「転倒するような家具はない」、「賃貸のため」、「近日中に固定をしようと思っている」など

問 20-3 用意している非常持出品や備蓄品

問 20-1 で「8. 非常持出品や備蓄品を用意している」と回答された方のみお答えください。  
 あなたは、どのようなものを用意していますか？  
 該当するものをすべてお選びください。

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 1. 乾パン、缶詰などの食料品 | 2. 飲料水             |
| 3. 携帯ラジオ        | 4. 手ぶくろ、ヘルメット、防災頭巾 |
| 5. 懐中電灯、ローソク    | 6. 救急医薬品           |
| 7. カセットコンロ      | 8. 予備の乾電池          |
| 9. 携帯用トイレ       | 10. その他 ( )        |

問20-1で「非常持出品や備蓄品を用意している」と回答した512人について、「懐中電灯、ローソク」の割合が85.9%と最も高く、次いで「飲料水」（73.1%）、「携帯ラジオ」（68.4%）、「乾パン、缶詰などの食料品」（64.1%）の順となっている。



その他：「スリッパ」、「衣類・下着」、「ゴミ袋」、「笛」、「ロープ」、「アルミ保温シート」、「ラップ」、「おむつ」、「毛布」、「衛生用品」、「マッチ・ライター」など



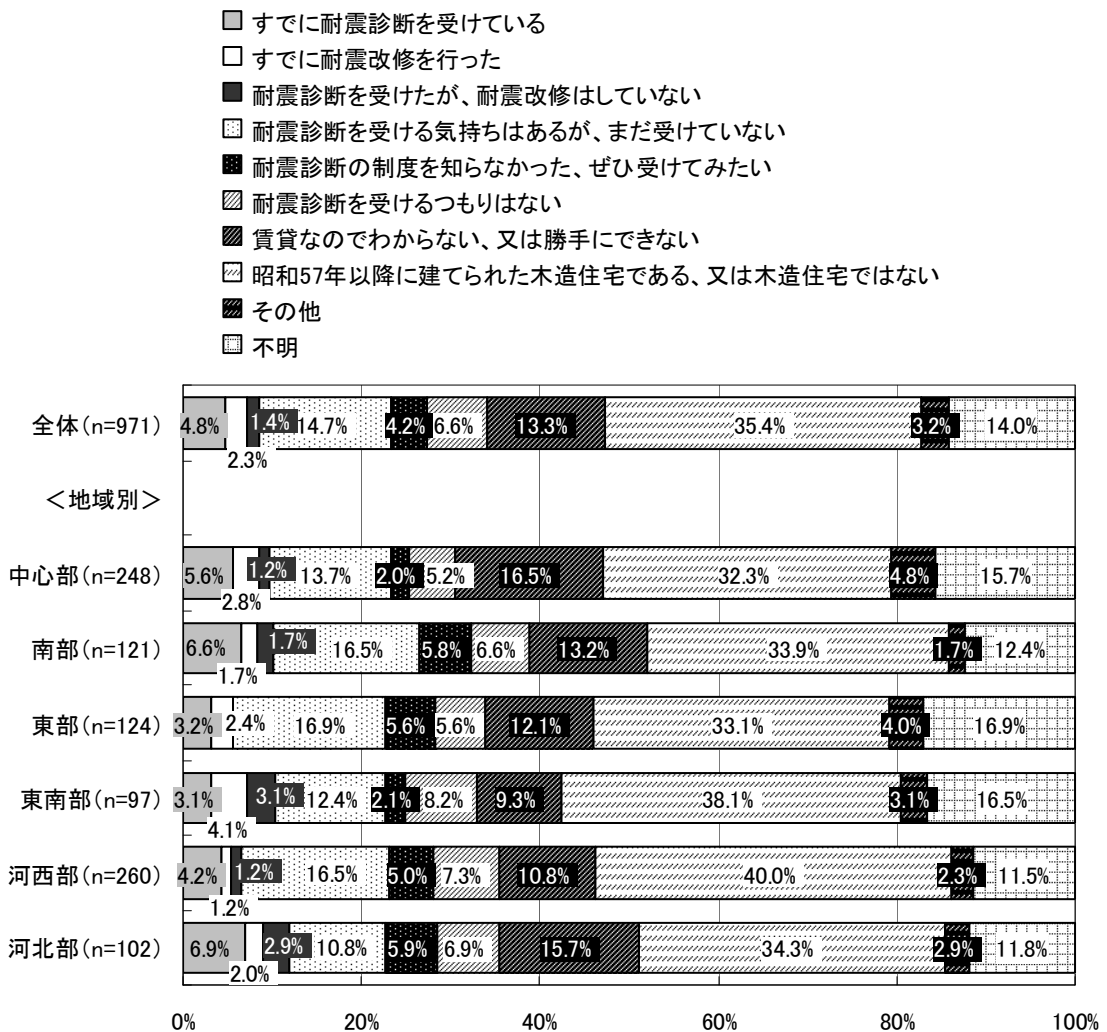
問 22 木造住宅耐震診断の受診状況

和歌山市では昭和 56 年以前に建てられた木造住宅に、無料で木造住宅耐震診断士を派遣し、耐震診断をする制度があります。お住まいの耐震診断についてお答えください。

1. すでに耐震診断を受けている
2. すでに耐震改修を行った
3. 耐震診断を受けたが、耐震改修はしていない
4. 耐震診断を受ける気持ちはあるが、まだ受けていない
5. 耐震診断の制度を知らなかった、ぜひ受けてみたい
6. 耐震診断を受けるつもりはない
7. 賃貸なのでわからない、又は勝手にできない
8. 昭和 57 年以降に建てられた木造住宅である、又は木造住宅ではない
9. その他 ( )

「昭和 57 年以降に建てられた木造住宅である、又は木造住宅ではない」の割合が 35.4%と最も高く、次いで「耐震診断を受ける気持ちはあるが、まだ受けていない」(14.7%)、「賃貸なのでわからない、又は勝手にできない」(13.3%)の順となっている。

地域別にみると、いずれの地域も「昭和 57 年以降に建てられた木造住宅である、又は木造住宅ではない」の割合が最も高くなっている。「耐震診断を受ける気持ちはあるが、まだ受けていない」の割合は、東部が 16.9%、「賃貸なのでわからない、又は勝手にできない」の割合は、中心部が 16.5%と他の地域よりやや高くなっている。



### 問 23 避難場所の認知度

あなたは、お住まいの地域の避難場所を知っていますか？

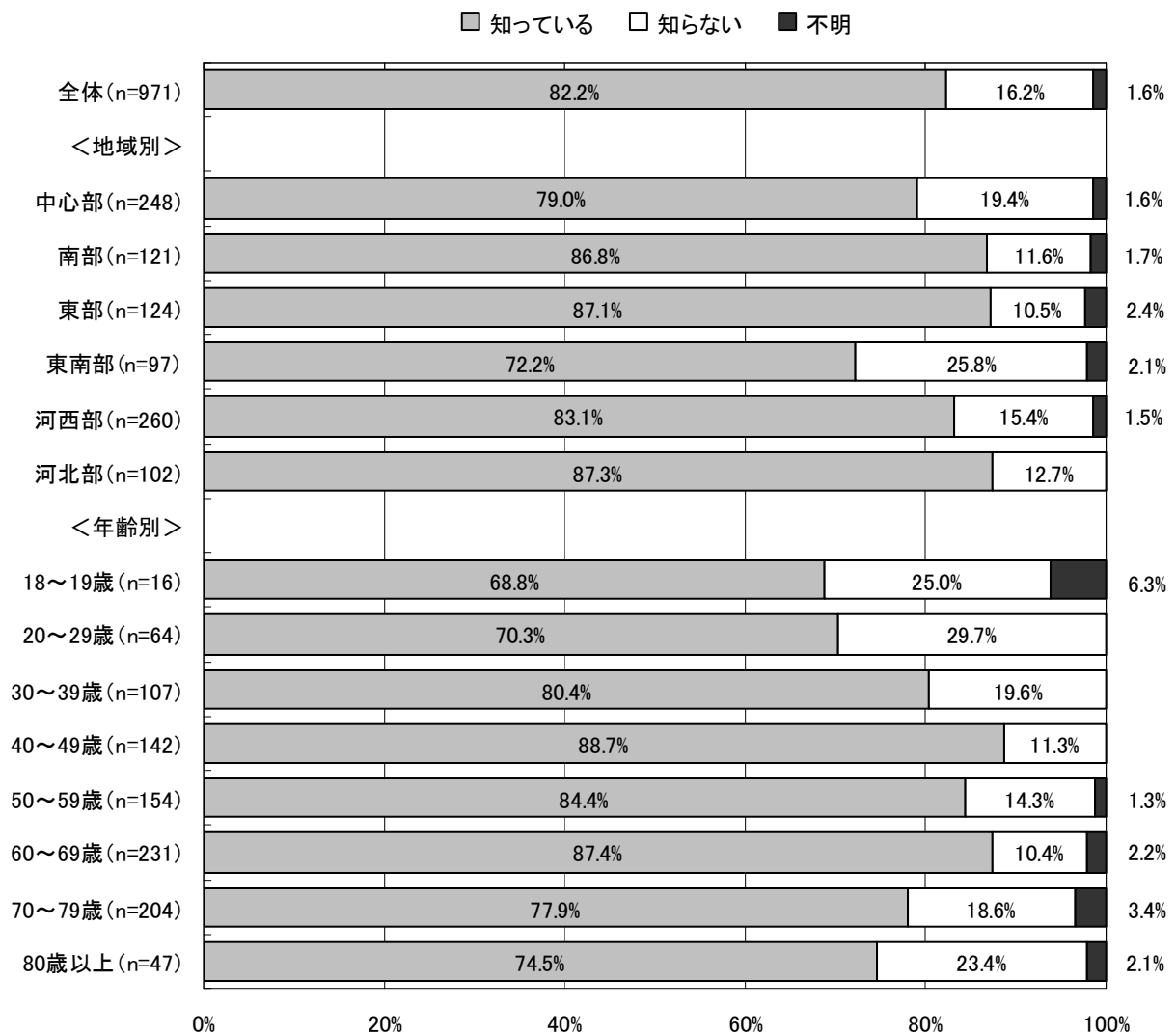
1. 知っている

2. 知らない

「知っている」は82.2%、「知らない」は16.2%となっている。

地域別にみると、認知率は中心部（79.0%）と東南部（72.2%）以外の地域で80%を超え、河  
北部が87.3%と最も高くなっている。

年齢別にみると、認知率は30歳代から60歳代で80%を超え、40歳代が88.7%と最も高  
くなっている。



## 問 24 避難所開設のタイミング

あなたは、避難所が\*開設されるタイミングを知っていますか？

1. 知っている

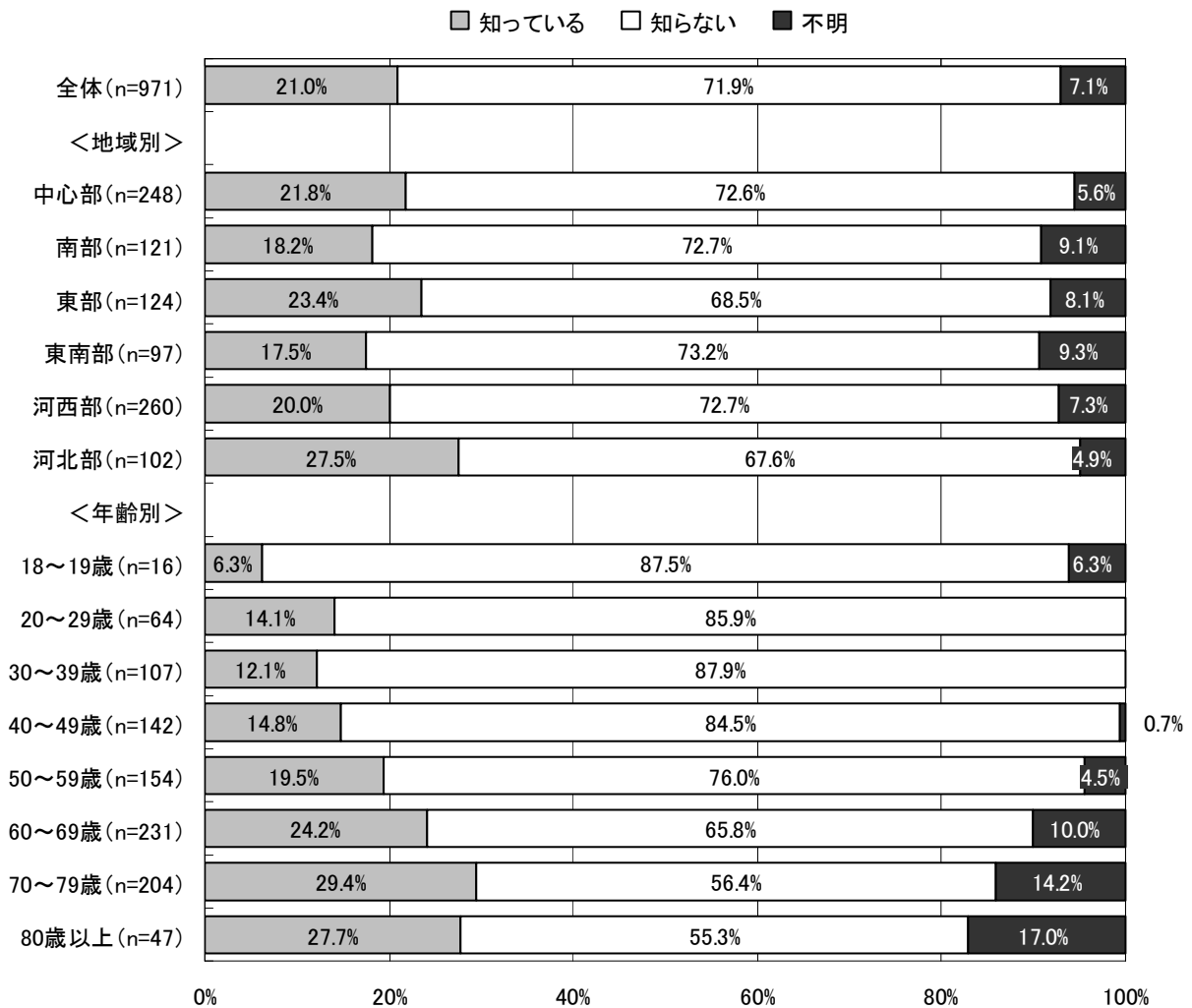
2. 知らない

※ 開設のタイミングは、災害が発生し、又は二次災害が発生するおそれがあり、避難者の収容を必要と認めるときや、自主的な避難があったときなどです。

「知っている」は21.0%、「知らない」は71.9%となっている。

地域別にみると、認知率は河北部が27.5%と最も高くなっている。

年齢別にみると、認知率は60歳代以上で20%を超え、70歳代が29.4%と最も高くなっている。

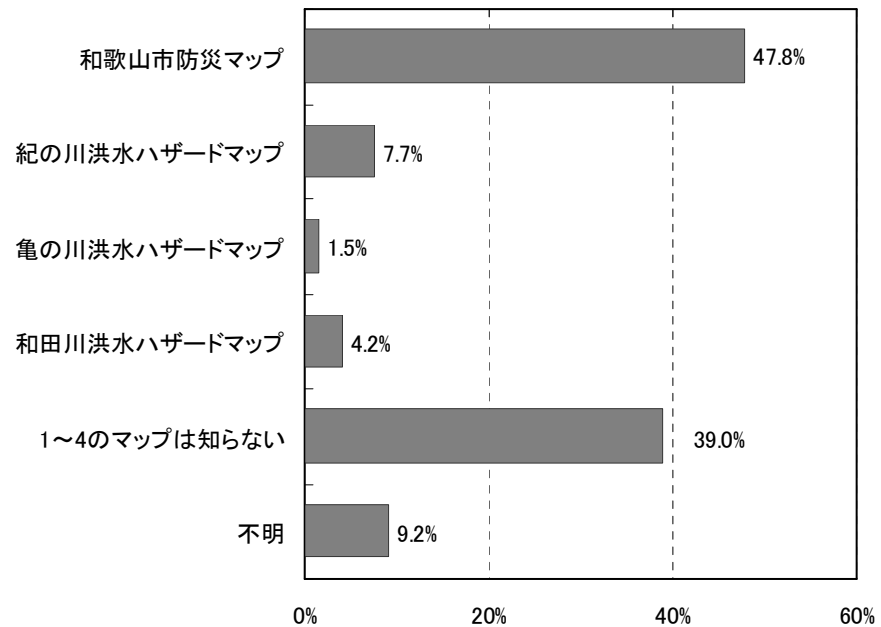


## 問 25 ハザードマップの認知度

あなたは、和歌山市が作成しているハザードマップを知っていますか？  
該当するものをすべてお選びください。

1. 和歌山市防災マップ
2. 紀の川洪水ハザードマップ
3. 亀の川洪水ハザードマップ
4. 和田川洪水ハザードマップ
5. 1～4のマップは知らない

「和歌山市防災マップ」が47.8%と他のハザードマップより認知率が高くなっている。  
「1～4のマップは知らない」は39.0%となっている。



問 26 津波への対処

あなたは、地震の大きな揺れを感じたら、津波に備えてどう行動しますか？

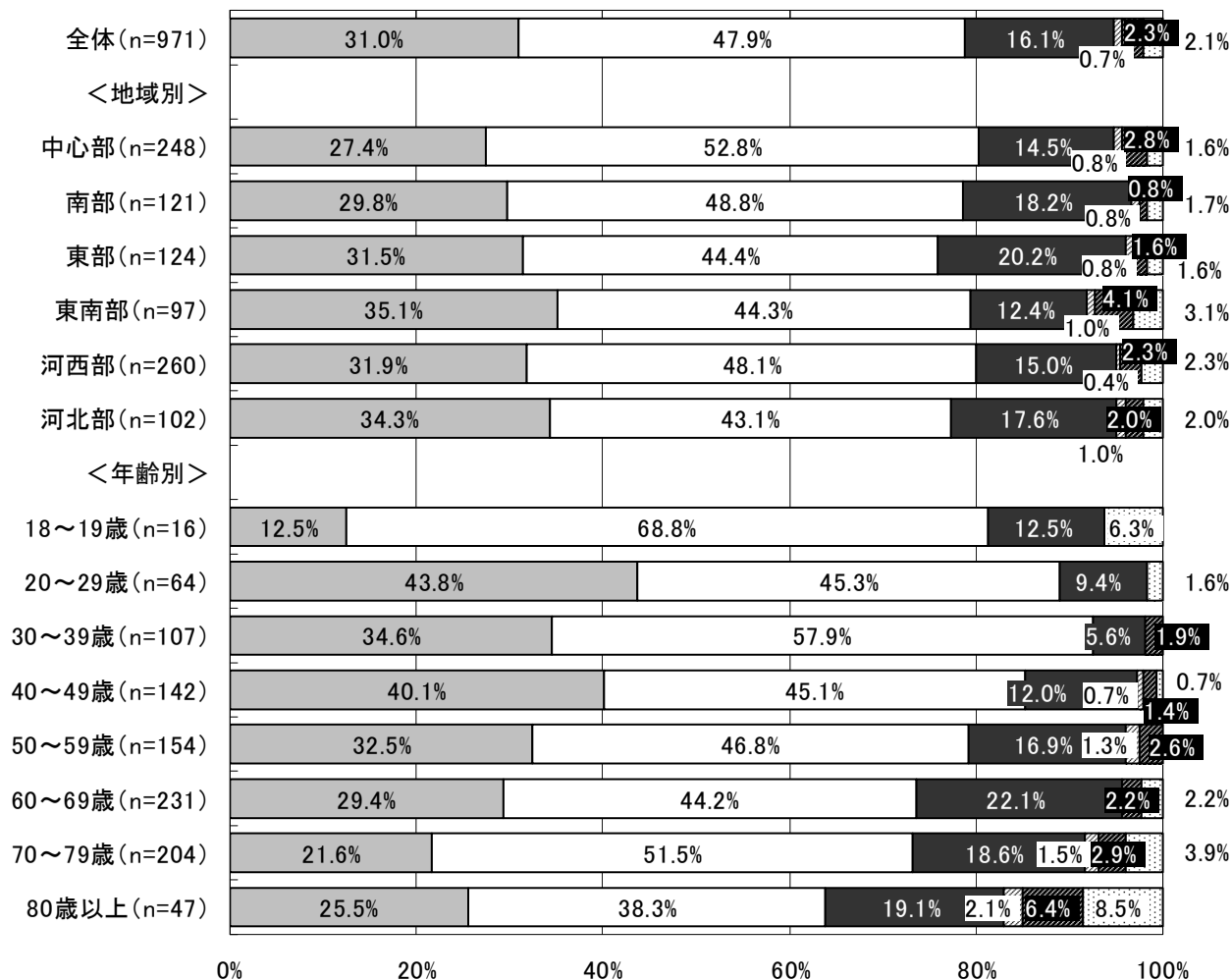
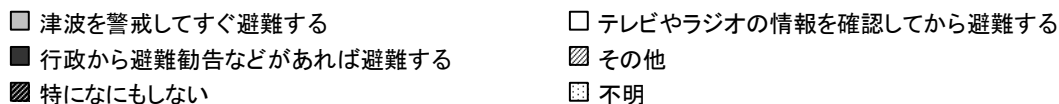
沿岸地域にいる場合を想定して、つぎの中から1つお選びください。

1. 津波を警戒してすぐ避難する
2. テレビやラジオの情報を確認してから避難する
3. 行政から避難勧告などがあれば避難する
4. その他 ( )
5. 特になにもしない

「テレビやラジオの情報を確認してから避難する」の割合が47.9%と最も高く、次いで「津波を警戒してすぐ避難する」(31.0%)となっている。

地域別にみると、「テレビやラジオの情報を確認してから避難する」の割合は中心部(52.8%)が最も高く、「津波を警戒してすぐ避難する」の割合は東南部(35.1%)が最も高くなっている。

年齢別にみると、「テレビやラジオの情報を確認してから避難する」の割合は18～19歳(68.8%)が最も高く、「津波を警戒してすぐ避難する」の割合は20歳代(43.8%)が最も高くなっている。30歳未満では「特になにもしない」はなかった。





## 問 27 自主防災組織への参加意向

和歌山市では、災害から「わが家わが町を守るため」地域の人々が結成した自主防災組織の育成を推進しています。

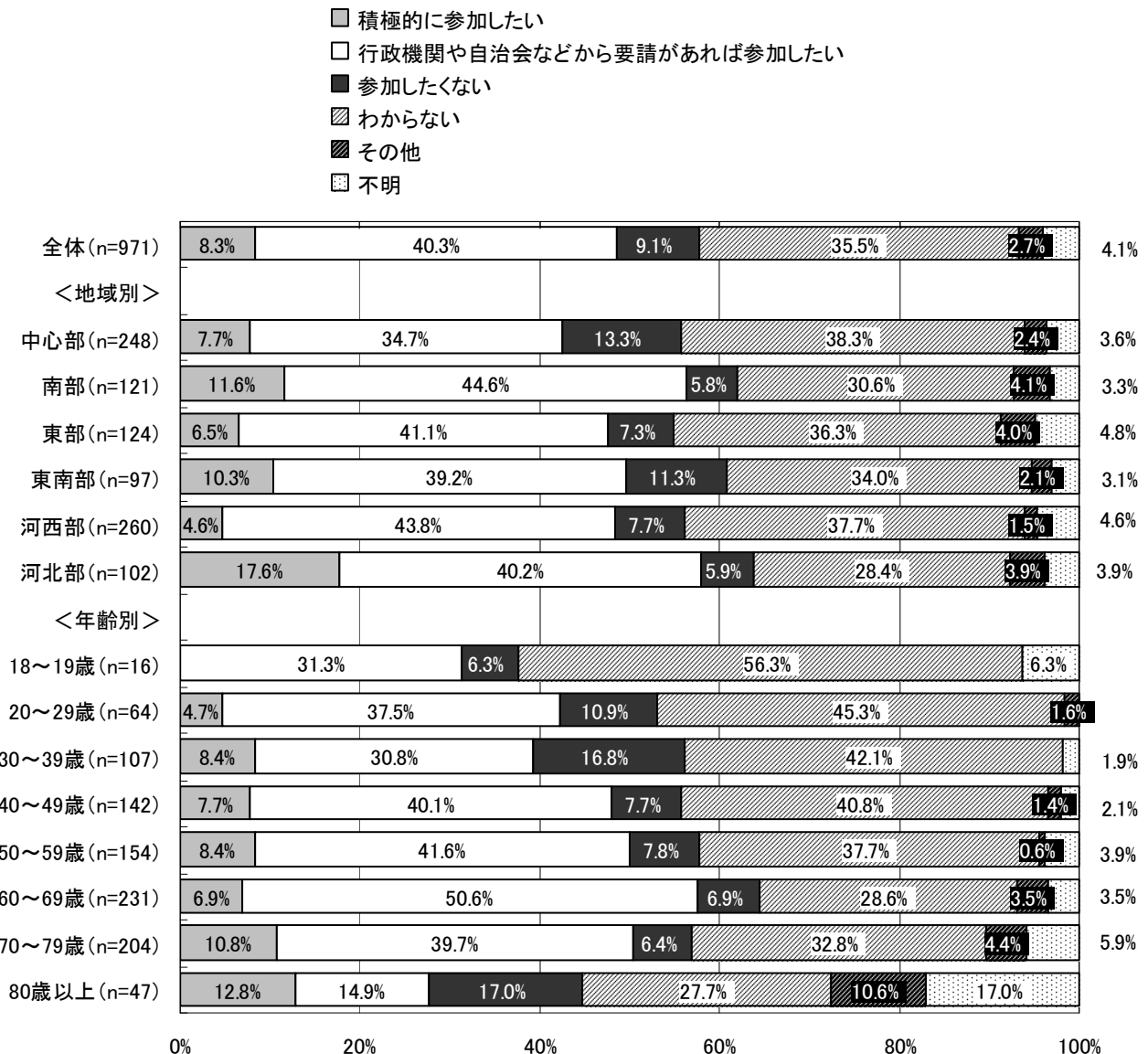
あなたは災害発生に備え、地域の自主防災組織に参加したいと思いますか？

1. 積極的に参加したい
2. 行政機関や自治会などから要請があれば参加したい
3. 参加したくない
4. わからない
5. その他 ( )

「積極的に参加したい」(8.3%)と「行政機関や自治会などから要請があれば参加したい」(40.3%)を合わせた48.6%が「参加したい」意向があり、「参加したくない」意向は9.1%となっている。

地域別にみると、「参加したい」意向の割合は南部(56.2%)と河北部(57.8%)が50%を超え、中心部が42.4%と最も低くなっている。

年齢別にみると、「参加したい」意向の割合は、60歳代が57.5%と最も高く、「参加したくない」意向の割合は、30歳代(16.8%)と80歳以上(17.0%)が他の年齢層より高くなっている。



その他：「高齢のため参加できない」、「仕事の都合で参加できない」など

問 28 防災行政無線からの情報伝達

災害発生時や災害が発生するおそれのある時、防災行政無線などによって市から情報を発信していますが、その情報はあなたに伝わっていますか？

1. 伝わっている

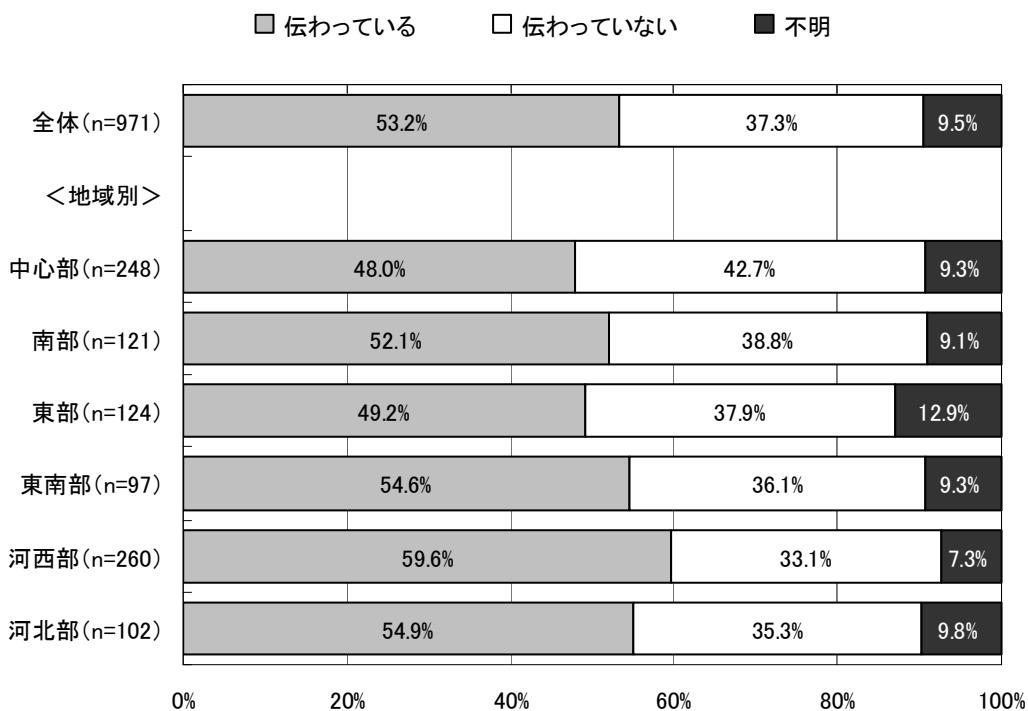
2. 伝わっていない ※伝わっていない理由をご記入ください。

【理由： 】

「伝わっている」は53.2%、「伝わっていない」は37.3%となっている。

地域別にみると、「伝わっている」の割合は中心部（48.0%）と東部（49.2%）以外の地域は50%を超え、河西部が59.6%と最も高くなっている。

伝わっていない理由として、「聞きとりにくい」や「聞いたことがない」、「あることを知らなかった」などが多くあった。

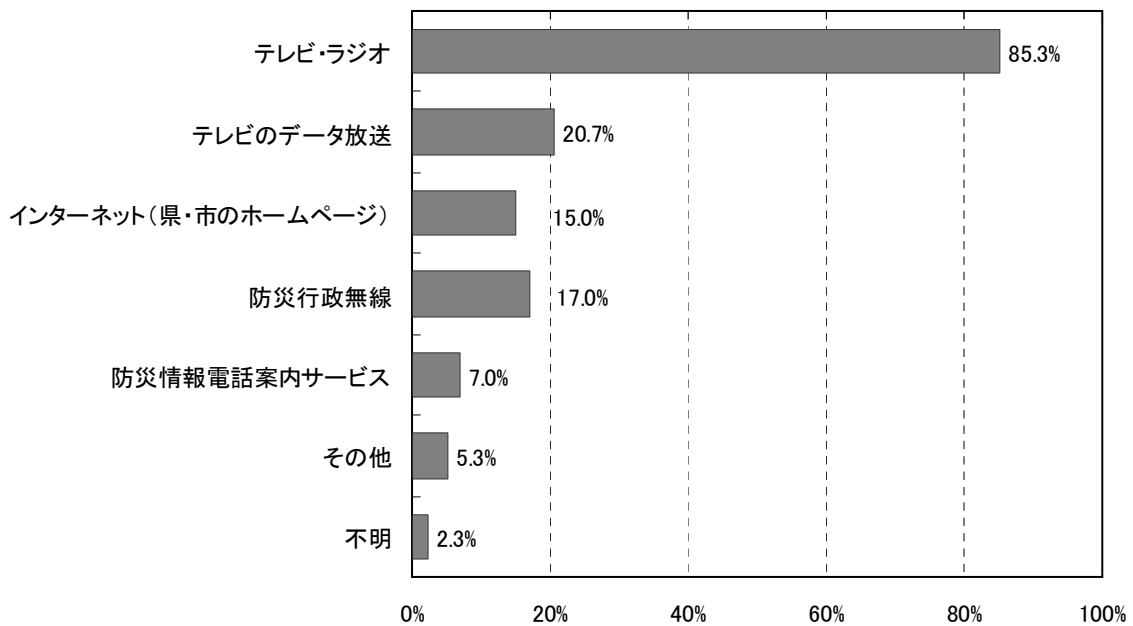


## 問 29 災害時の情報源

あなたは、災害発生時や災害が発生するおそれのある時、その情報はどこから得ていますか？該当するものをすべてお選びください。

1. テレビ・ラジオ
2. テレビのデータ放送
3. インターネット(県・市のホームページ)
4. 防災行政無線
5. 防災情報電話案内サービス
6. その他 ( )

「テレビ・ラジオ」が 85.3%と最も高く、次いで「テレビのデータ放送」(20.7%)、「防災行政無線」(17.0%)、「インターネット(県・市のホームページ)」(15.0%)の順となっている。



その他：「携帯・スマートフォン」、「インターネットの防災サイト」、「自治会からの情報」など

#### 4. 防犯対策について

##### 問 30 和歌山市の治安状況

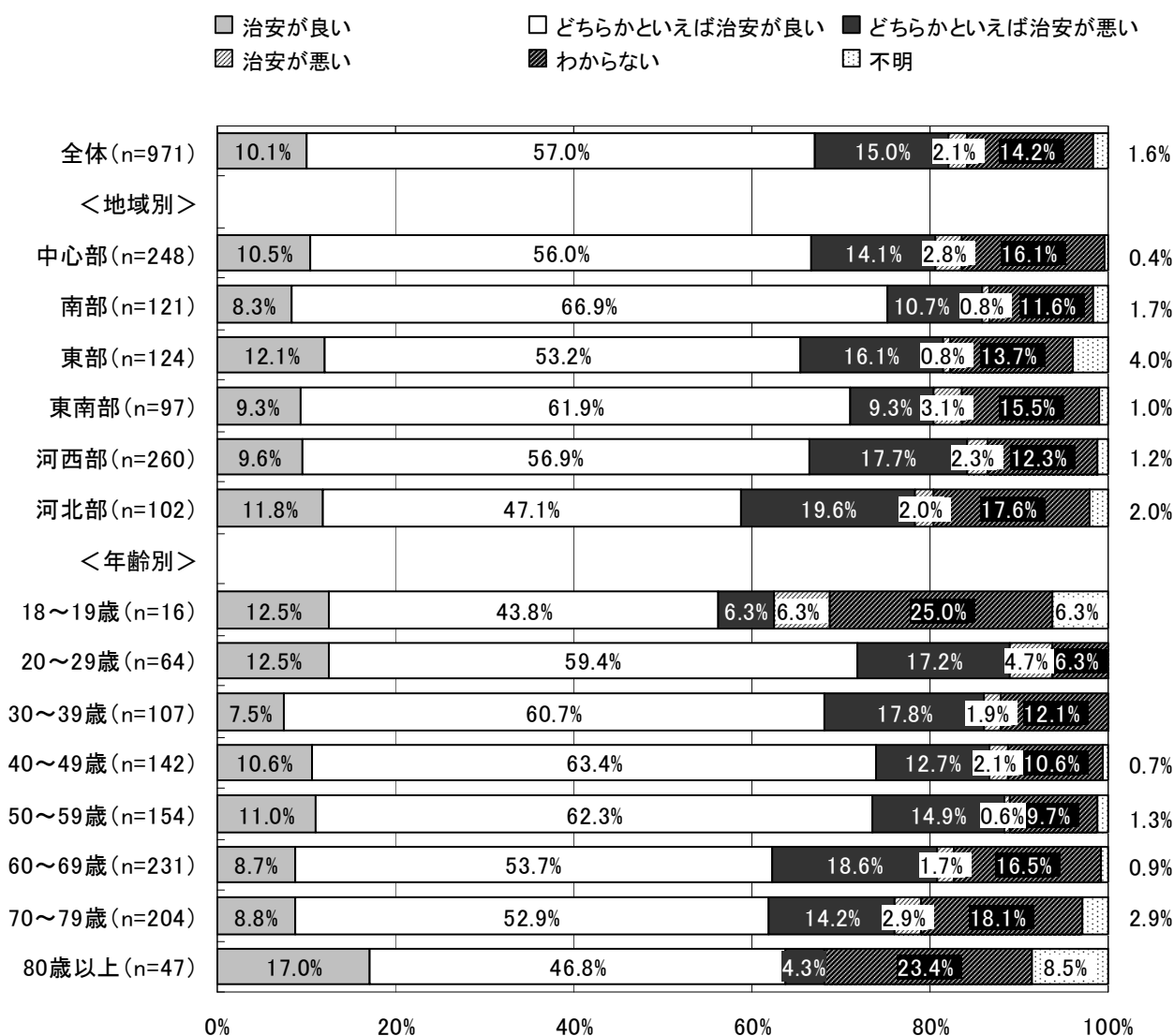
あなたは、和歌山市の治安状況についてどう感じていますか？

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. 治安が良い         | 2. どちらかといえば治安が良い |
| 3. どちらかといえば治安が悪い | 4. 治安が悪い         |
| 5. わからない         |                  |

「治安が良い」(10.1%)と「どちらかといえば治安が良い」(57.0%)を合わせた67.1%が治安は良いと感じている。「どちらかといえば治安が悪い」(15.0%)と「治安が悪い」(2.1%)を合わせた17.1%が治安は悪いと感じている。

地域別にみると、治安が良いと感じている割合は南部が75.2%と最も高く、治安が悪いと感じている割合は河北部が21.6%と最も高くなっている。

年齢別にみると、治安が良いと感じている割合は20歳代(71.9%)、40歳代(74.0%)、50歳代(73.3%)が70%を超えている。治安が悪いと感じている割合は、20歳代(21.9%)と60歳代(20.3%)が20%を超えている。



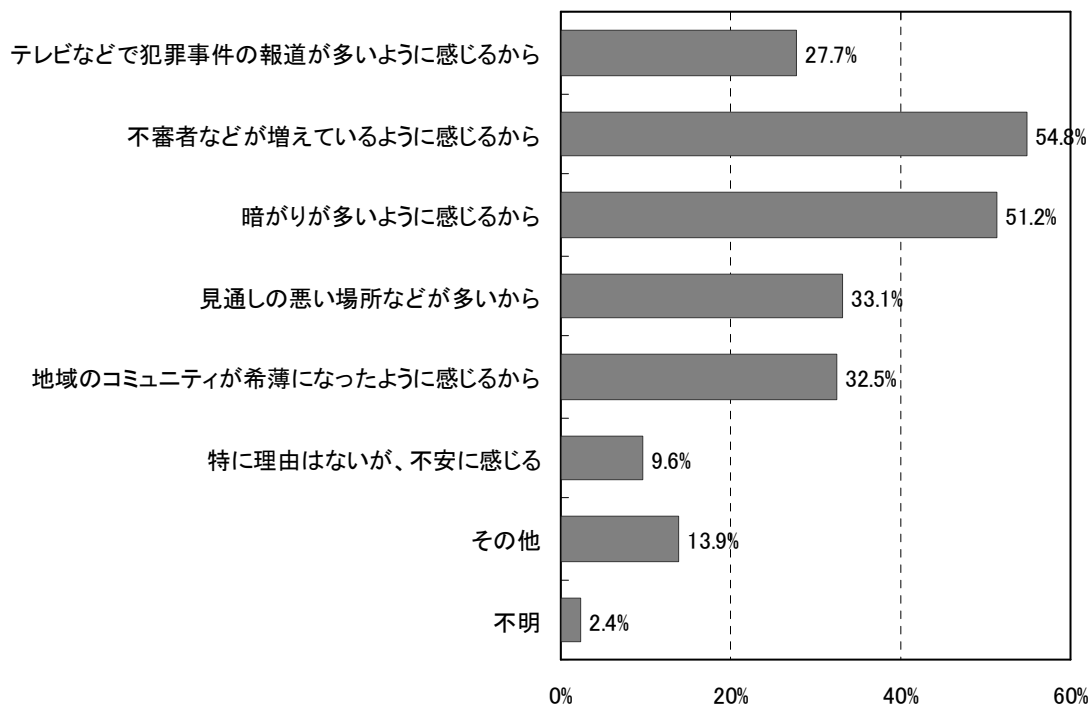
### 問 30-1 治安が悪いと感じる理由

問 30 で「3. どちらかといえば治安が悪い」、「4. 治安が悪い」と回答された方のみお答えください。治安が悪いと感じていることは何ですか？該当するものをすべてお選びください。

1. テレビなどで犯罪事件の報道が多いように感じるから
2. 不審者などが増えているように感じるから
3. 暗がりが多いように感じるから
4. 見通しの悪い場所などが多いから
5. 地域のコミュニティが希薄になったように感じるから
6. 特に理由はないが、不安を感じる
7. その他 ( )

問 30 で「どちらかといえば治安が悪い」、「治安が悪い」と回答した 166 人について、「不審者などが増えているように感じるから」(54.8%)と「暗がりが多いように感じるから」(51.2%)が 50%を超えている。「見通しの悪い場所などが多いから」(33.1%)と「地域のコミュニティが希薄になったように感じるから」(32.5%)が 30%台となっている。

n=166



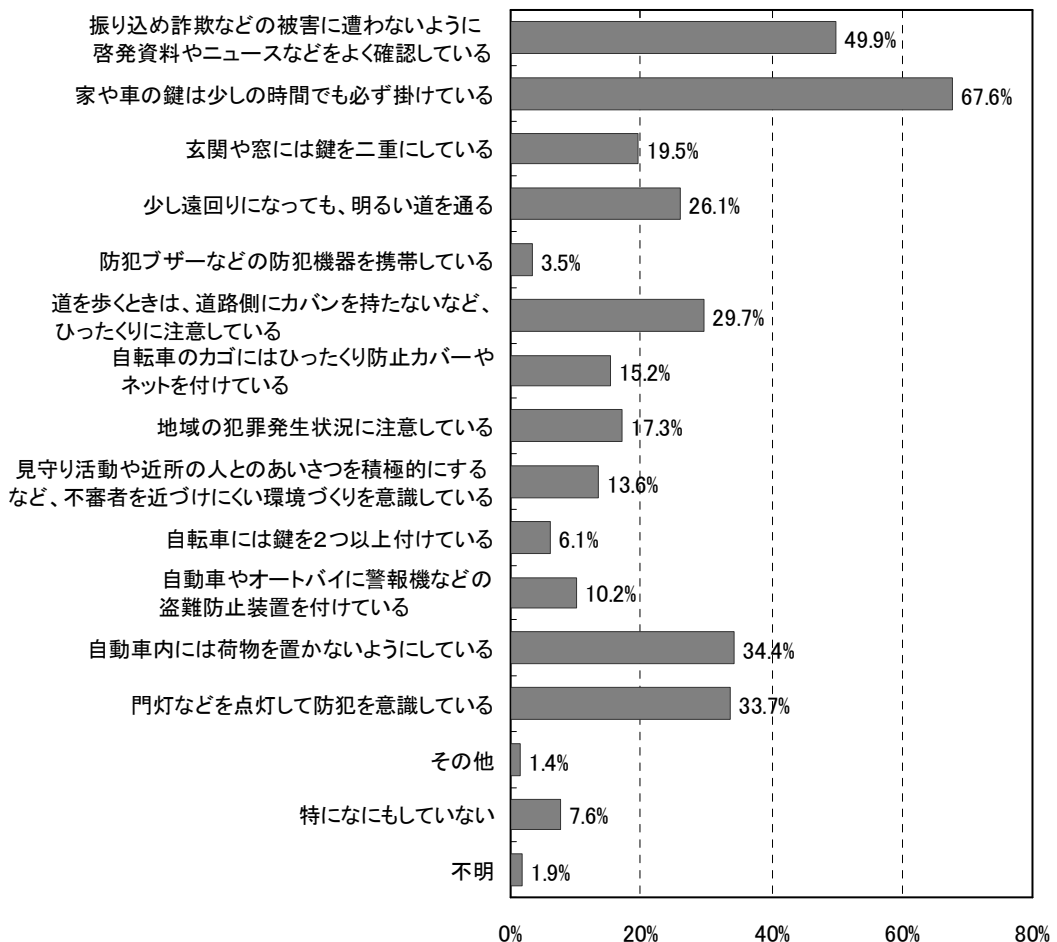
その他：「自転車のマナーが悪い」、「近所で空き巣があった」、「車上荒らしにあった」、「バイクの音がうるさい」、「空き家、空き店舗が多い」など

### 問 31 犯罪被害に遭わないための心がけ

あなたが犯罪の被害に遭わないために、日常生活で心がけていることは何ですか？該当するものをすべてお選びください。

1. 振り込め詐欺などの被害に遭わないように啓発資料やニュースなどをよく確認している
2. 家や車の鍵は少しの時間でも必ず掛けている
3. 玄関や窓には鍵を二重にしている
4. 少し遠回りになっても、明るい道を通る
5. 防犯ブザーなどの防犯機器を携帯している
6. 道を歩くときは、道路側にカバンを持たないなど、ひたたくりに注意している
7. 自転車のカゴにはひたたくり防止カバーやネットを付けている
8. 地域の犯罪発生状況に注意している
9. 見守り活動や近所の人とのあいさつを積極的にするなど、不審者を近づけにくい環境づくりを意識している
10. 自転車には鍵を2つ以上付けている
11. 自動車やオートバイに警報機などの盗難防止装置を付けている
12. 自動車内には荷物を置かないようにしている
13. 門灯などを点灯して防犯を意識している
14. その他（ ）
15. 特になにもしていない

「家や車の鍵は少しの時間でも必ず掛けている」の割合が67.6%と最も高く、次いで「振り込め詐欺などの被害に遭わないように啓発資料やニュースなどをよく確認している」(49.9%)、「自動車内には荷物を置かないようにしている」(34.4%)、「門灯などを点灯して防犯を意識している」(33.7%)の順となっている。



### 問 32 「青色回転灯付防犯パトロール車」の認知度

あなたは、和歌山市が青色回転灯付防犯パトロール車(通称：青パト)「まもるくん」により、各種防犯活動を行っていることを知っていますか？

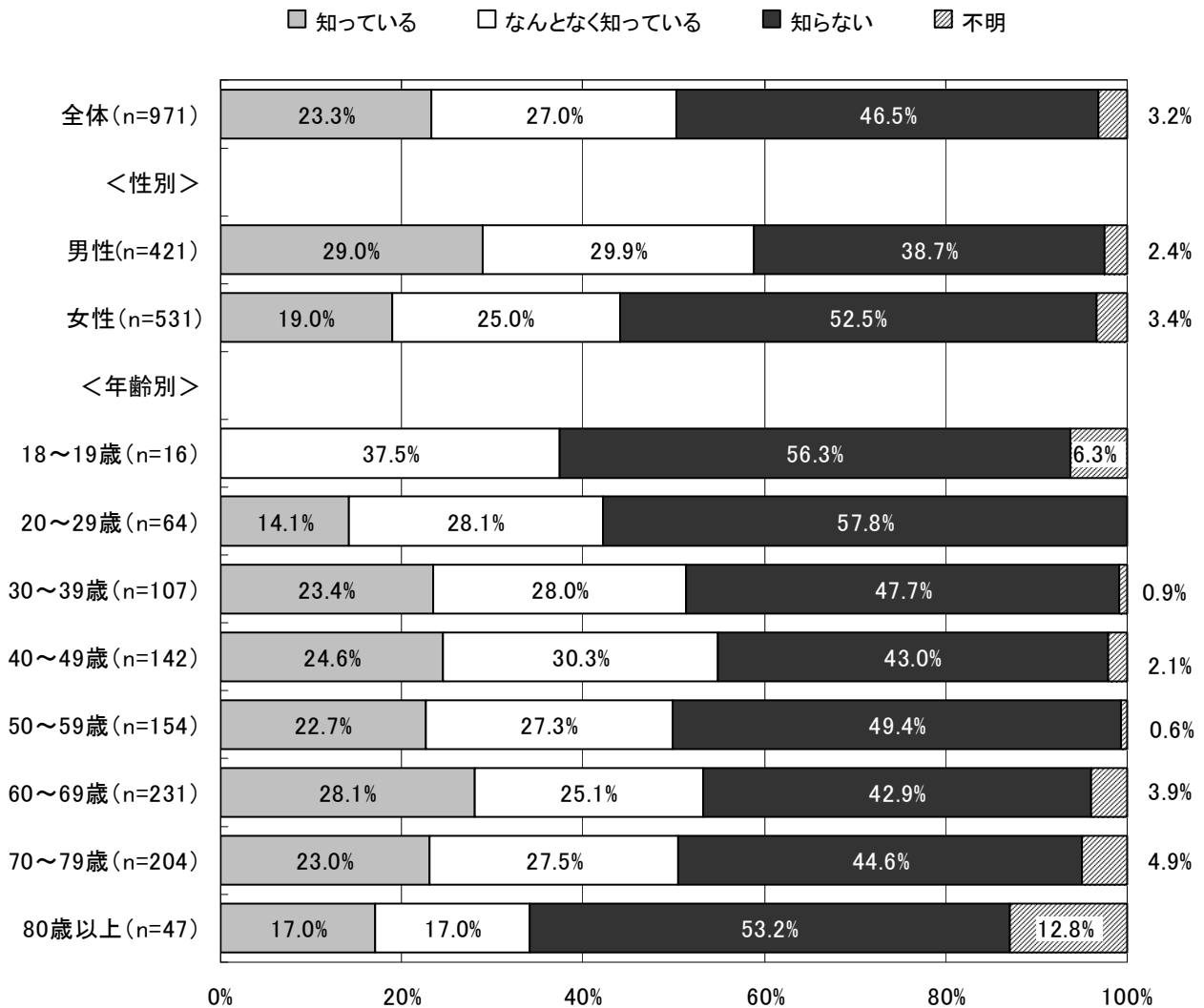
1. 知っている                      2. なんとなく知っている                      3. 知らない

※ 青色回転灯付防犯パトロール車(通称：青パト)とは、一定の要件のもとで警察から許可を受け、青色回転灯を装備して巡回パトロール等を行う車両です。現在、全国の自治体や自主防犯団体等で運用が進められています。

「知っている」(23.3%)と「なんとなく知っている」(27.0%)を合わせた認知率は50.3%、「知らない」は46.5%となっている。

性別にみると、認知率は男性(58.9%)が女性(44.0%)より14.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、認知率は40歳代が54.9%と最も高く、80歳以上は34.0%と最も低くなっている。



## 5. 消費者意識について

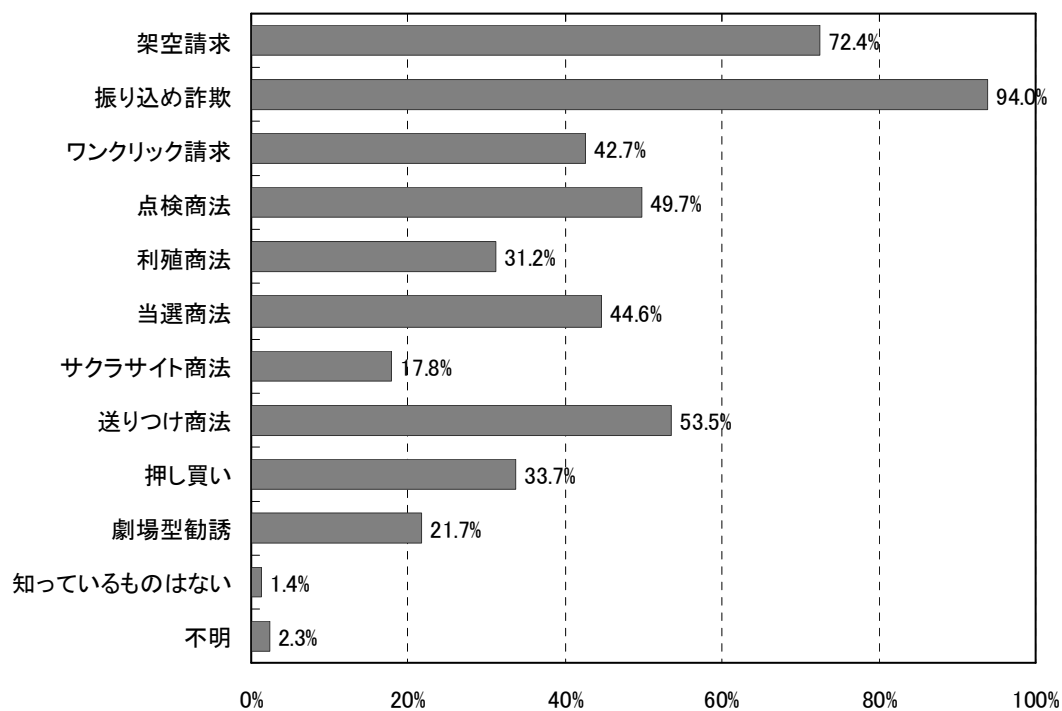
### 問 33 悪質商法の手口

あなたは、悪質商法の手口について知っていますか？

該当するものをすべてお選びください。

- |             |                |             |
|-------------|----------------|-------------|
| 1. 架空請求     | 2. 振り込め詐欺      | 3. ワンクリック請求 |
| 4. 点検商法     | 5. 利殖商法        | 6. 当選商法     |
| 7. サクラサイト商法 | 8. 送りつけ商法      | 9. 押し買い     |
| 10. 劇場型勧誘   | 11. 知っているものはない |             |

「振り込め詐欺」の割合が94.0%と最も高く、次いで「架空請求」(72.4%)、「送りつけ商法」(53.5%)の順となっている。「知っているものはない」の割合は1.4%となっている。



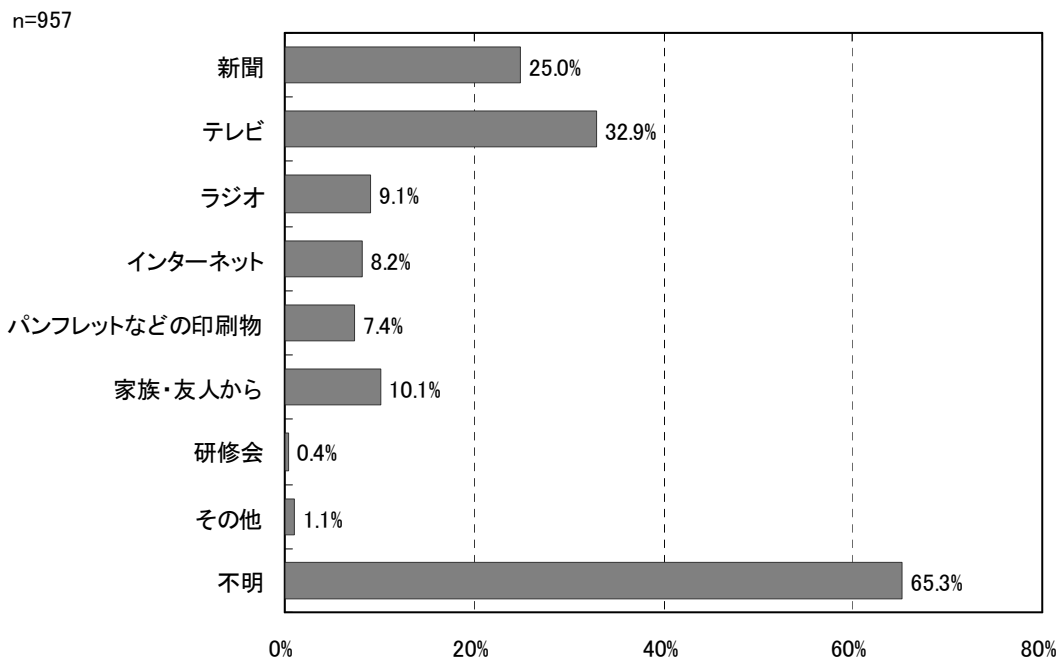


### 問 33-1 悪質商法の手口の情報源

問 33 で「11. 知っているものはない」を回答されていない方のみお答えください。  
選択した手口をどのようにして知りましたか？該当するものをすべてお選びください。

- |            |                 |            |
|------------|-----------------|------------|
| 1. 新聞      | 2. テレビ          | 3. ラジオ     |
| 4. インターネット | 5. パンフレットなどの印刷物 |            |
| 6. 家族・友人から | 7. 研修会          | 8. その他 ( ) |

問 33 で「知っているものはない」を選択しなかった 957 人について、「テレビ」の割合が 32.9% と最も高く、次いで「新聞」(25.0%)、「家族・友人から」(10.1%) の順となっている。



その他：「架空請求の連絡があった」、「学校の授業」、「交番のニュース」、「回覧板」など

### 問 34 悪質商法の被害に遭わないために気をつけていること

あなたは、悪質商法の被害に遭わないために日頃から気をつけていることはありますか？

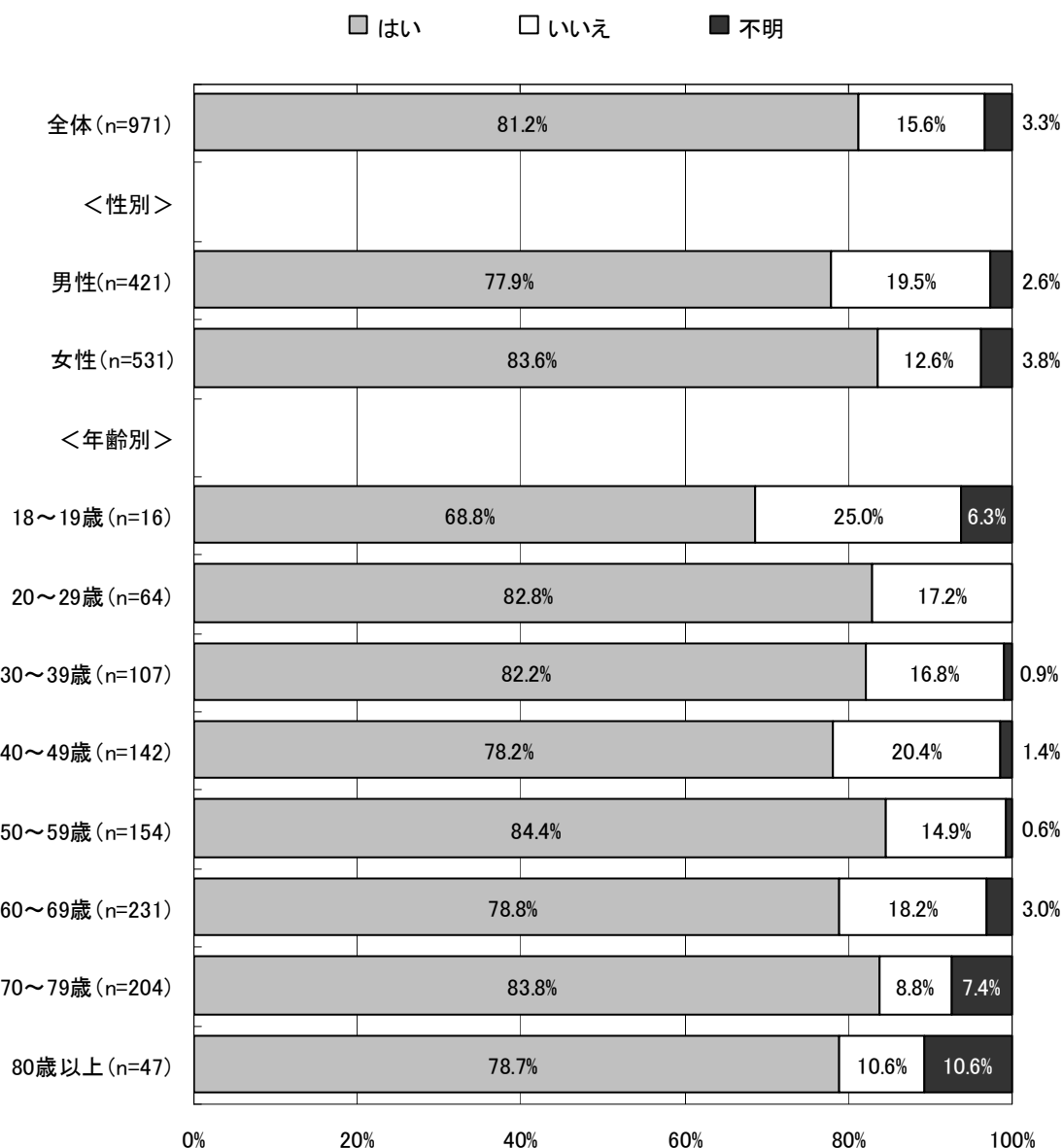
1. はい

2. いいえ

「はい」は81.2%、「いいえ」は15.6%となっている。

性別でみると、「はい」の割合は女性（83.6%）が男性（77.9%）より5.7ポイント上回っている。

年齢別にみると、「はい」の割合は18～19歳（68.8%）以外の年齢層で70%を超えている。

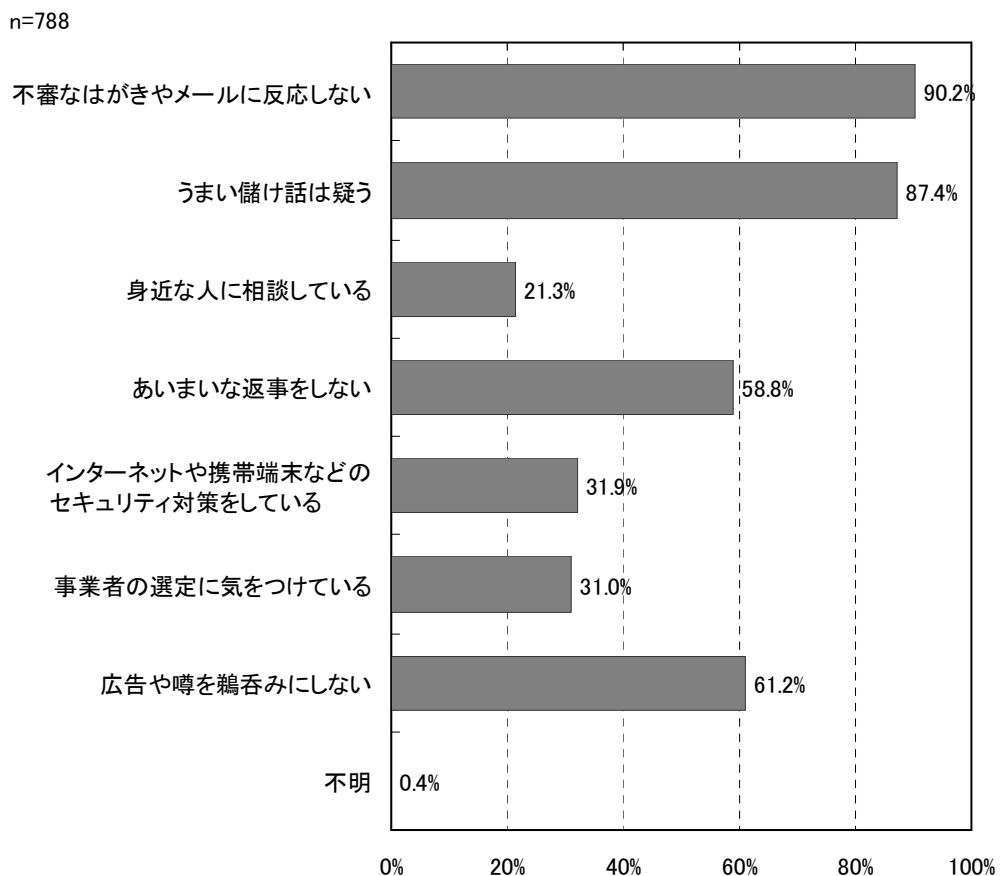


### 問 34-1 悪質商法の被害に遭わないために気をつけている事柄

問 34 で「1. はい」と回答された方のみお答えください。悪質商法の被害に遭わないために日頃から気をつけていることは何ですか？該当するものをすべてお選びください。

1. 不審なはがきやメールに反応しない
2. うまい儲け話は疑う
3. 身近な人に相談している
4. あいまいな返事をしない
5. インターネットや携帯端末などのセキュリティ対策をしている
6. 事業者の選定に気をつけている
7. 広告や噂を鵜呑みにしない

問 34 で「はい」と回答した 788 人について、「不審なはがきやメールに反応しない」の割合が 90.2%と最も高く、次いで「うまい儲け話は疑う」(87.4%)、「広告や噂を鵜呑みにしない」(61.2%)の順となっている。



## 6. 国民体育大会・全国障害者スポーツ大会について

### 問 35 全国障害者スポーツ大会の認知度

あなたは、2015年（平成27年）に和歌山県において開催される、第70回国民体育大会（紀の国わかやま国体）終了後、引き続き第15回全国障害者スポーツ大会（紀の国わかやま大会）が開催されるのを知っていますか？

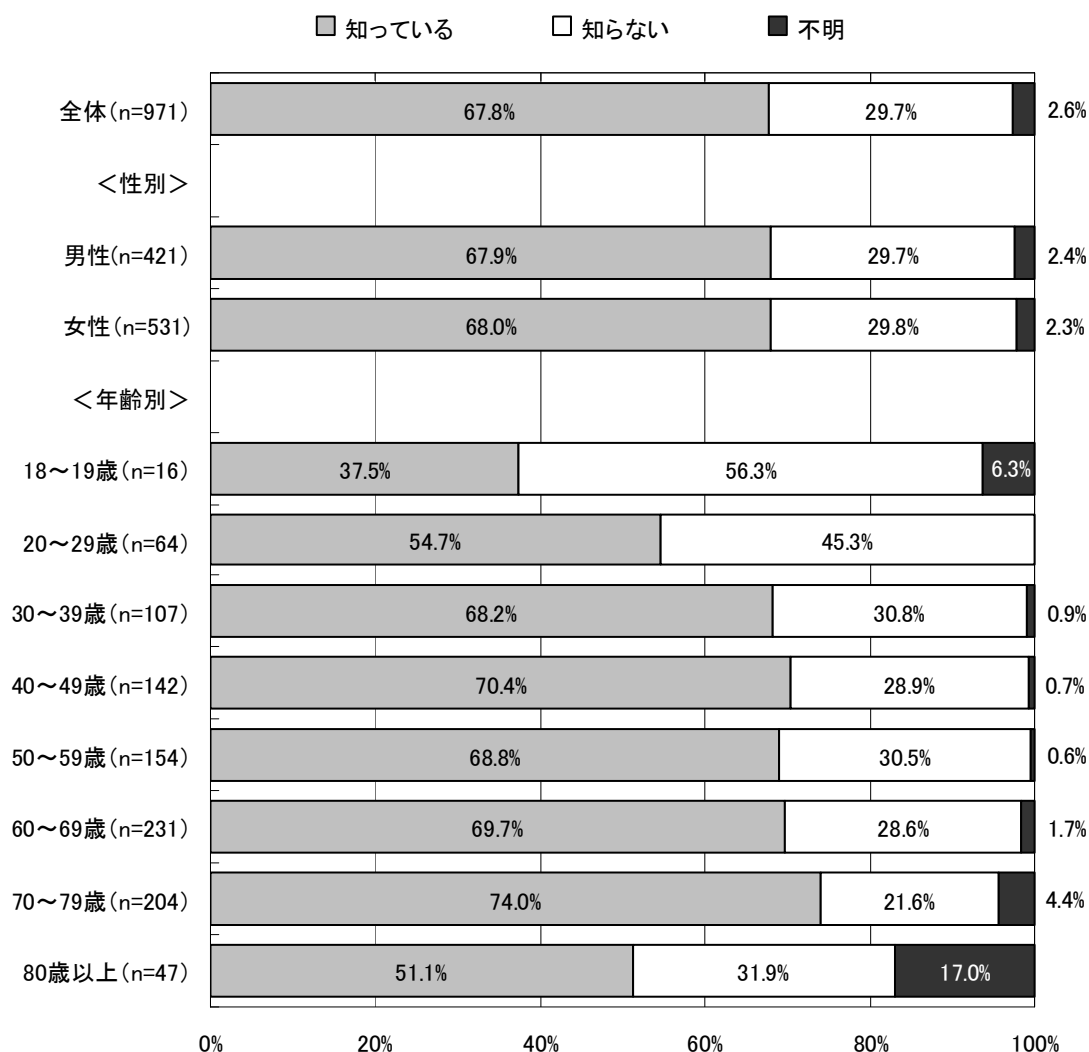
1. 知っている

2. 知らない

「知っている」は67.8%、「知らない」は29.7%となっている。

性別による大きな差はみられない。

年齢別にみると、認知率は70歳代が74.0%と最も高く、18～19歳は37.5%と最も低くなっている。



### 問 36 ボランティア活動への参加の意向

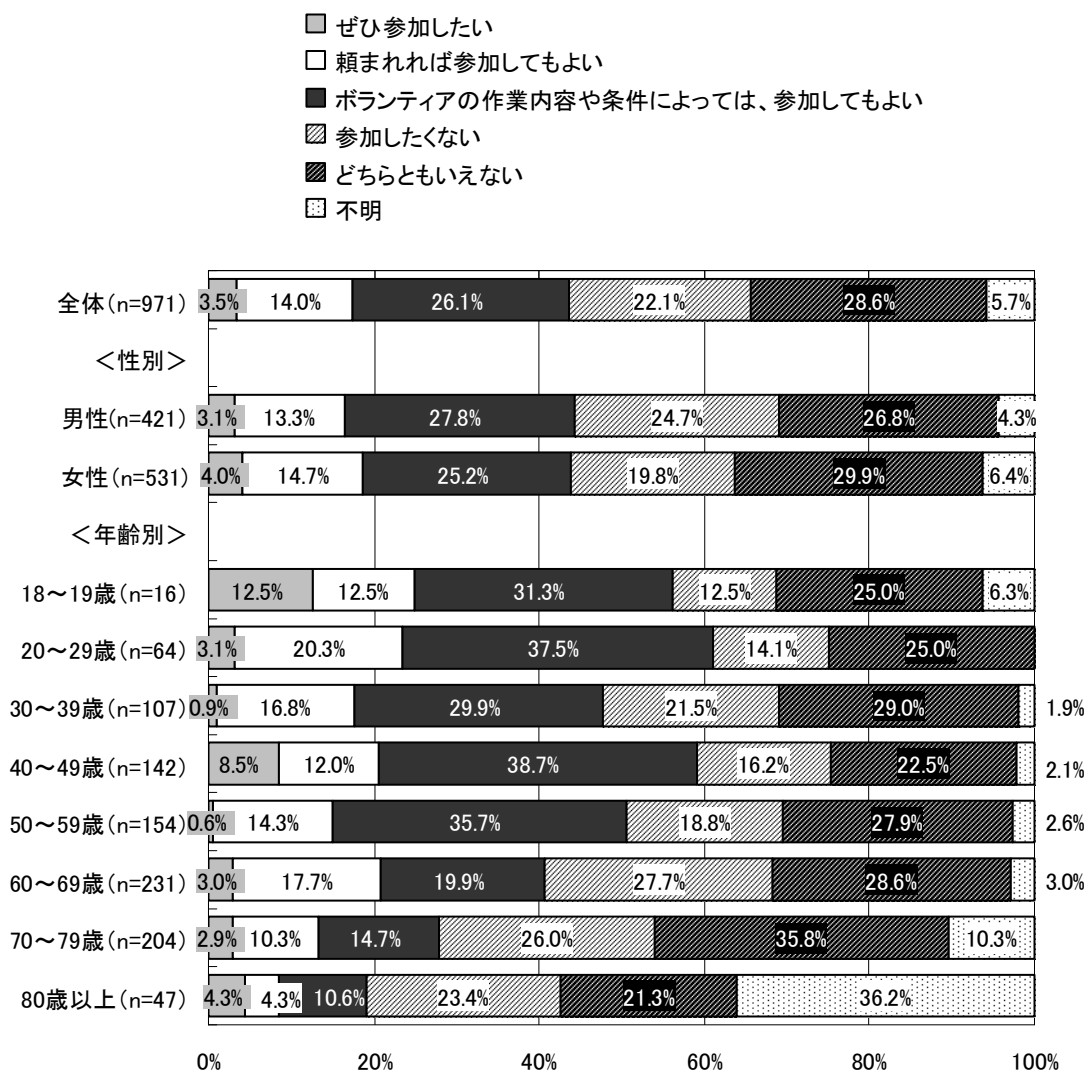
県外から来られた選手たちを温かくおもてなしするために、多くのボランティアが必要となります。あなたは、ボランティア活動に参加することについてどう考えますか？

1. ぜひ参加したい
2. 頼まれれば参加してもよい
3. ボランティアの作業内容や条件によっては、参加してもよい
4. 参加したくない
5. どちらともいえない

「ぜひ参加したい」(3.5%)と「頼まれれば参加してもよい」(14.0%)、「ボランティアの作業内容や条件によっては、参加してもよい」(26.1%)を合わせた43.6%が参加の意向があり、「参加したくない」は22.1%、「どちらともいえない」は28.6%となっている。

性別にみると、参加の意向に大きな差はみられない。「参加したくない」の割合は男性(24.7%)が女性(19.8%)より4.9ポイント上回っている。

年齢別にみると、参加の意向は18～19歳(56.3%)と20歳代(60.9%)、40歳代(59.2%)、50歳代(50.6%)が50%を超えている。



## 7. 男女共生について

### 問 37 「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべき」という考え方について

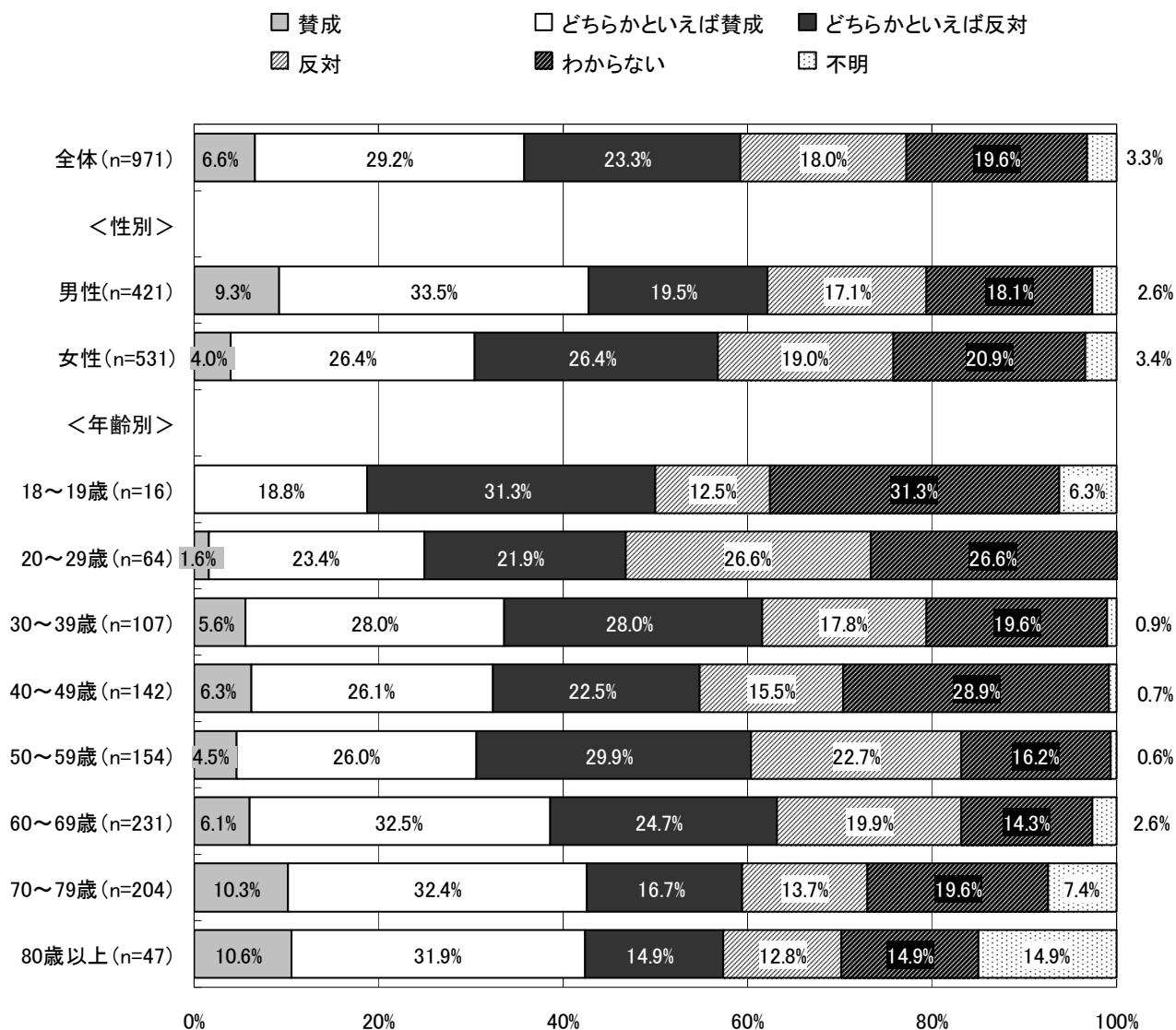
あなたは、「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべき」という考え方についてどのように思いますか？つぎの中から1つお選びください。

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 賛成         | 2. どちらかといえば賛成 |
| 3. どちらかといえば反対 | 4. 反対         |
| 5. わからない      |               |

賛成と思う割合（「賛成」6.6%と「どちらかといえば賛成」29.2%の計）は35.8%、反対と思う割合（「どちらかといえば反対」23.3%と「反対」18.0%の計）は41.3%、「わからない」は19.6%となっている。

性別にみると、「賛成と思う」割合は男性（42.8%）が女性（30.4%）より12.4ポイント上回っている。

年齢別にみると、70歳以上の年齢層が「反対と思う」割合より「賛成と思う」割合が上回っている。



## 8. 男性の育児参加について

### 問 38 男性の育児参加

和歌山市では男性の育児参加を促進するため、各種事業に取り組んでいます。

あなたは、男性が育児に参加することに対してどのように思いますか？

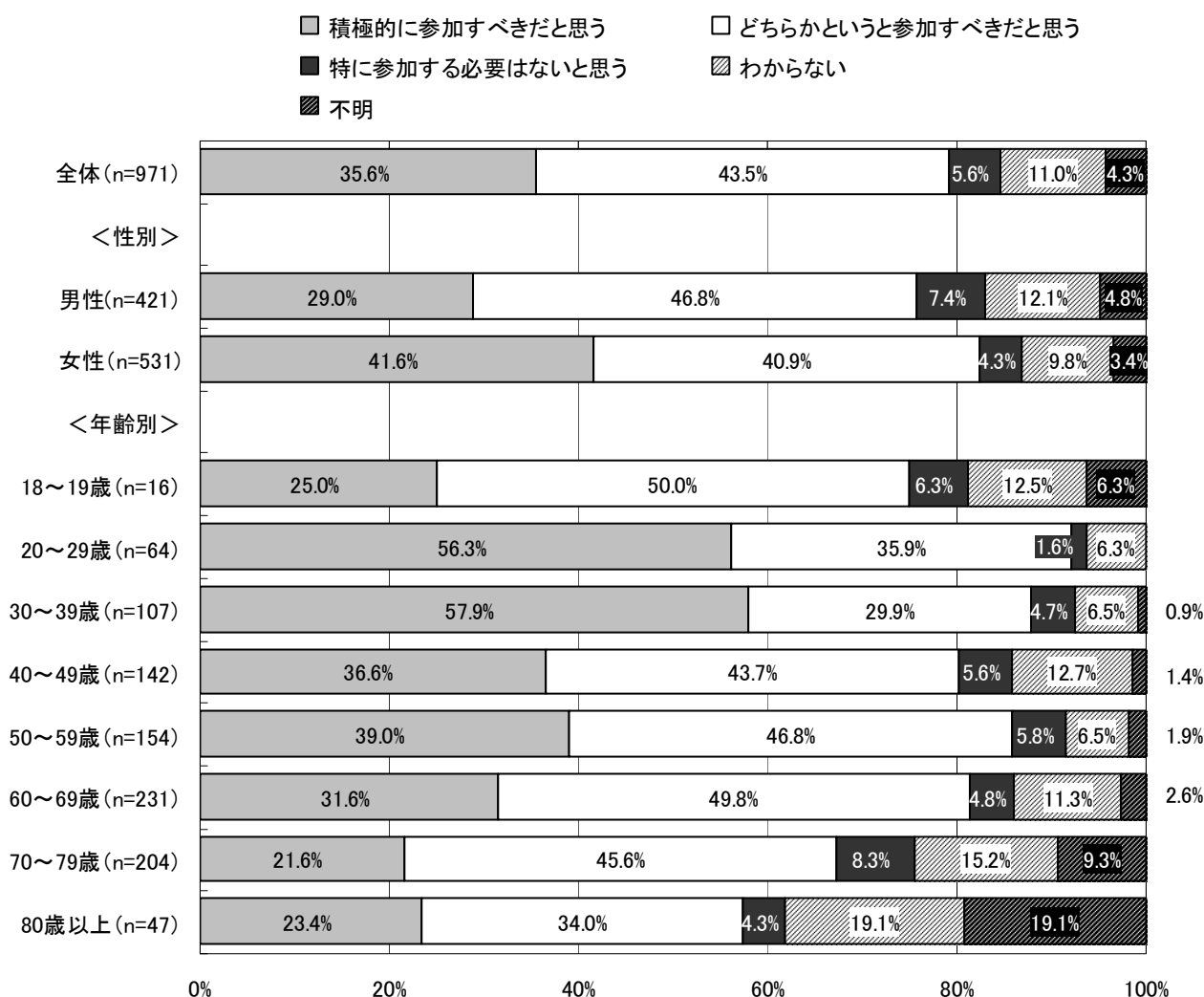
つぎの中から1つお選びください。

1. 積極的に参加すべきだと思う
2. どちらかというに参加すべきだと思う
3. 特に参加する必要はないと思う
4. わからない

参加すべきとする意向（「積極的に参加すべきだと思う」35.6%と「どちらかというに参加すべきだと思う」43.5%の計）の割合は79.1%、「特に参加する必要はないと思う」は5.6%、「わからない」は11.0%となっている。

性別にみると、参加すべきとする意向の割合は、女性（82.5%）が男性（75.8%）より6.7ポイント上回っている。

年齢別にみると、参加すべきとする意向の割合は20歳代が92.2%と最も高く、80歳以上は57.4%と最も低くなっている。



### 問 39 男性の育児休業取得

あなたは、男性が育児休業を取得することについてどのように思いますか？

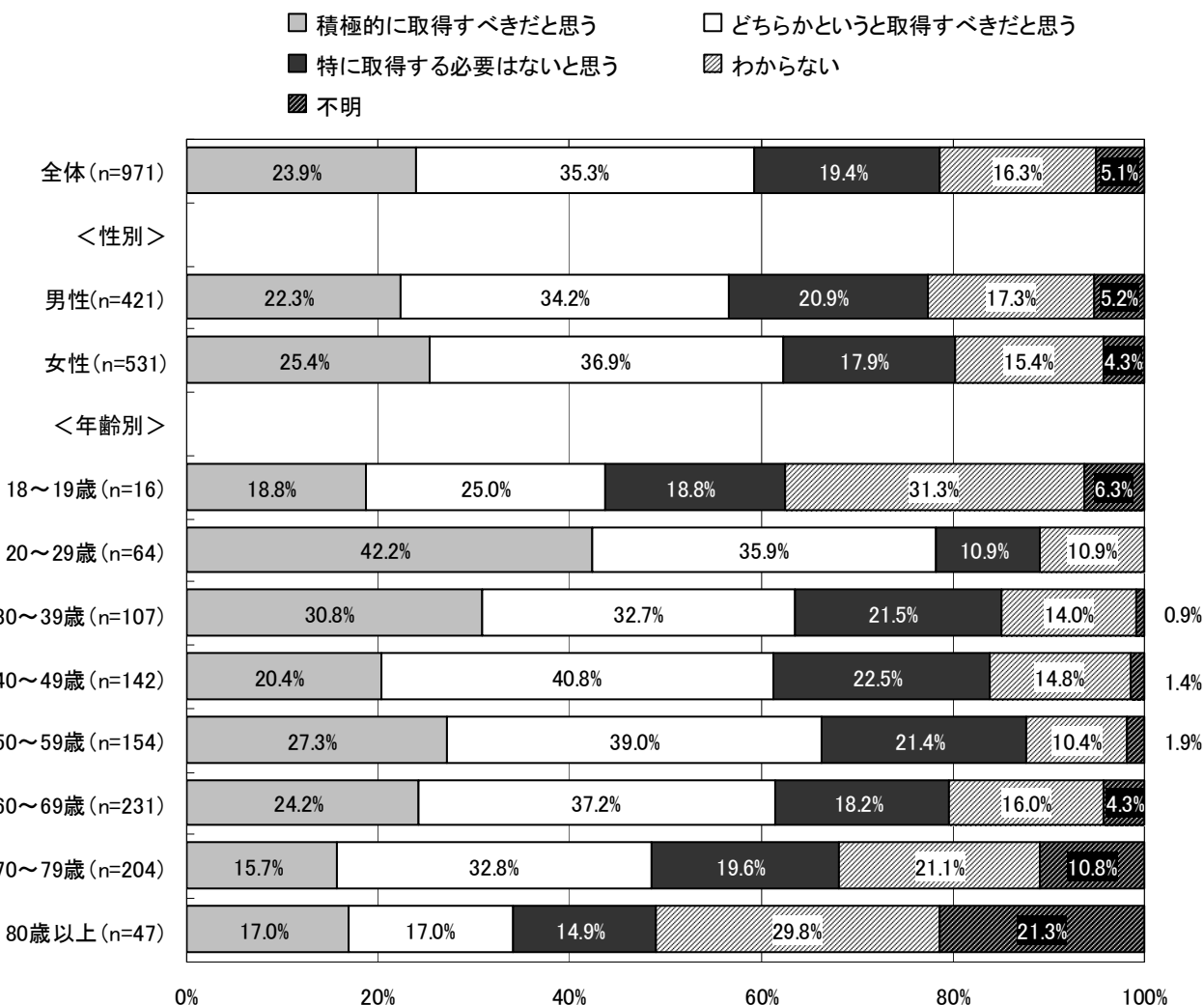
つぎの中から1つお選びください。

1. 積極的に取得すべきだと思う
2. どちらかという取得すべきだと思う
3. 特に取得する必要はないと思う
4. わからない

取得すべきとする意向（「積極的に取得すべきだと思う」23.9%と「どちらかという取得すべきだと思う」35.3%の計）の割合は59.2%、「特に取得する必要はないと思う」は19.4%、「わからない」は16.3%となっている。

性別にみると、取得すべきとする意向の割合は女性（62.3%）が男性（56.5%）より5.8ポイント上回っている。

年齢別にみると、取得すべきとする意向の割合は20歳代が78.1%と最も高く、80歳以上は34.0%と最も低くなっている。







## 問 41 健康づくりへの意識的な取組

あなたは、意識的に健康づくりに取り組んでいますか？

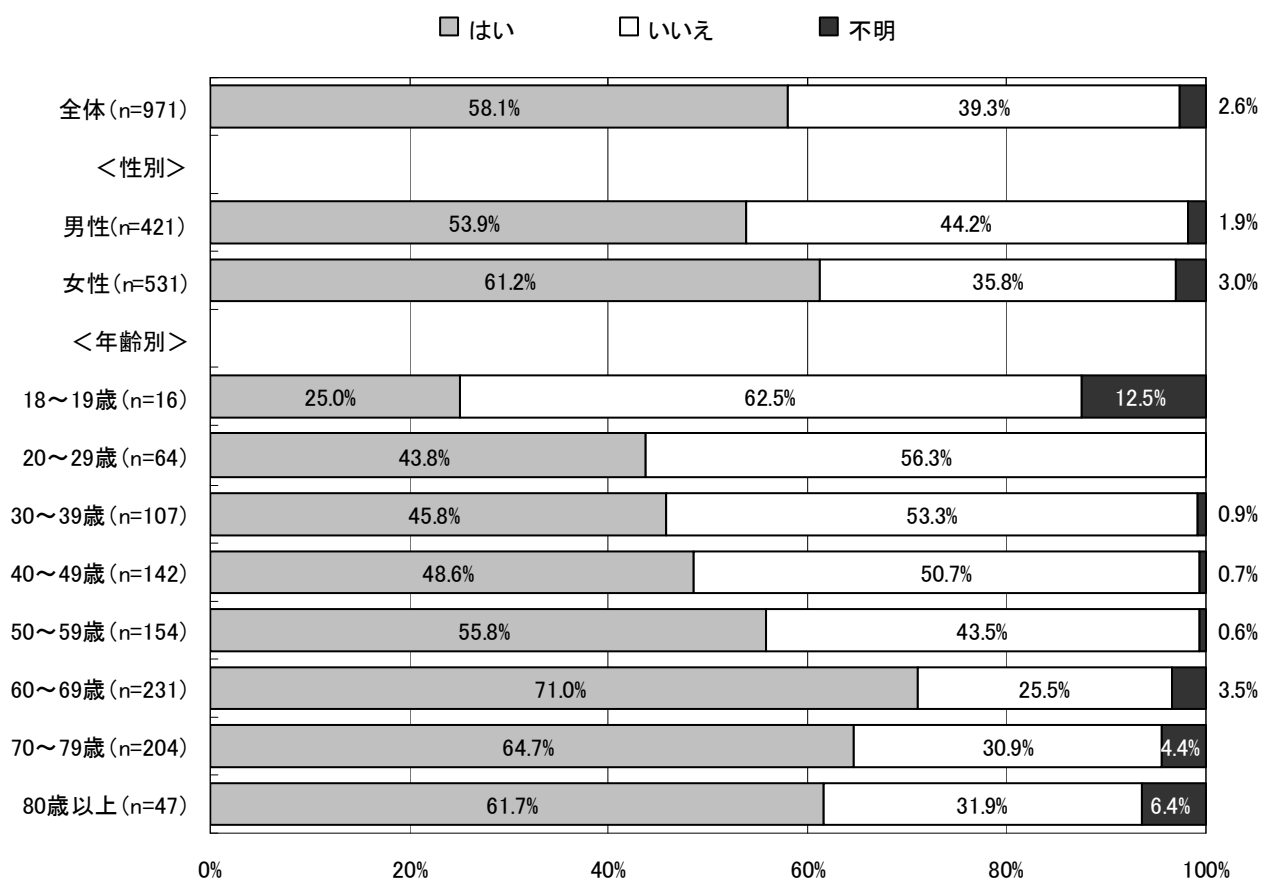
1. はい

2. いいえ

「はい」は58.1%、「いいえ」は39.3%となっている。

性別にみると、「はい」の割合は女性（61.2%）が男性（53.9%）より7.3ポイント上回っている。

年齢別にみると、「はい」の割合は60歳代が71.0%と最も高く、次いで70歳代（64.7%）、80歳以上（61.7%）となり、18～19歳は25.0%と最も低くなっている。



☆問42～問44-2までは20歳以上の方のみ伺います☆

問42 喫煙状況

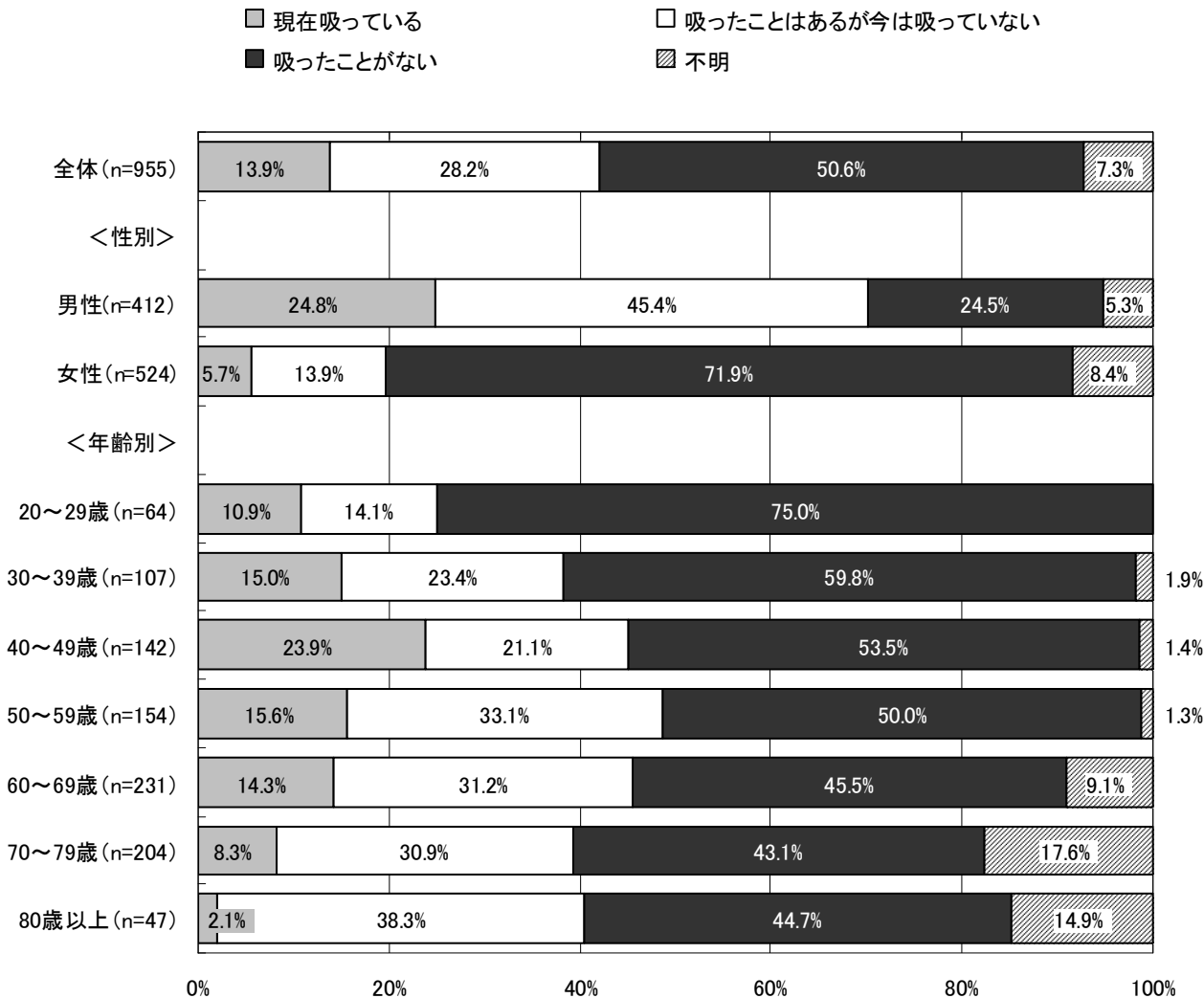
あなたは、タバコを吸っていますか？

- 1. 現在吸っている
- 2. 吸ったことはあるが今は吸っていない
- 3. 吸ったことがない

18～19歳以外の955人のうち、「吸ったことがない」の割合が50.6%と最も高く、「現在吸っている」(13.9%)と「吸ったことはあるが今は吸っていない」(28.2%)を合わせた42.1%が吸ったことがあるとしている。

性別にみると、「現在吸っている」割合は男性(24.8%)が女性(5.7%)より19.1ポイント上回っている。

年齢別にみると、「現在吸っている」割合は40歳代が23.9%と最も高く、「吸ったことはあるが今は吸っていない」割合は80歳以上が38.3%と最も高くなっている。



問 42-1 喫煙本数・喫煙期間

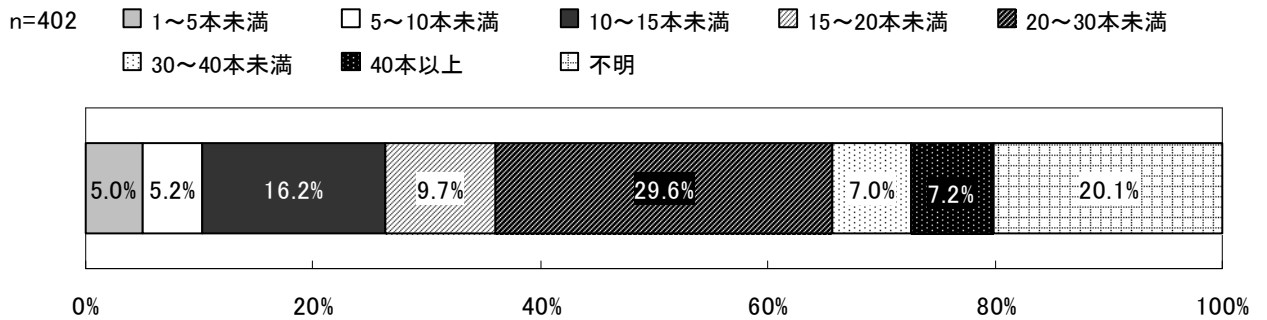
問 42 で「1. 現在吸っている」又は「2. 吸ったことはあるが今は吸っていない」と回答された方のみお答えください。

「一日の平均喫煙本数」は何本ですか ( ) 本  
 「喫煙期間」は何年ですか ( ) 年

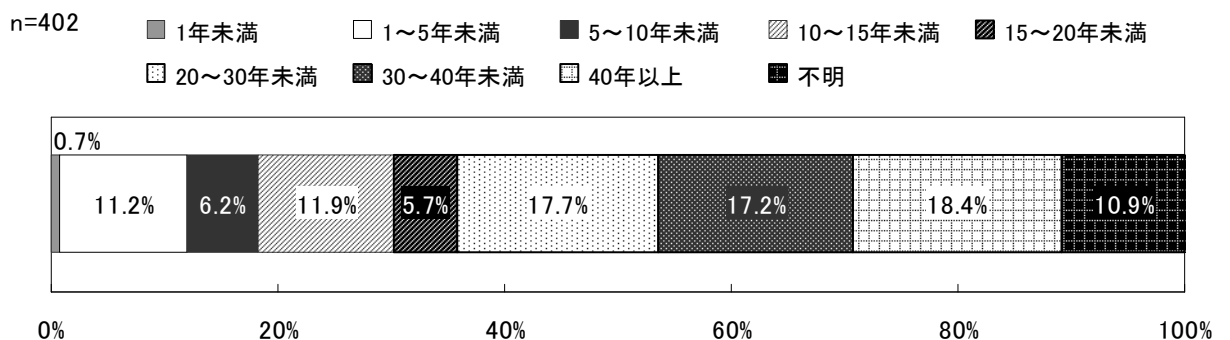
問 42 で「現在吸っている」または「吸ったことはあるが今は吸っていない」と回答した 402 人のうち、一日の平均喫煙本数の割合は「20～30 本未満」(29.6%) が最も高く、次いで「10～15 本未満」(16.2%) となっている。

喫煙期間の割合は「40 年以上」が 18.4% と最も高く、次いで「20～30 年未満」(17.7%)、「30～40 年未満」(17.2%) となっている。

【一日の平均喫煙本数】



【喫煙期間】



## 問 42-2 禁煙の意向

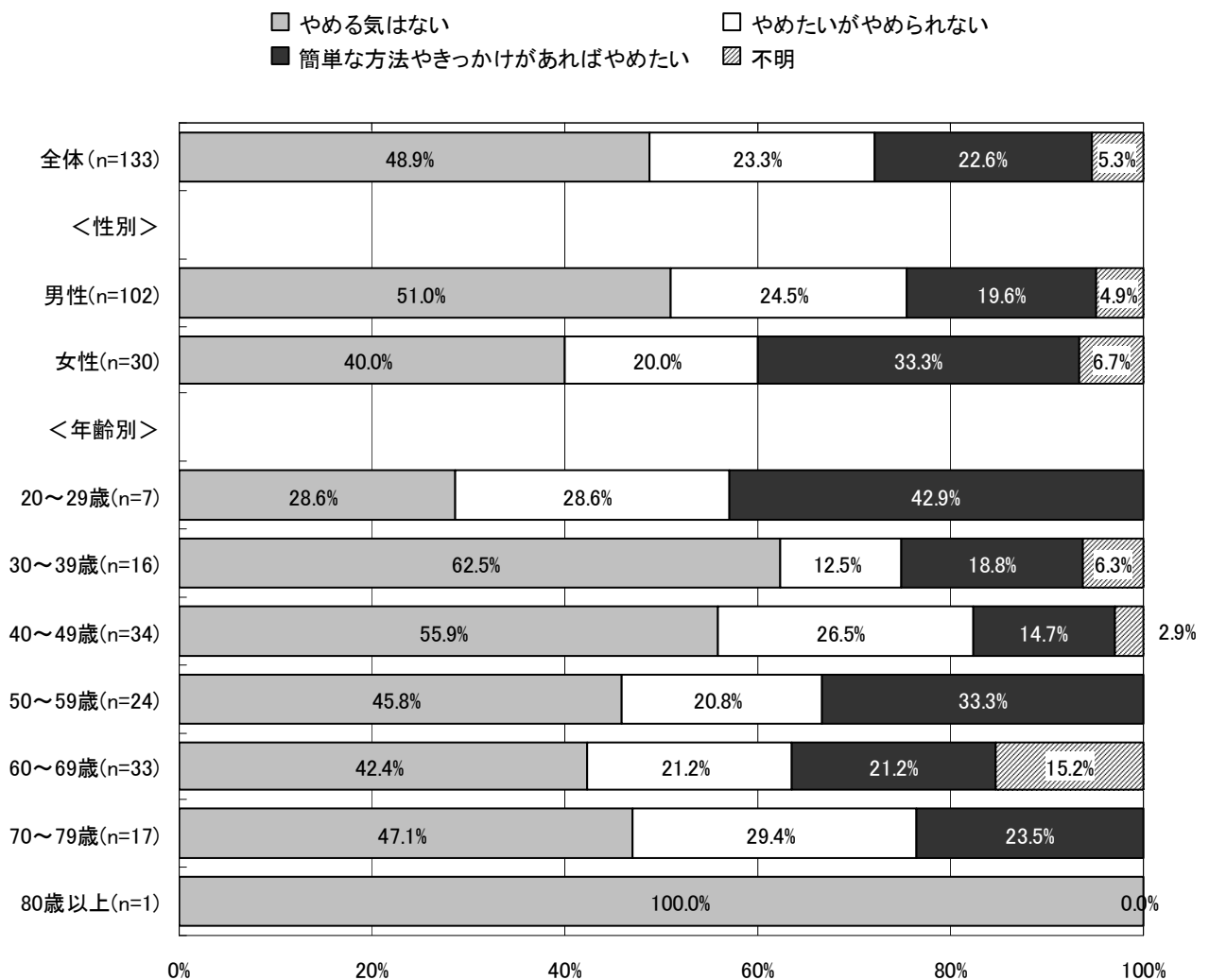
問 42 で「1. 現在吸っている」と回答された方のみお答えください。  
最も当てはまるもの1つをお選びください。

1. やめる気はない
2. やめたいがやめられない
3. 簡単な方法やきっかけがあればやめたい

問 42 で「現在吸っている」と回答した 133 人について、「やめる気はない」の割合が 48.9%と最も高く、次いで「やめたいがやめられない」(23.3%)、「簡単な方法やきっかけがあればやめたい」(22.6%)の順となっている。

性別にみると、「やめる気はない」の割合は男性(51.0%)が女性(40.0%)より 11.0 ポイント上回っている。

年齢別にみると、20 歳代は「簡単な方法やきっかけがあればやめたい」の割合が 42.9%と他の項目より高く、20 歳代以外の年齢層は、「やめる気はない」の割合が他の項目よりも高くなっている。

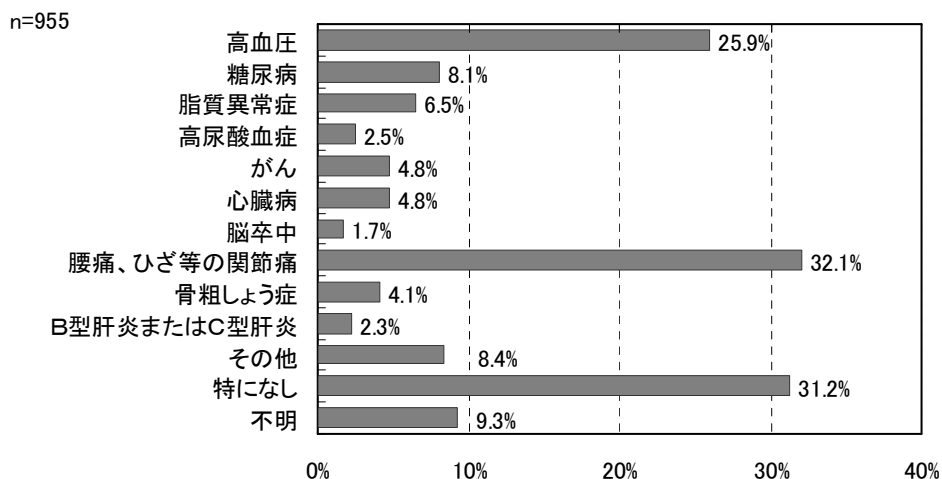


### 問 43 病気・症状について

あなたが、つぎの病気・症状の中で、今までにかかった、又は今かかっているものはありますか？該当するものをすべてお選びください。

1. 高血圧    2. 糖尿病    3. 脂質異常症    4. 高尿酸血症    5. がん  
 6. 心臓病    7. 脳卒中    8. 腰痛、ひざ等の関節痛    9. 骨粗しょう症  
 10. B型肝炎又はC型肝炎    11. その他（                      ）    12. 特になし

「腰痛、ひざ等の関節痛」の割合が32.1%と最も高く、次いで「高血圧」(25.9%)となっている。その他の病気・症状は10%を超えるものはなく、「特になし」が31.2%となっている。



その他：「パーキンソン病」、「メニエール」、「腎臓病」、「慢性関節リュウマチ」など

### 問 44 がん検診について

あなたは、定期的に、がん検診（胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がんのいずれか）を受けていますか？

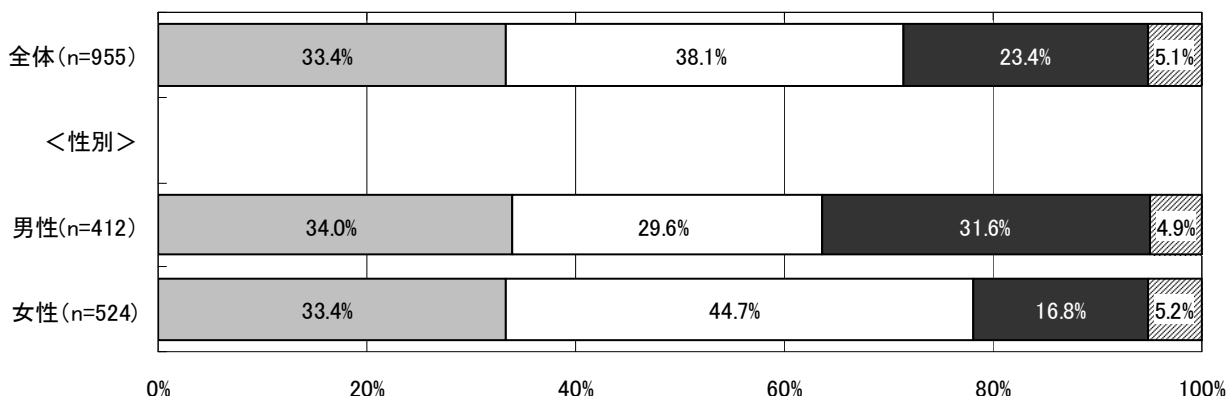
1. 定期的に受けている    2. 定期的には受けていない    3. 一度も受けたことがない

※ 定期的な検診とは、「胃がん・肺がん・大腸がん」は1年に1回、「子宮頸がん・乳がん」は2年に1回の検診を受けることです。

「定期的には受けていない」の割合が38.1%と最も高く、「定期的に受けている」は33.4%、「一度も受けたことがない」は23.4%となっている。

性別にみると、「定期的に受けている」の割合は差がなく、「一度も受けたことがない」の割合は男性（31.6%）が女性（16.8%）より14.8ポイント上回っている。

□ 定期的に受けている    □ 定期的には受けていない    ■ 一度も受けたことがない    ▨ 不明



#### 問 44-1 がん検診の種類について

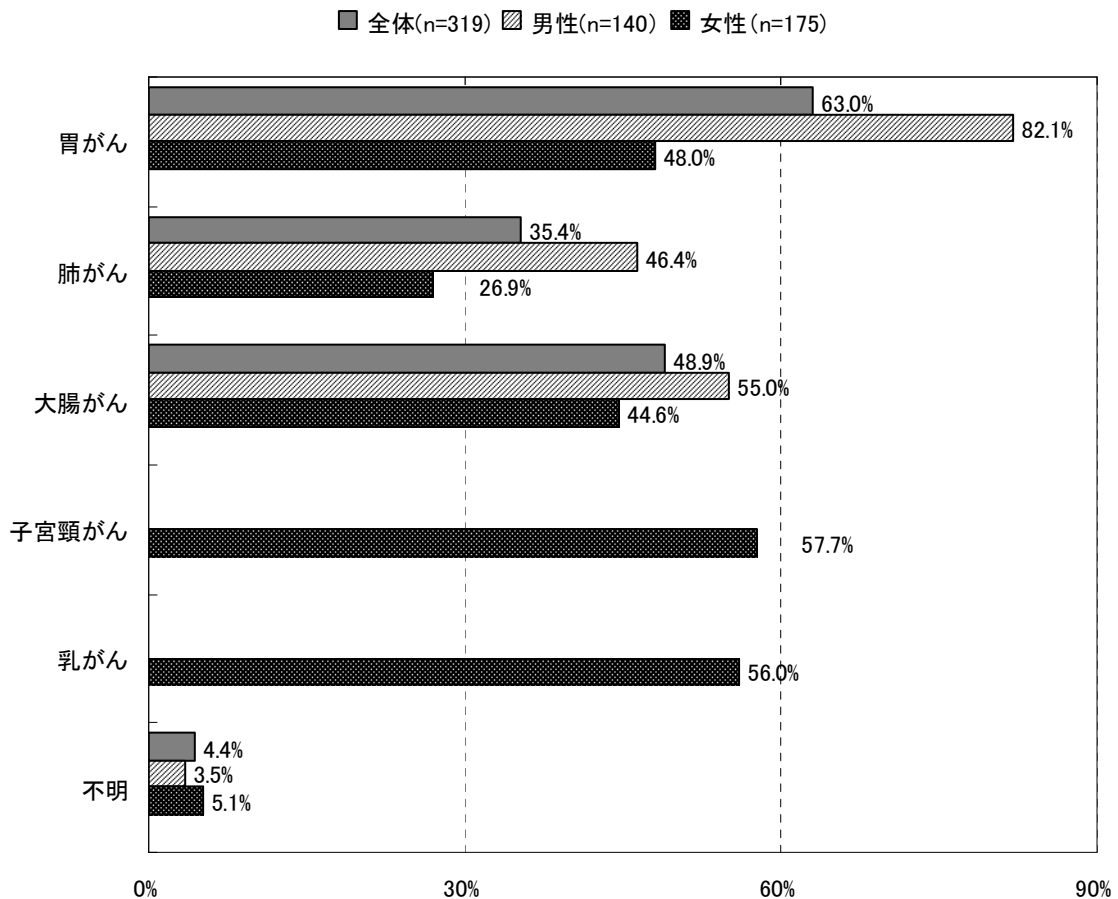
問 44 で「1. 定期的に受けている」と回答された方のみお答えください。  
定期的に何の検診を受けていますか？該当するものをすべてお選びください。

1. 胃がん 2. 肺がん 3. 大腸がん 4. 子宮頸がん 5. 乳がん

問 44 で「定期的に受けている」と回答した 319 人について、「胃がん」の割合が 63.0%と最も高く、次いで「大腸がん」(48.9%)、「肺がん」(35.4%)の順となっている。

性別にみると、男性は「胃がん」(82.1%)が最も高く、女性は「子宮頸がん」(57.7%)となっている。

※「子宮頸がん」と「乳がん」については女性のみを検診となっている。

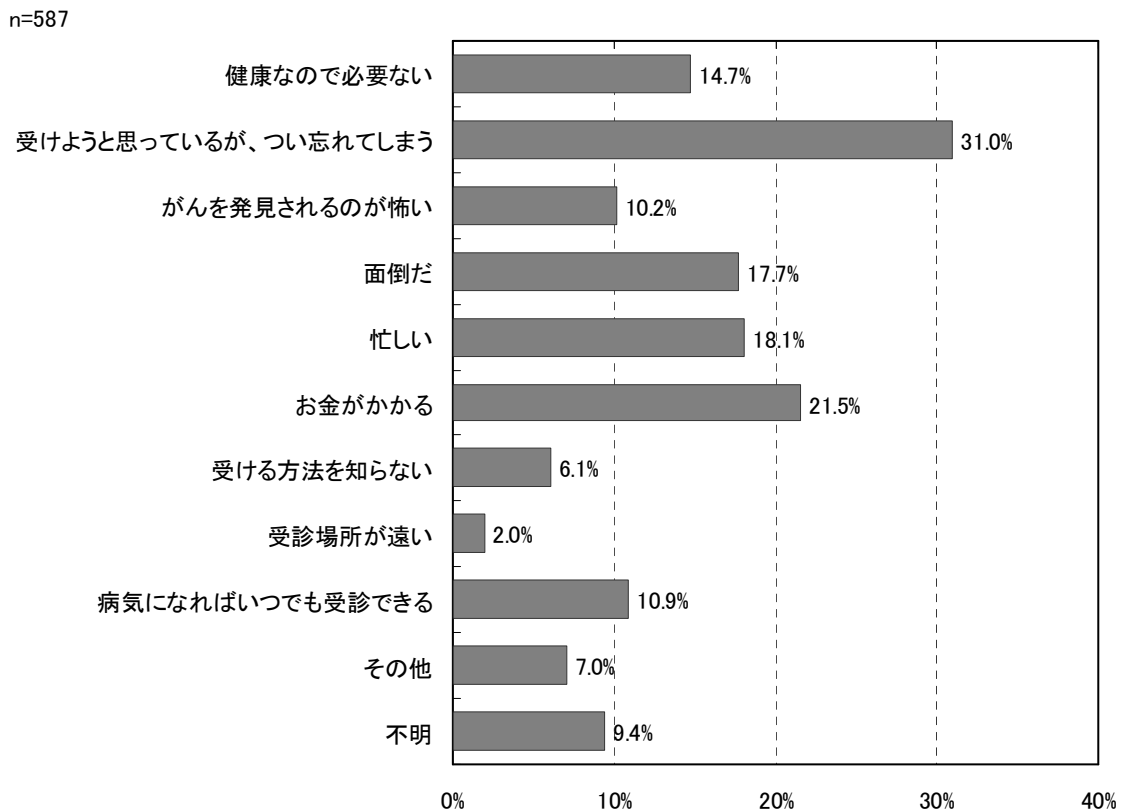


問 44-2 がん検診を受けない理由

問 44 で「2. 定期的には受けていない」「3. 一度も受けたことがない」と回答された方のお答えください。その理由は何ですか？該当するものをすべてお選びください。

- |                    |                         |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 健康なので必要ない       | 2. 受けようと思っているが、つい忘れてしまう |
| 3. がんを発見されるのが怖い    | 4. 面倒だ                  |
| 5. 忙しい             | 6. お金がかかる               |
| 7. 受ける方法を知らない      | 8. 受診場所が遠い              |
| 9. 病気になればいつでも受診できる | 10. その他 ( )             |

問 44 で「定期的には受けていない」、「一度も受けたことがない」と回答した 587 人について、「受けようと思っているが、つい忘れてしまう」の割合が 31.0%と最も高く、次いで「お金がかかる」(21.5%)、「忙しい」(18.1%) の順となっている。



その他：「40歳からでいいと考えている」、「かかりつけ医がいるので」など



## 問 45 「COPD(慢性閉塞性肺疾患)」の認知度

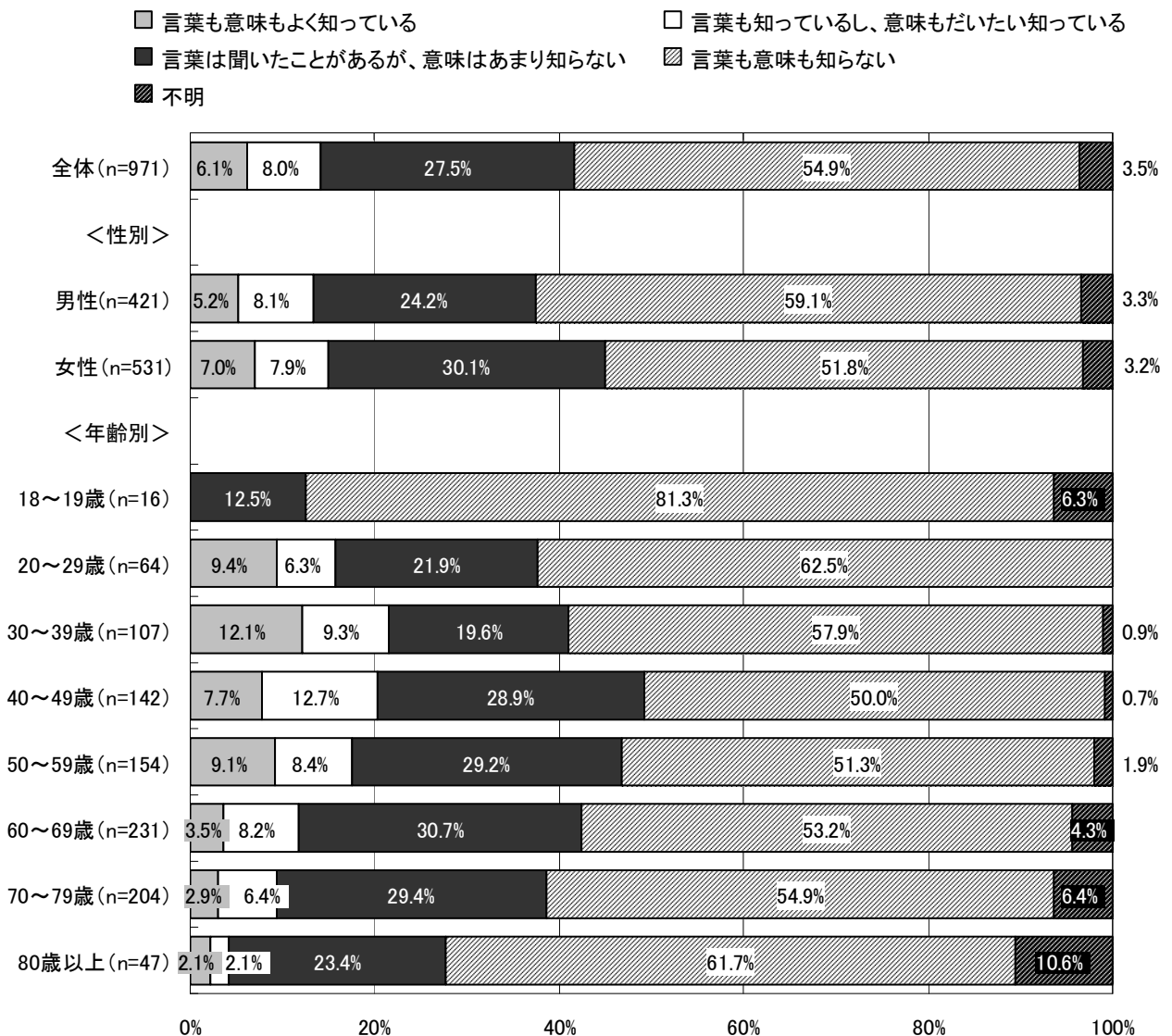
あなたは、「COPD(慢性閉塞性肺疾患)」という病気を知っていますか？

1. 言葉も意味もよく知っている
2. 言葉も知っているし、意味もだいたい知っている
3. 言葉は聞いたことがあるが、意味はあまり知らない
4. 言葉も意味も知らない

「言葉も意味もよく知っている」(6.1%)と「言葉も知っているし、意味もだいたい知っている」(8.0%)を合わせた認知率は14.1%、「言葉は聞いたことがあるが、意味はあまり知らない」は27.5%、「言葉も意味も知らない」は54.9%となっている。

性別にみると、認知率は女性(14.9%)が男性(13.3%)よりやや上回っている。

年齢別にみると、認知率は30歳代(21.4%)と40歳代(20.4%)が20%を超え、他の年齢層よりやや高くなっている。



#### 問 46 「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」の認知度

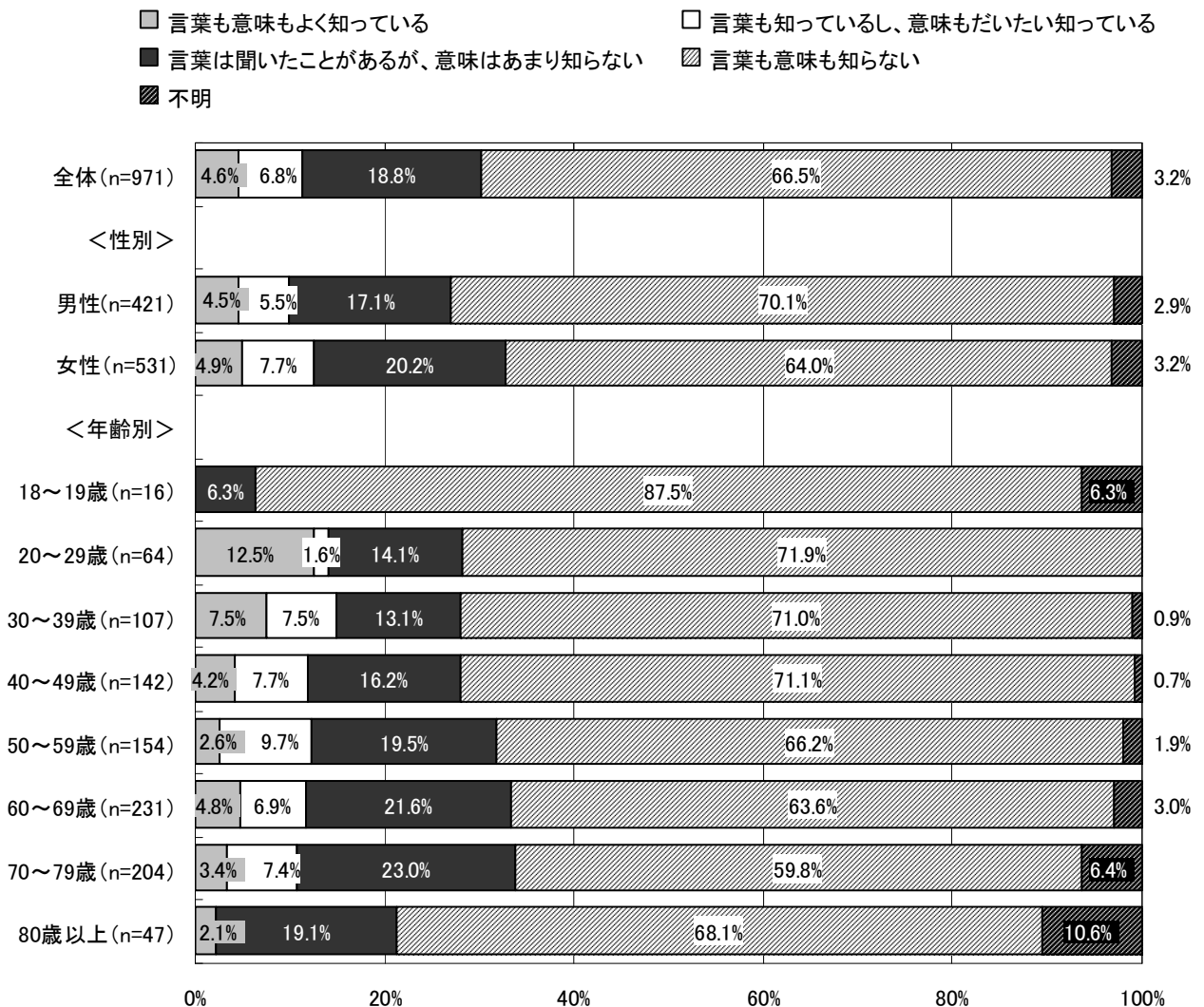
あなたは、「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」という言葉を知っていますか？

1. 言葉も意味もよく知っている
2. 言葉も知っているし、意味もだいたい知っている
3. 言葉は聞いたことがあるが、意味はあまり知らない
4. 言葉も意味も知らない

「言葉も意味もよく知っている」(4.6%)と「言葉も知っているし、意味もだいたい知っている」(6.8%)を合わせた認知率は11.4%、「言葉は聞いたことがあるが、意味はあまり知らない」は18.8%、「言葉も意味も知らない」は66.5%となっている。

性別にみると、認知率は女性(12.6%)が男性(10.0%)よりやや上回っている。

年齢別にみると、認知率は30歳代が15.0%と他の年齢層よりやや高くなっている。



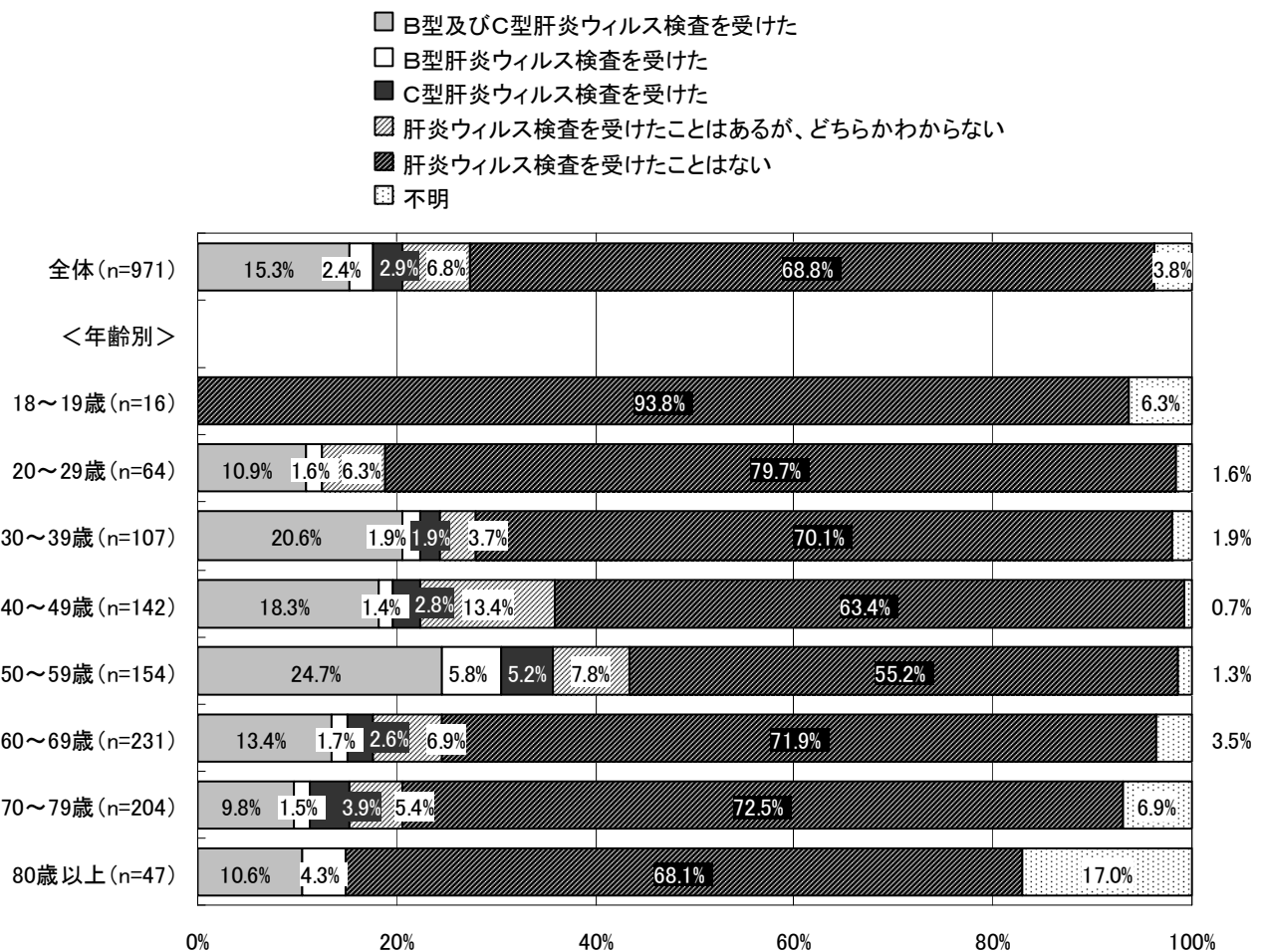
## 問 47 B型及びC型肝炎ウイルス検査について

あなたは、B型及びC型肝炎ウイルス検査を受けたことがありますか？

1. B型及びC型肝炎ウイルス検査を受けた
2. B型肝炎ウイルス検査を受けた
3. C型肝炎ウイルス検査を受けた
4. 肝炎ウイルス検査を受けたことはあるが、どちらかわからない
5. 肝炎ウイルス検査を受けたことはない

肝炎ウイルス検査を受けたことがある割合（「B型及びC型肝炎ウイルス検査を受けた」15.3%と「B型肝炎ウイルス検査を受けた」2.4%と「C型肝炎ウイルス検査を受けた」2.9%と「肝炎ウイルス検査を受けたことはあるが、どちらかわからない」6.8%の計）は27.4%、「肝炎ウイルス検査を受けたことはない」は68.8%となっている。

年齢別にみると、肝炎ウイルス検査を受けたことがある割合は50歳代が43.5%と最も高く、次いで40歳代が35.9%となっている。

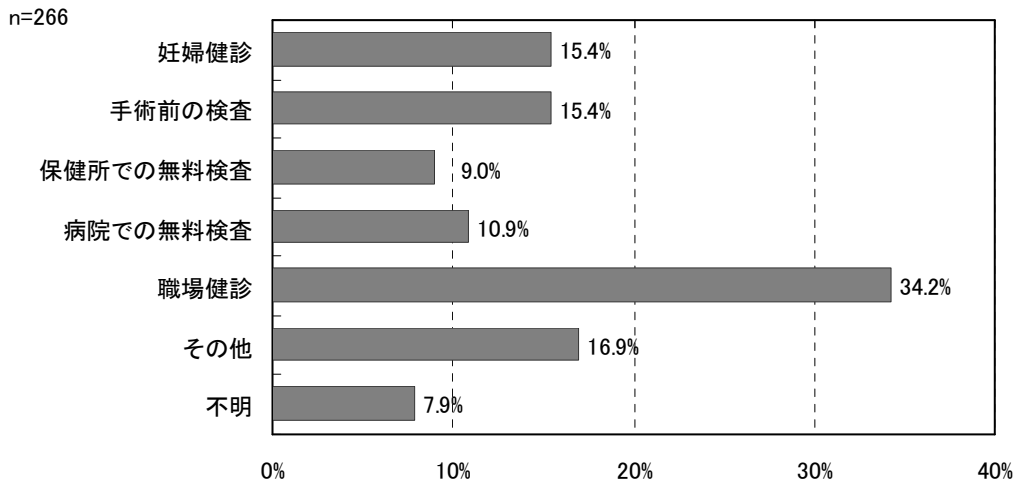


### 問 47-1 肝炎ウイルス検査の受診について

問 47 で肝炎ウイルス検査を受けたことがあると回答された方のみお答えください。  
 肝炎ウイルス検査は何で受けましたか？該当するものをすべてお選びください。

1. 妊婦健診                      2. 手術前の検査                      3. 保健所での無料検査  
 4. 病院での無料検査              5. 職場健診                              6. その他 (                              )

問 47 で「肝炎ウイルス検査を受けたことがある」と回答した 266 人について、「職場健診」が 34.2%と最も高く、次いで「妊婦健診」(15.4%)、「手術前の検査」(15.4%) の順となっている。



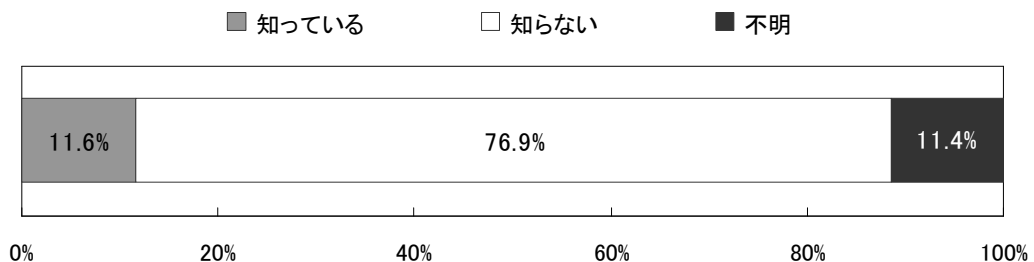
その他：「親族がC型肝炎のため検査をした」、「かかりつけ医の勧め」、「人間ドック」など

### 問 48 和歌山市保健所での無料肝炎ウイルス検査の実施について

和歌山市保健所で「肝炎ウイルスの感染の恐れがあったが、今まで検査を受けたことがない方」を対象に無料の肝炎ウイルス検査を実施していることを知っていますか？

1. 知っている                              2. 知らない

「知っている」は 11.6%、「知らない」は 76.9%となっている。



## 問 49 B型及びC型肝炎ウイルスの感染経路

**B型及びC型肝炎ウイルスの感染経路として該当していると思うものをすべてお選びください。**

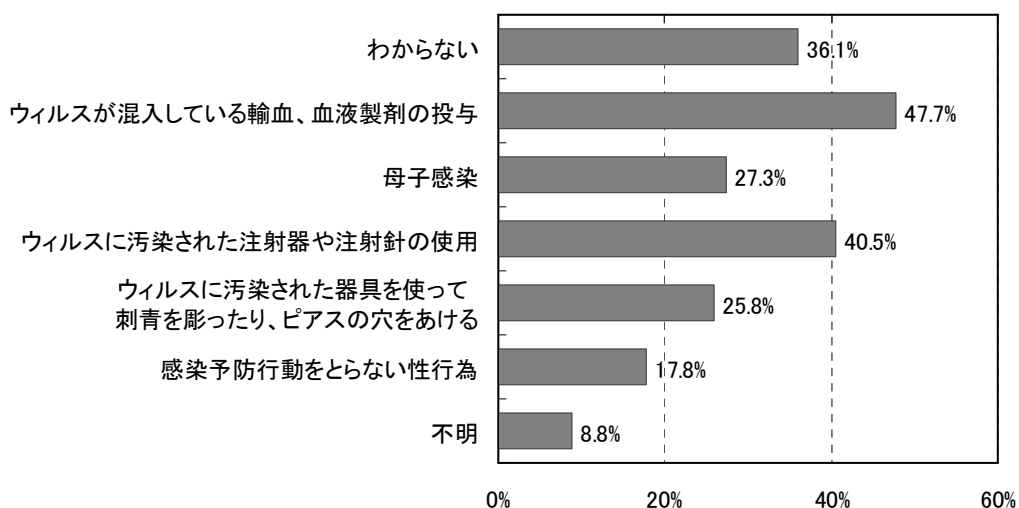
**a. B型肝炎ウイルスの感染経路について**

**b. C型肝炎ウイルスの感染経路について**

1. わからない
2. ウィルスが混入している輸血、血液製剤の投与
3. 母子感染
4. ウィルスに汚染された注射器や注射針の使用(覚せい剤の回し打ちなど)
5. ウィルスに汚染された器具を使って刺青を彫ったり、ピアスの穴をあける
6. 感染予防行動をとらない性行為

「B型肝炎ウイルス」と「C型肝炎ウイルス」の感染経路として思うものは、「ウィルスが混入している輸血、血液製剤の投与」の割合が高く、次いで「ウィルスに汚染された注射器や注射針の使用」の順となっている。

### < a. B型肝炎ウイルスの感染経路と思うもの >



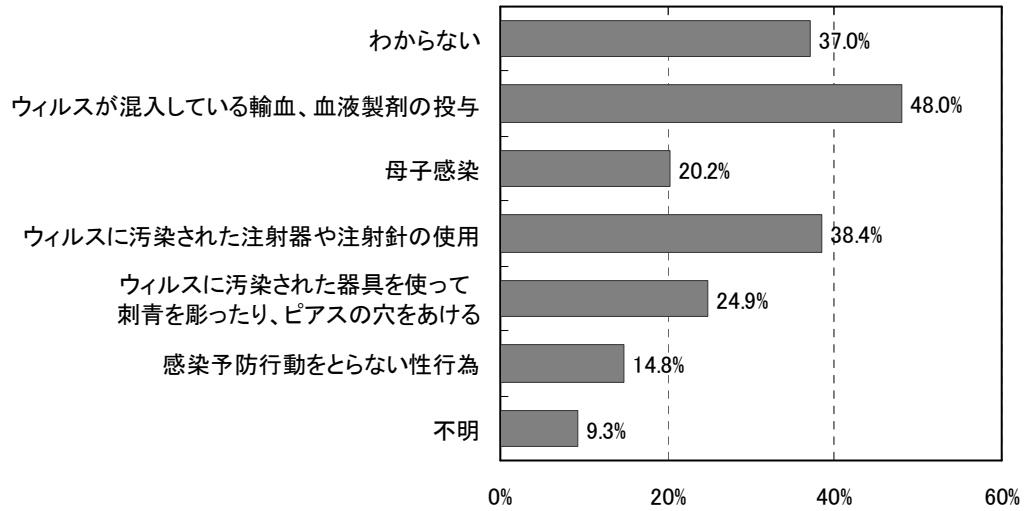
### < B型肝炎ウイルスの主な感染経路 >

B型肝炎ウイルスは、主として感染している人の血液が他の人の血液の中に入ることによって感染します。また、感染している人の血液中のB型肝炎ウイルスの量が多い場合は、その人の体液などを介して感染することもあります。

具体的には、以下のような場合に感染することもあります。

- ・ ウィルスが混入している輸血、血液製剤の投与
- ・ 母子感染（適切な母子感染予防措置を講じた場合は、感染することはほとんどありません。）
- ・ ウィルスに汚染された注射器や注射針の使用（覚醒剤の回しうちなど）
- ・ ウィルスに汚染された器具を使って刺青を彫ったり、ピアスの穴をあける
- ・ 感染予防行動をとらない性行為

## < b. C型肝炎ウイルスの感染経路と思うもの >



## < C型肝炎ウイルスの主な感染経路 >

C型肝炎ウイルスは、主として感染している人の血液が他の人の血液の中に入ることによって感染します。

具体的には、以下のような場合に感染することがあります。

- ・ウイルスが混入している輸血、血液製剤の投与
- ・ウイルスに汚染された注射器や注射針の使用（覚醒剤の回しうちなど）
- ・ウイルスに汚染された器具を使って刺青を彫ったり、ピアスの穴をあける

※ごくまれに母子感染や性行為で感染する場合があります。

B型及びC型肝炎ウイルスともに食事やトイレ、公衆浴場など日常生活の場で感染することはほとんどありません。

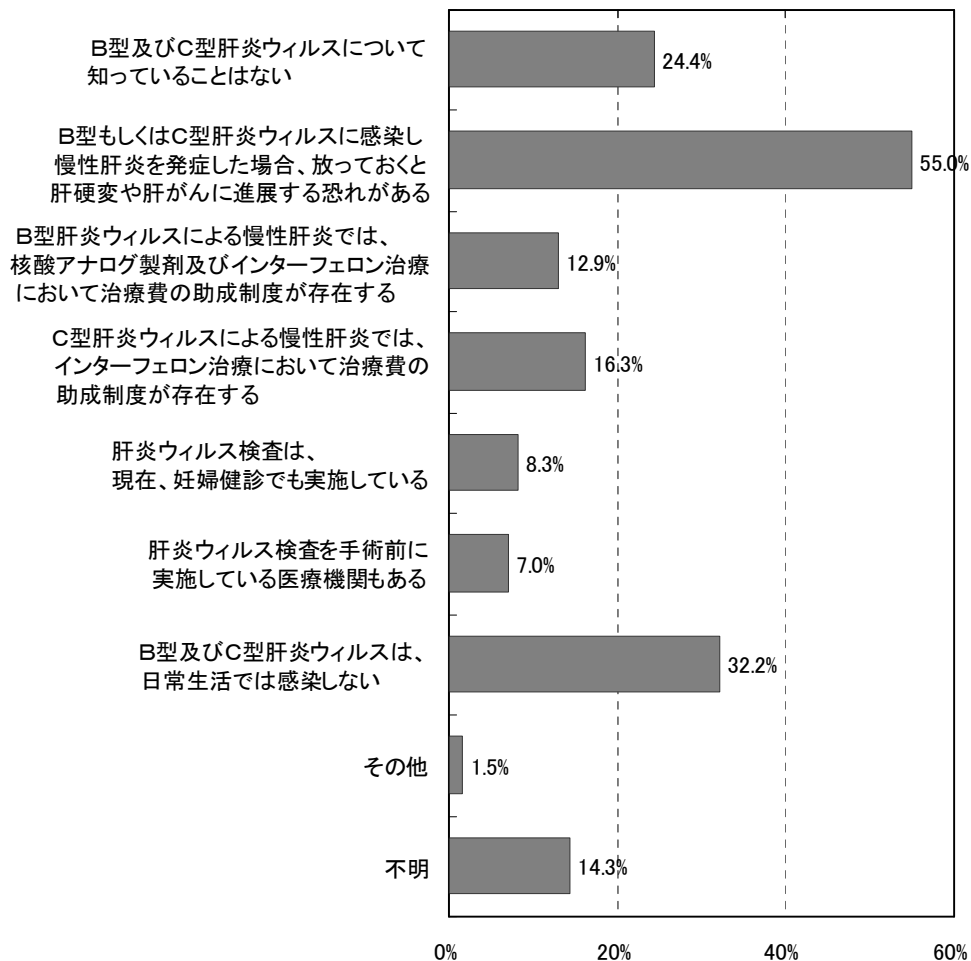
問 50 B型及びC型肝炎ウイルスへの認識

**B型及びC型肝炎ウイルスについて知っていることは何ですか？該当するものをすべてお選びください。**

1. B型及びC型肝炎ウイルスについて知っていることはない
2. B型もしくはC型肝炎ウイルスに感染し慢性肝炎を発症した場合、放っておくと肝硬変や肝がんに進展する恐れがある
3. B型肝炎ウイルスによる慢性肝炎では、核酸アナログ製剤及びインターフェロン治療において治療費の助成制度が存在する
4. C型肝炎ウイルスによる慢性肝炎では、インターフェロン治療において治療費の助成制度が存在する
5. 肝炎ウイルス検査は、現在、妊婦健診でも実施している
6. 肝炎ウイルス検査を手術前に実施している医療機関もある
7. B型及びC型肝炎ウイルスは、日常生活(食事・共同浴場・トイレ・握手・抱擁など)では感染しない
8. その他 ( )

B型及びC型肝炎ウイルスについて知っていることは、「B型もしくはC型肝炎ウイルスに感染し慢性肝炎を発症した場合、放っておくと肝硬変や肝がんに進展する恐れがある」の割合が55.0%と最も高く、次いで「B型及びC型肝炎ウイルスは、日常生活では感染しない」(32.2%)の順となっている。

※全ての選択肢は、B型及びC型肝炎ウイルスの正しい情報です。





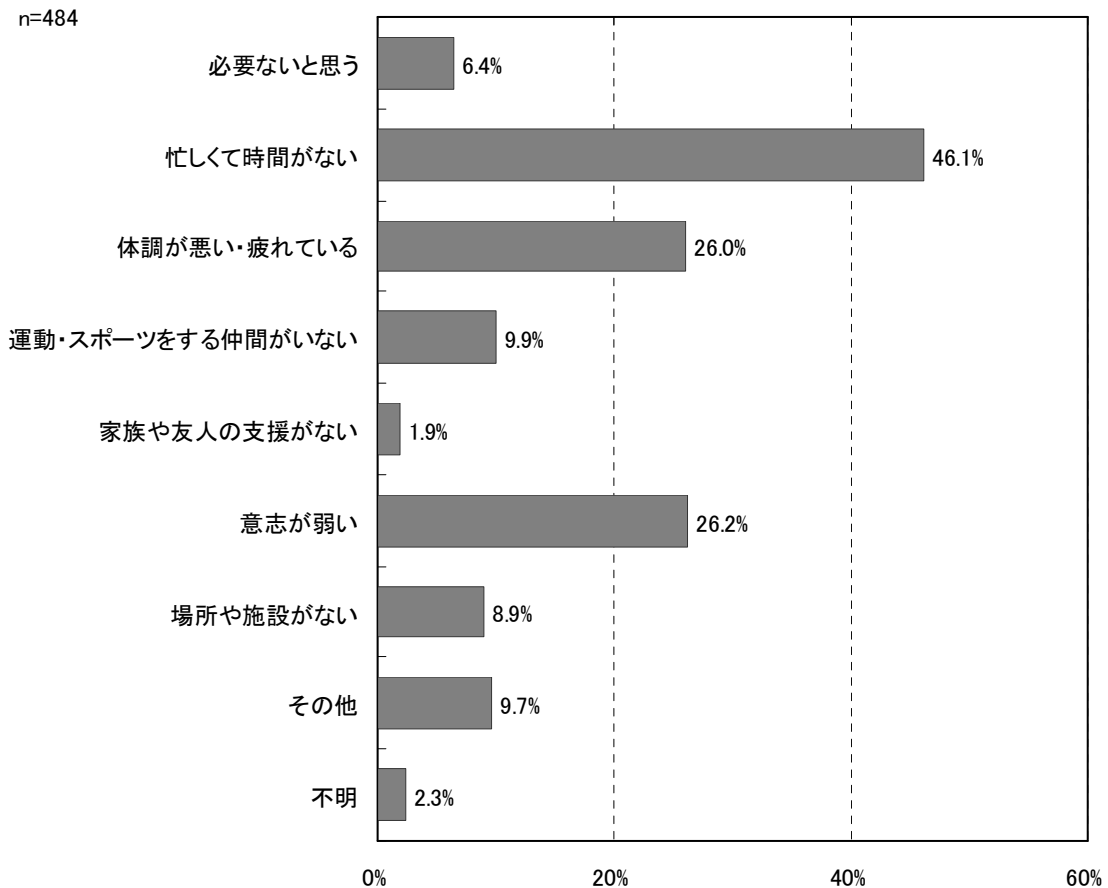


## 問 51-2 スポーツをしていない理由

問 51 で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。運動やスポーツを行っていない理由は何ですか？該当するものをすべてお選びください。

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| 1. 必要ないと思う     | 2. 忙しくて時間がない        |
| 3. 体調が悪い・疲れている | 4. 運動・スポーツをする仲間がいない |
| 5. 家族や友人の支援がない | 6. 意志が弱い            |
| 7. 場所や施設がない    | 8. その他 ( )          |

問 51 で「いいえ」と回答した 484 人について、「忙しくて時間がない」の割合が 46.1%と最も高く、次いで「意志が弱い」(26.2%)、「体調が悪い・疲れている」(26.0%)の順となっている。



その他：「月に1,2回はしている」、「仕事で十分運動していると思う」、「時間帯が合わない」、「ときどきウォーキングしている」など

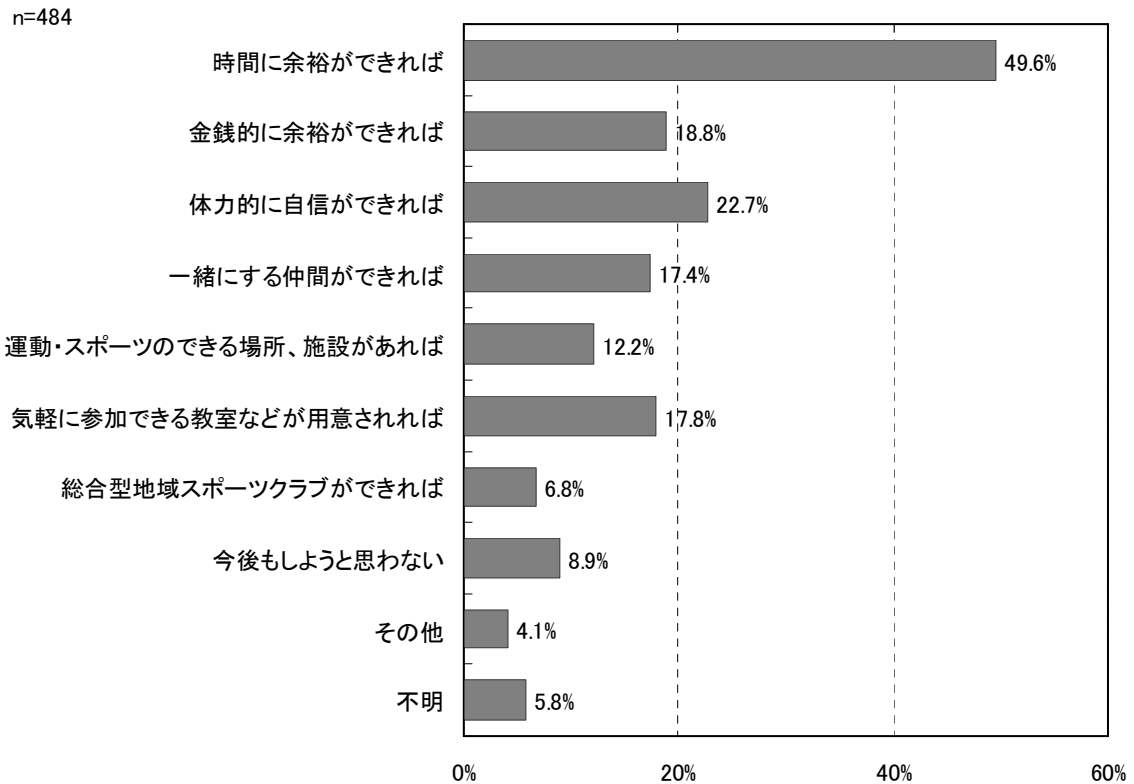
問 51-3 運動やスポーツをするために必要な条件

問 51 で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。今後どのような状況になれば、運動やスポーツをしようと思いますか？該当するものをすべてお選びください。

- |                         |                 |
|-------------------------|-----------------|
| 1. 時間に余裕ができれば           | 2. 金銭的に余裕ができれば  |
| 3. 体力的に自信ができれば          | 4. 一緒にする仲間ができれば |
| 5. 運動・スポーツのできる場所、施設があれば |                 |
| 6. 気軽に参加できる教室などが用意されれば  |                 |
| 7. *総合型地域スポーツクラブができれば   | 8. 今後もしようと思わない  |
| 9. その他 ( )              |                 |

\*「総合型地域スポーツクラブ」とは、地域住民が会費などを自主財源として、主体的に運営するスポーツクラブで、複数の種目が用意されており、地域の誰もが年齢、興味・関心、技術・技能レベルなどに応じて参加できるものです。

問 51 で「いいえ」と回答した 484 人について、「時間に余裕ができれば」の割合が 49.6%と最も高く、次いで「体力的に自信ができれば」(22.7%)、「金銭的に余裕ができれば」(18.8%)の順となっている。

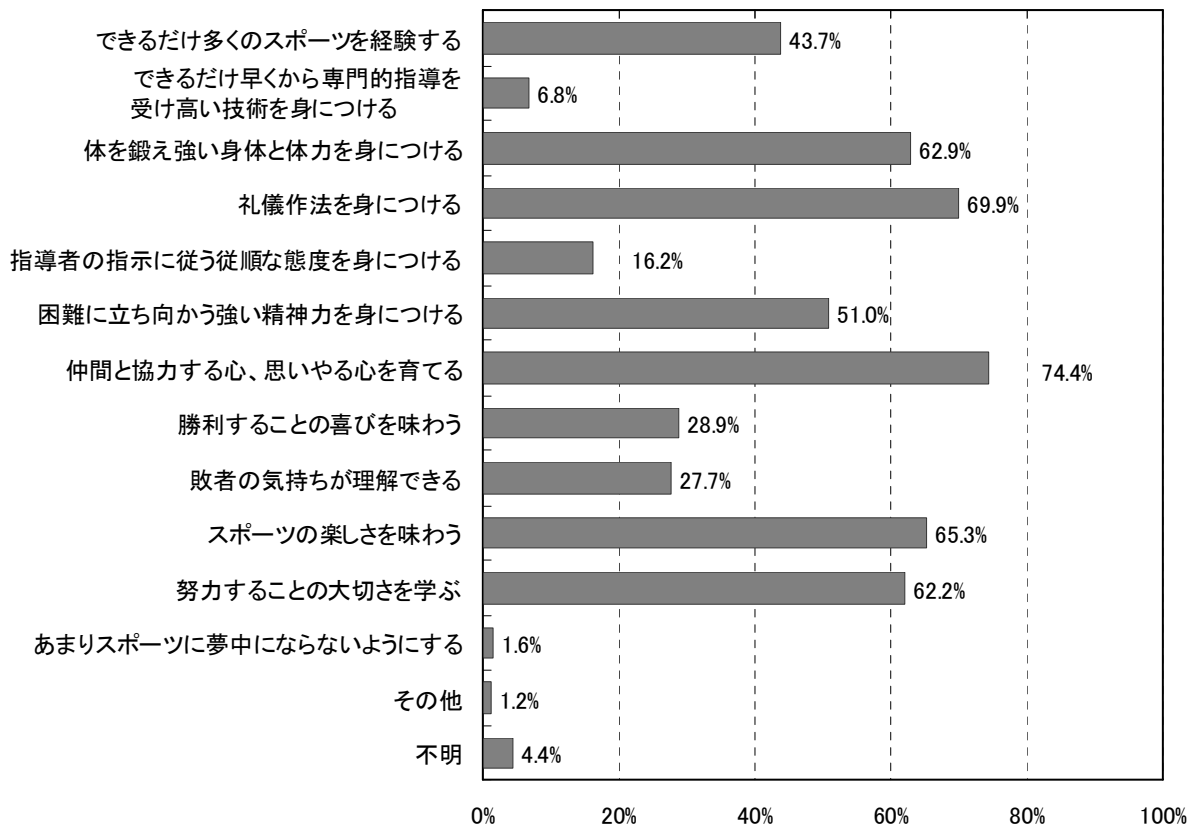


問 52 「子どものスポーツ」について重要に思うこと

あなたは、「子どものスポーツ」について、どのような考えをお持ちですか？  
 子どものスポーツにおいて重要と思われることがらをすべてお選びください。

1. できるだけ多くのスポーツを経験する
2. できるだけ早くから専門的指導を受け高い技術を身につける
3. 体を鍛え強い身体と体力を身につける
4. 礼儀作法を身につける
5. 指導者の指示に従う従順な態度を身につける
6. 困難に立ち向かう強い精神力を身につける
7. 仲間と協力する心、思いやる心を育てる
8. 勝利することの喜びを味わう
9. 敗者の気持ちが理解できる
10. スポーツの楽しさを味わう
11. 努力することの大切さを学ぶ
12. あまりスポーツに夢中にならないようにする
13. その他 ( )

「仲間と協力する心、思いやる心を育てる」の割合が74.4%と最も高く、次いで「礼儀作法を身につける」(69.9%)、「スポーツの楽しさを味わう」(65.3%)の順となっている。





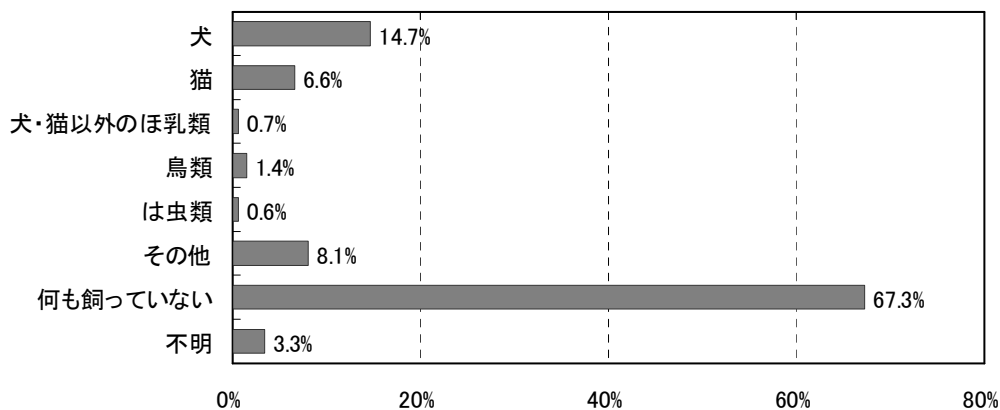
## 12. 家庭での動物の飼育状況について

### 問 54 飼育している動物種について

あなたが現在、飼育している動物種は何ですか？該当するものをすべてお選びください。

1. 犬                      2. 猫                      3. 犬・猫以外のほ乳類                      4. 鳥類  
5. は虫類                      6. その他（                      ）                      7. 何も飼っていない

「犬」の割合が 14.7%、次いで「猫」が 6.6%、「何も飼っていない」が 67.3%となっている。



その他：「金魚」、「メダカ」、「熱帯魚」、「カニ」など

### 問 54-1 飼育している動物の入手について

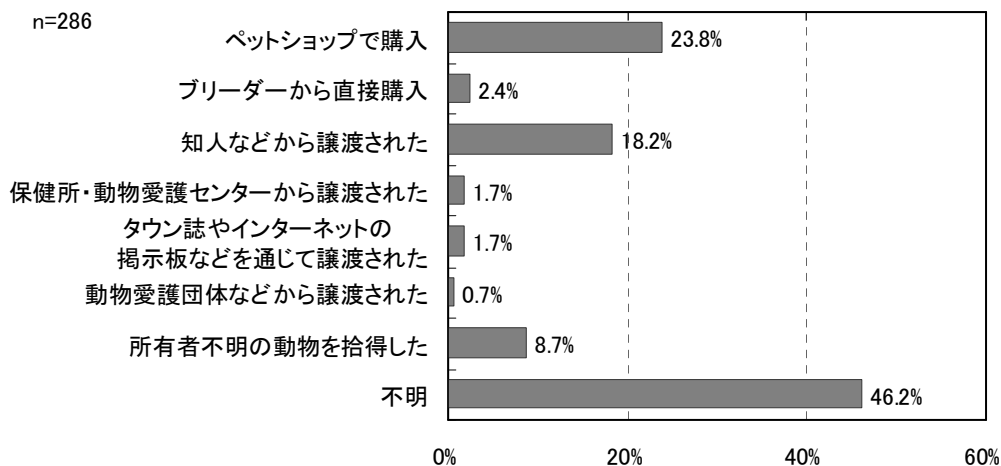
問 54 で「7. 何も飼っていない」以外を回答された方のみお答えください。

あなたが、現在、飼育している動物はどこから入手しましたか？

該当するものをすべてお選びください。

1. ペットショップで購入                      2. ブリーダーから直接購入  
3. 知人などから譲渡された                      4. 保健所・動物愛護センターから譲渡された  
5. タウン誌やインターネットの掲示板などを通じて譲渡された  
6. 動物愛護団体などから譲渡された                      7. 所有者不明の動物を拾得した

問 54 で「何も飼っていない」以外を選択した方と「不明」を除いた 286 人について、「ペットショップで購入」の割合が 23.8%と最も高く、次いで「知人などから譲渡された」(18.2%)の順となっている。



## 問 54-2 犬や猫への手術について

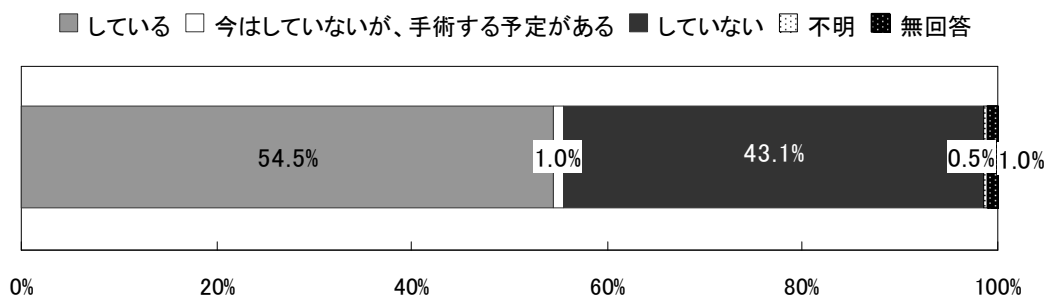
問 54 で「1. 犬」、「2. 猫」と回答された方のみお答えください。

あなたは、現在、飼っている犬や猫へ避妊・去勢手術を実施していますか？

- |          |                       |
|----------|-----------------------|
| 1. している  | 2. 今はしていないが、手術する予定がある |
| 3. していない | 4. 不明                 |

問 54 で「犬」、「猫」と回答した 202 人について、手術を「している」の割合は 54.5%、「していない」の割合は 43.1%、「今はしていないが、手術する予定がある」の割合は 1.0%となっている。

n=202



## 問 54-3 手術をしていない理由

問 54-2 で「3. していない」と回答された方のみお答えください。

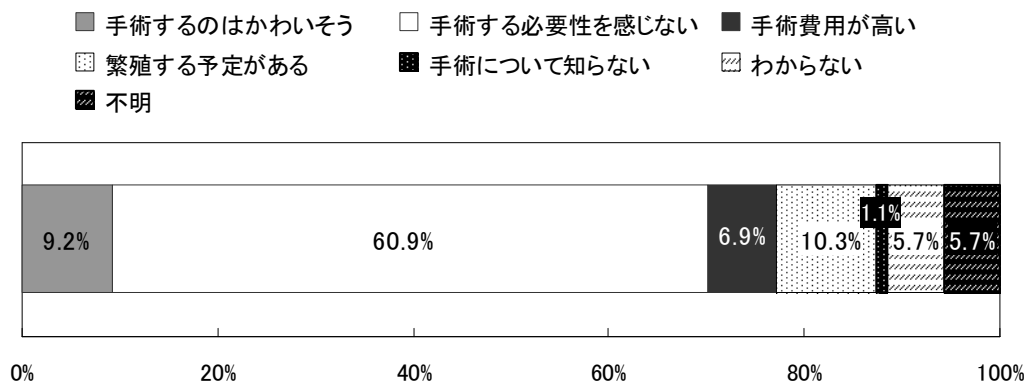
手術をしていない理由は何ですか？

最も当てはまるもの 1 つをお選びください。

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1. 手術するのはかわいそう | 2. 手術する必要性を感じない |
| 3. 手術費用が高い     | 4. 繁殖する予定がある    |
| 5. 手術について知らない  | 6. わからない        |

問 54-2 で「していない」と回答した 87 人について、「手術する必要性を感じない」が 60.9%と最も高く、次いで「繁殖する予定がある」(10.3%)、「手術するのはかわいそう」(9.2%)の順となっている。

n=87





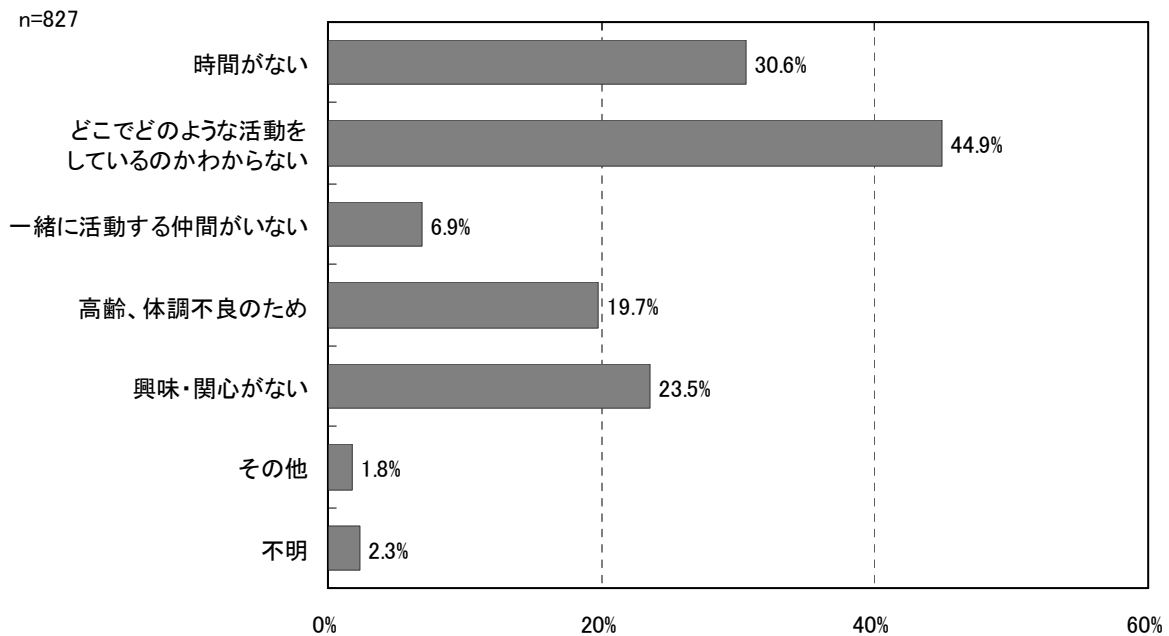
### 問 55-1 市民公益活動に参加しない理由

問 55 で「**3. 活動したことがない**」と回答された方のみお答えください。

活動しない理由は何ですか？該当するものをすべてお選びください。

1. 時間がない
2. どこでどのような活動をしているのかわからない
3. 一緒に活動する仲間がない
4. 高齢、体調不良のため
5. 興味・関心がない
6. その他 ( )

問 55 で「活動したことがない」と回答した 827 人について、「どこでどのような活動をしているのかわからない」が 44.9%と最も高く、次いで「時間がない」(30.6%)、「興味・関心がない」(23.5%)の順となっている。





## 問 56 「協働」の認知度

あなたは、「協働」という言葉を知っていますか？

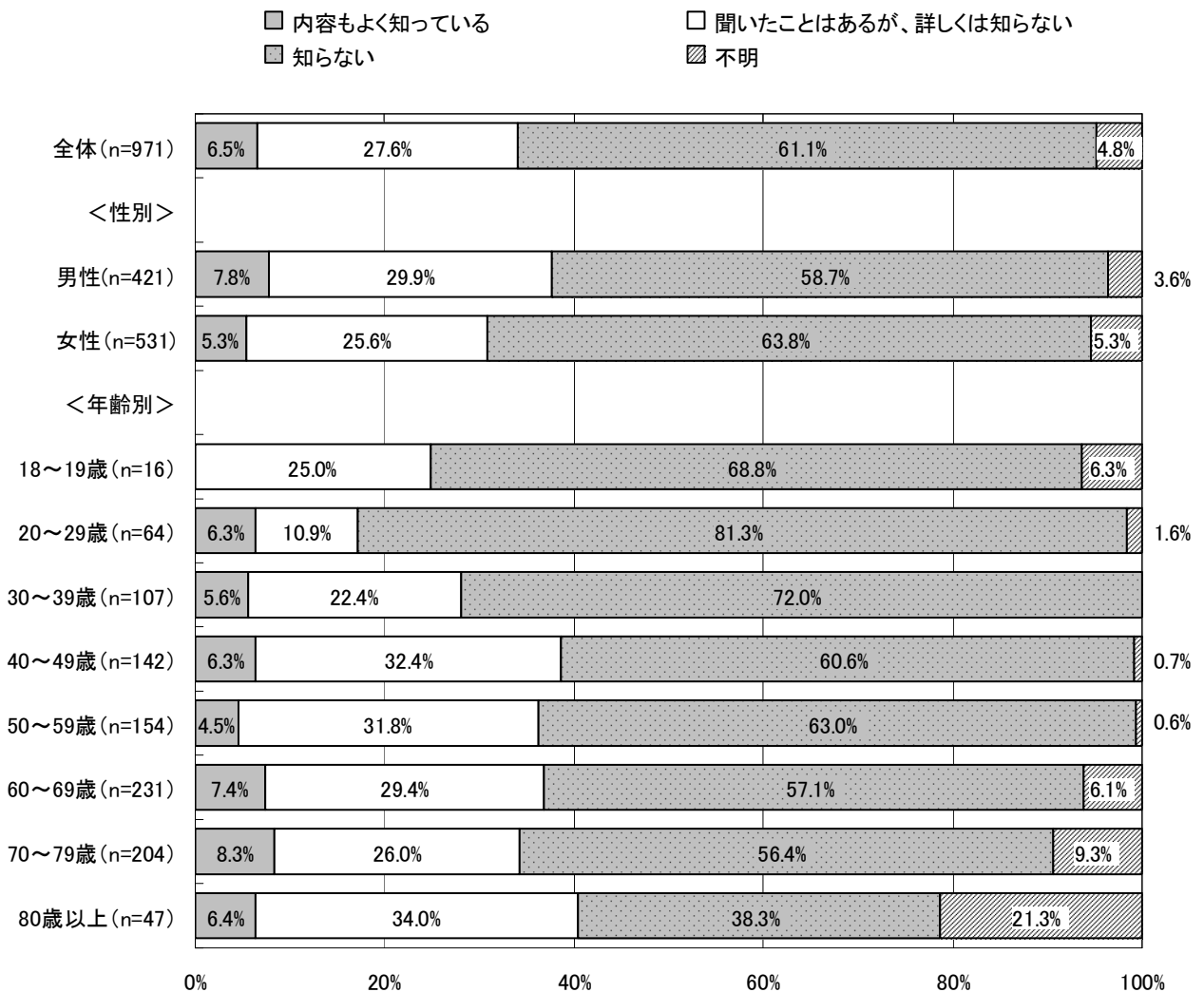
1. 内容もよく知っている
2. 聞いたことはあるが、詳しくは知らない
3. 知らない

※ 「協働」とは、公益という共通の目的のもとに、行政と市民(市民公益活動団体等)が互いの立場を認めながら、対等な関係で連携・協力し、共通課題の解決に当たる取組みです。

「内容もよく知っている」(6.5%)と「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」(27.6%)を合わせた認知率は34.1%となり、「知らない」は61.1%となっている。

性別にみると、認知率は男性(37.7%)が女性(30.9%)より6.8ポイント上回っている。

年齢別にみると、認知率は80歳以上が40.4%と最も高く、20歳代は17.2%と最も低くなっている。

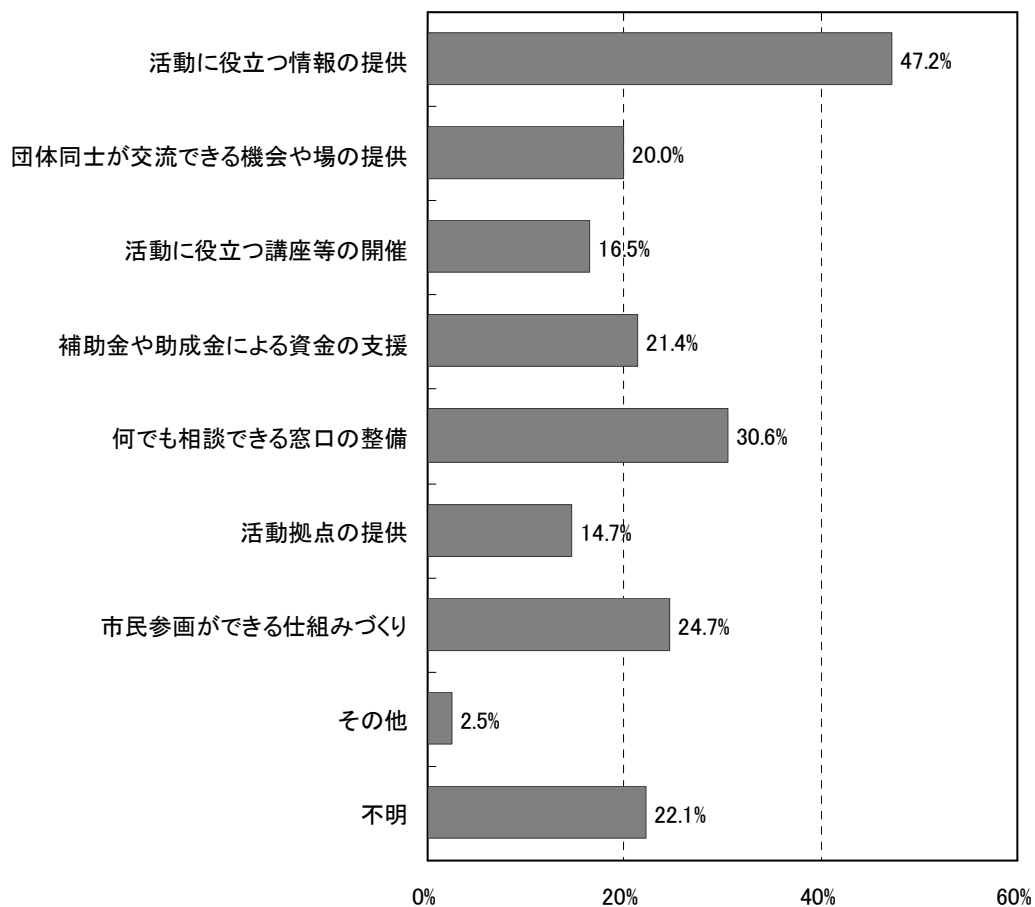


問 57 行政の市民公益活動支援施策

協働のまちづくりを進める上で、行政が市民公益活動団体支援のために行う施策として、最も相応しいと思うものは何ですか？該当するものをすべてお選びください。

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| 1. 活動に役立つ情報の提供    | 2. 団体同士が交流できる機会や場の提供 |
| 3. 活動に役立つ講座等の開催   | 4. 補助金や助成金による資金の支援   |
| 5. 何でも相談できる窓口の整備  | 6. 活動拠点の提供           |
| 7. 市民参画ができる仕組みづくり | 8. その他( )            |

「活動に役立つ情報の提供」の割合が47.2%と最も高く、次いで「何でも相談できる窓口の整備」(30.6%)、「市民参画ができる仕組みづくり」(24.7%)の順となっている。





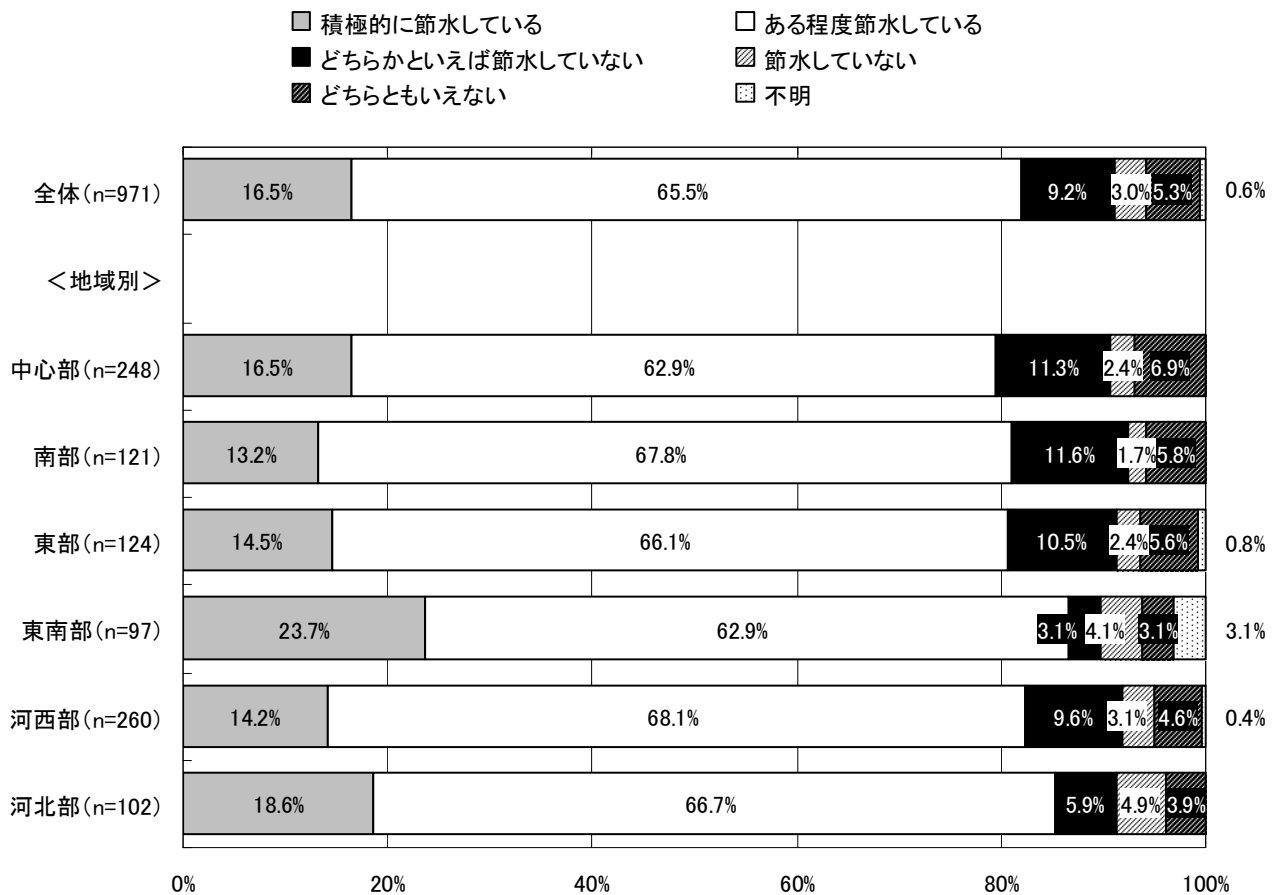
## 問 59 節水への心がけ

あなたは日常生活において、節水を心がけていますか？

1. 積極的に節水している
2. ある程度節水している
3. どちらかといえば節水していない
4. 節水していない
5. どちらともいえない

節水している割合（「積極的に節水している」16.5%と「ある程度節水している」65.5%の計）は82.0%、節水していない割合（「どちらかといえば節水していない」9.2%と「節水していない」3.0%の計）は12.2%、「どちらともいえない」は5.3%となっている。

地域別にみると、節水している割合は中心部（79.4%）以外が80%を超え、東南部が86.6%と最も高くなっている。



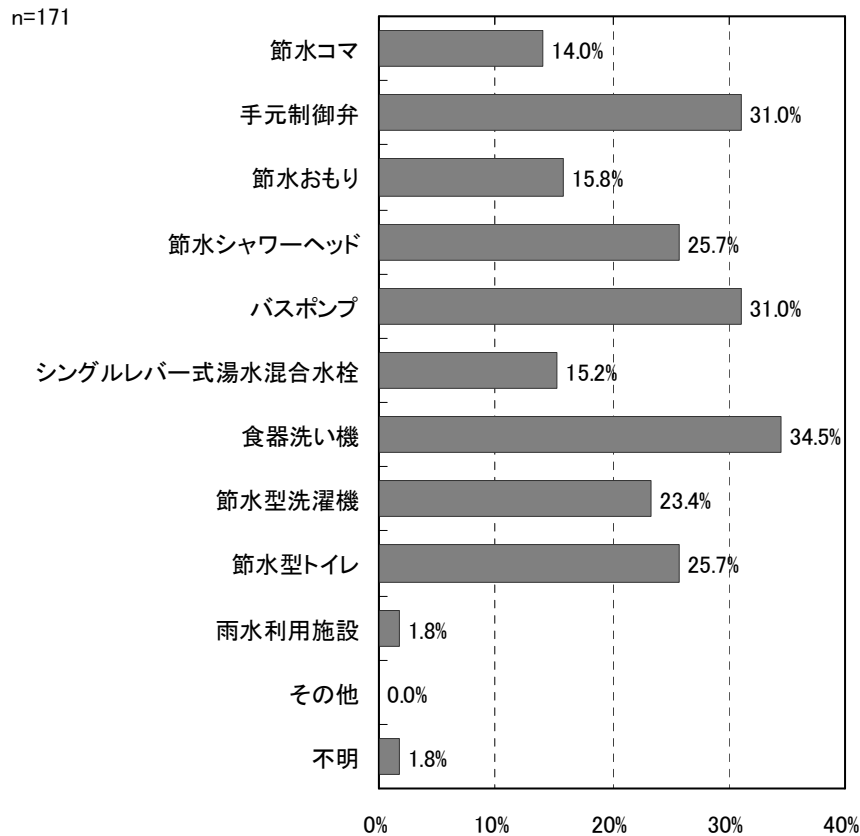


問 59-2 使用している節水器具、機器について

問 59-1 で「2. 節水器具、機器を使用している」と回答された方のみお答えください。  
 どのような節水器具、機器を使用していますか？該当するものをすべてお選びください。

1. 節水コマ（蛇口内に取り付けるゴム又は樹脂製のコマ）
2. 手元制御弁（ホースの手元で水を出したり止めたりできるもの）
3. 節水おもり（トイレのタンク内に入れるもの）
4. 節水シャワーヘッド
5. バスポンプ（洗濯機付属のものを含む）
6. シングルレバー式湯水混合水栓
7. 食器洗い機
8. 節水型洗濯機
9. 節水型トイレ
10. 雨水利用施設
11. その他（ ）

問 59-1 で「節水器具、機器を使用している」と回答した 171 人について、「食器洗い機」が 34.5%と最も高く、次いで「手元制御弁」(31.0%)、「バスポンプ」(31.0%) の順となっている。



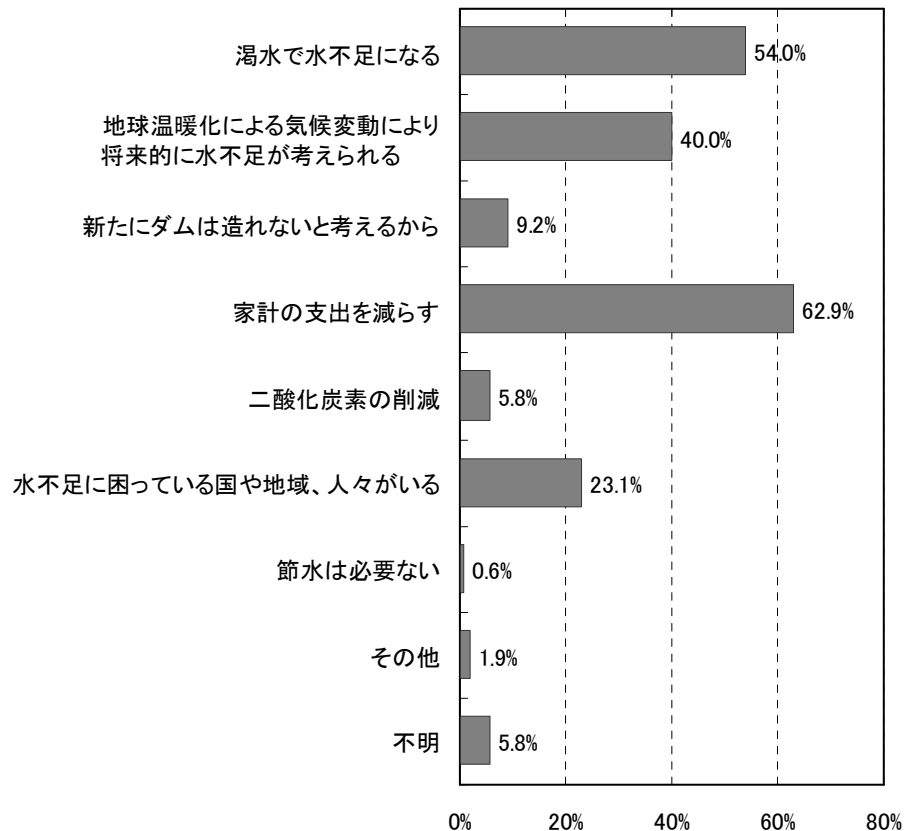
## 問 60 節水が必要な理由

あなたは、どのような理由で節水が必要だと思いますか？

該当するものをすべてお選びください。

1. 渇水で水不足になる
2. 地球温暖化による気候変動により、将来的に水不足が考えられる
3. 新たにダムは造れないと考えられるから
4. 家計の支出を減らす
5. 二酸化炭素の削減
6. 水不足に困っている国や地域、人々がいる
7. 節水は必要ない
8. その他 ( )

「家計の支出を減らす」が62.9%と最も高く、次いで「渇水で水不足になる」(54.0%)、「地球温暖化による気候変動により、将来的に水不足が考えられる」(40.0%)の順となっている。



## 問 61 東日本大震災後の節水意識

### 東日本大震災後、あなたの節水意識は高まりましたか？

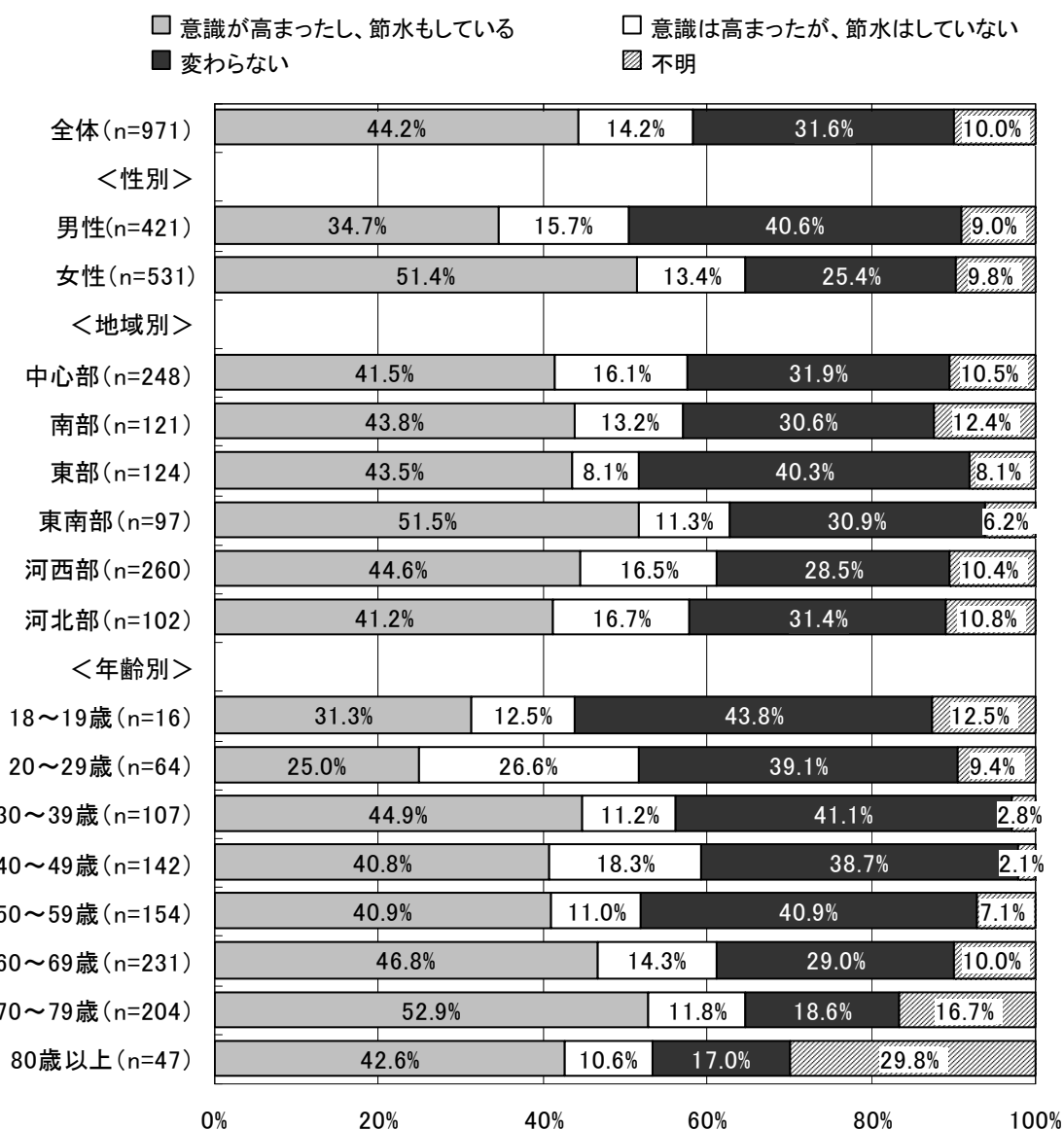
1. 意識が高まったし、節水もしている
2. 意識は高まったが、節水はしていない
3. 変わらない

「意識が高まったし、節水もしている」の割合が 44.2%と最も高くなり、「意識は高まったが、節水はしていない」は 14.2%、「変わらない」は 31.6%となっている。

性別にみると、「意識が高まったし、節水もしている」の割合は女性 (51.4%) が男性 (34.7%) より 16.7 ポイント上回っている。

地域別にみると、「意識が高まったし、節水もしている」の割合は東南部が 51.5%と最も高く、河北部は 41.2%と最も低くなっている。

年齢別にみると、「意識が高まったし、節水もしている」の割合は 70 歳代が 52.9%と最も高く、20 歳代は 25.0%と最も低くなっている。





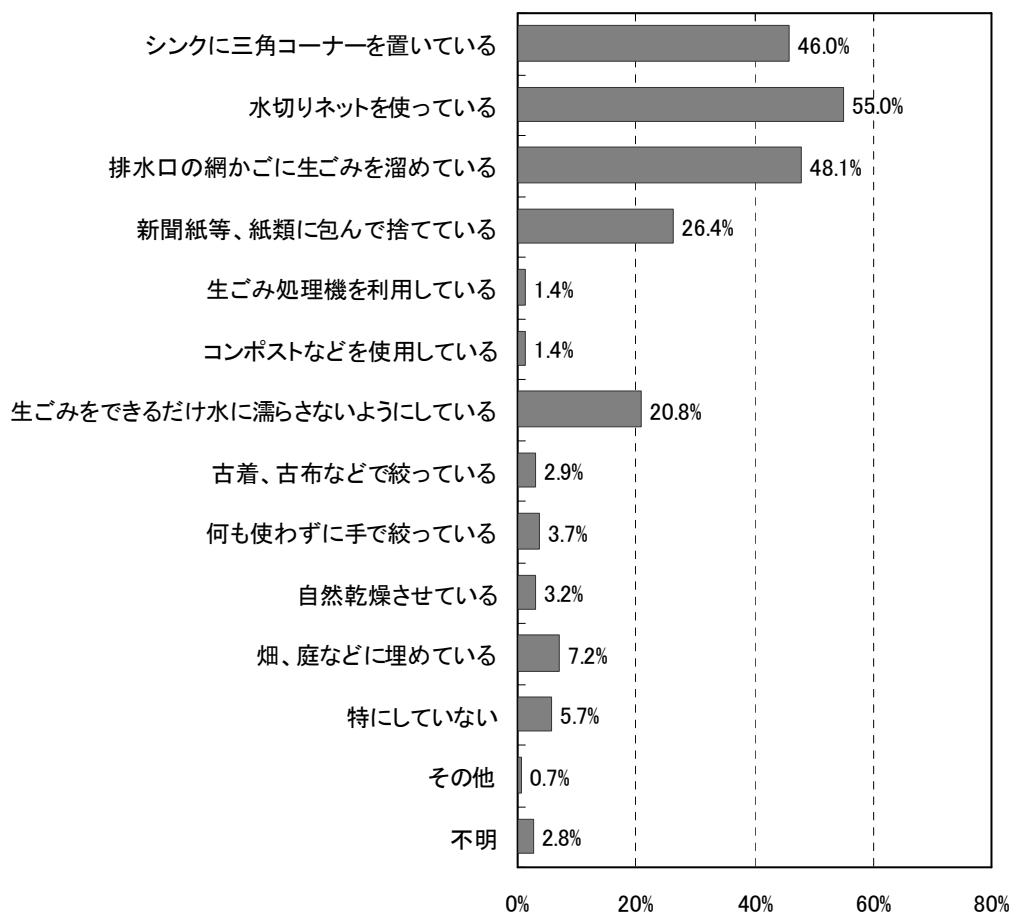
## 15. 生ごみの処理について

### 問 62 生ごみの処理方法

生ごみには多くの水分が含まれています。あなたが、普段実践している生ごみの処理方法は  
何ですか？該当するものをすべてお選びください。

- |                            |                     |
|----------------------------|---------------------|
| 1. シンクに三角コーナーを置いている        | 2. 水切りネットを使っている     |
| 3. 排水口の網かごに生ごみを溜めている       | 4. 新聞紙等、紙類に包んで捨てている |
| 5. 生ごみ処理機を利用している           | 6. コンポストなどを使用している   |
| 7. 生ごみをできるだけ水に濡らさないようにしている | 9. 何も使わずに手で絞っている    |
| 8. 古着、古布などで絞っている           |                     |
| 10. 自然乾燥させている              |                     |
| 11. 畑、庭などに埋めている            |                     |
| 12. 特にしていない                | 13. その他 ( )         |

「水切りネットを使っている」の割合が55.0%と最も高く、次いで「排水口の網かごに生ごみを溜めている」(48.1%)、「シンクに三角コーナーを置いている」(46.0%)の順となっている。



## 16. 和歌山市の広報について

### 問 63 行政情報収集手段

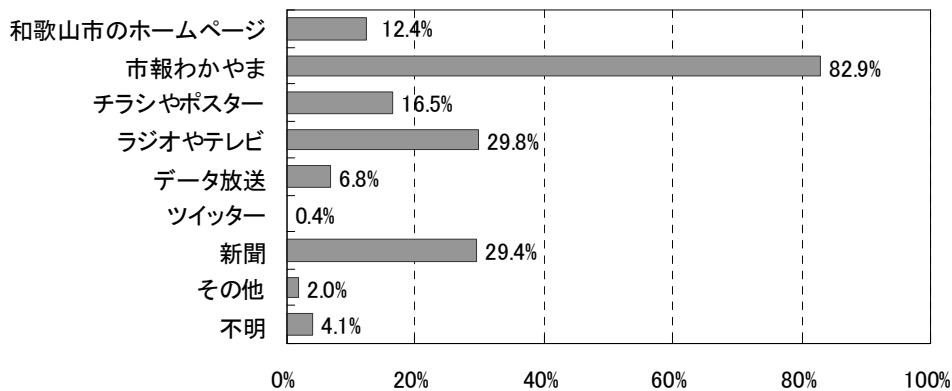
あなたは、市の行政情報を何から得ていますか？

該当するものをすべてお選びください。

- |                |            |             |
|----------------|------------|-------------|
| 1. 和歌山市のホームページ | 2. 市報わかやま  | 3. チラシやポスター |
| 4. ラジオやテレビ     | 5. *データ放送  | 6. ツイッター    |
| 7. 新聞          | 8. その他 ( ) |             |

※ データ放送とは、テレビ電波を使ったデータを転送させるサービスです。  
各家庭にあるテレビでリモコンの【dボタン】を押すことにより、情報を取得できます。  
現在は「NHK」、「テレビ和歌山」のデータ放送で和歌山市の行政情報を掲載しています。

「市報わかやま」の割合が82.9%と最も高く、次いで「ラジオやテレビ」(29.8%)、「新聞」(29.4%)の順となっている。



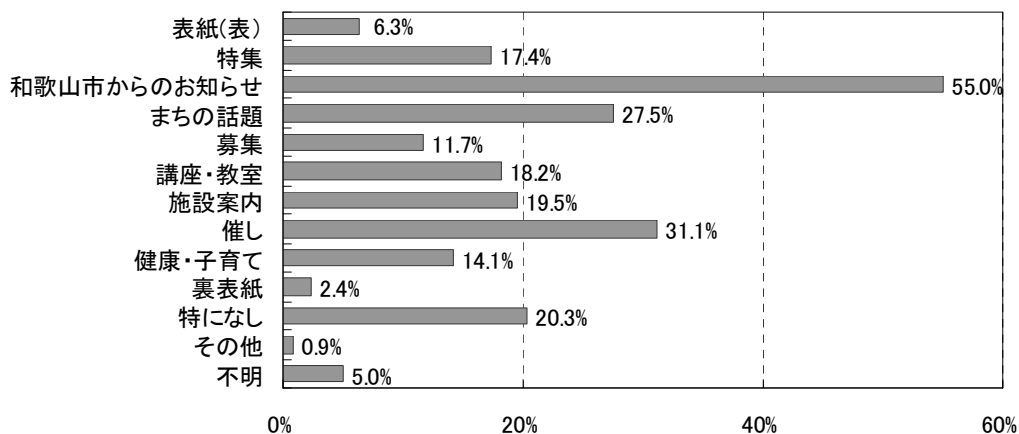
### 問 64 「市報わかやま」の興味のあるコーナー

あなたが、「市報わかやま」の中で興味のあるコーナーは何ですか？

該当するものをすべてお選びください。

- |          |          |                |
|----------|----------|----------------|
| 1. 表紙(表) | 2. 特集    | 3. 和歌山市からのお知らせ |
| 4. まちの話題 | 5. 募集    | 6. 講座・教室       |
| 7. 施設案内  | 8. 催し    | 9. 健康・子育て      |
| 10. 裏表紙  | 11. 特になし | 12. その他 ( )    |

「和歌山市からのお知らせ」の割合が55.0%と最も高く、次いで「催し」(31.1%)、「まちの話題」(27.5%)の順となっている。



問 65～67 「市報わかやま」の満足度

問 65 平成 25 年 5 月号から「市報わかやま」をフルカラーに変更しました。

「市報わかやま」の見やすさについてお尋ねします。

問 66 「市報わかやま」に掲載されている情報量についてお尋ねします。

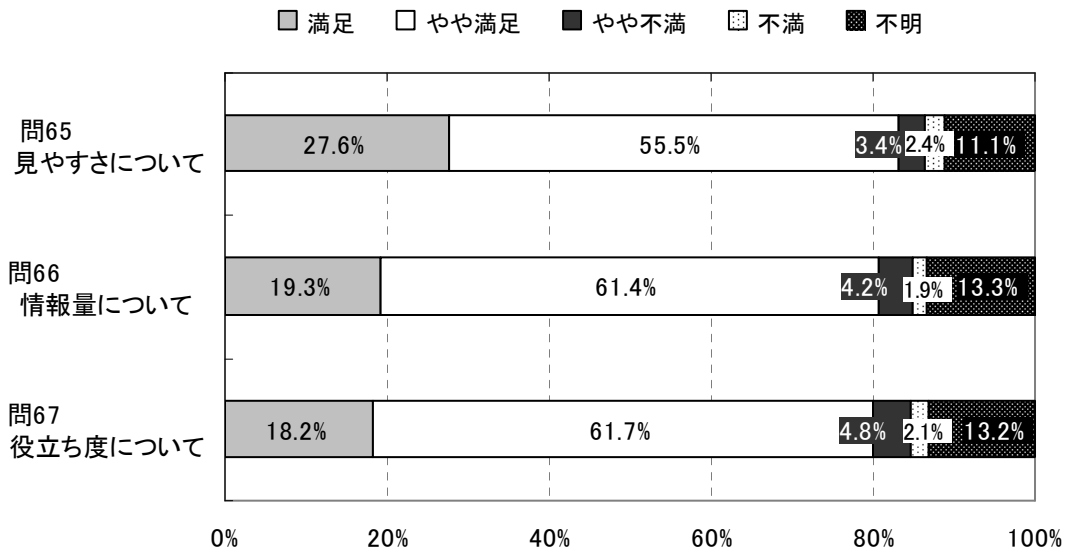
問 67 市の行政情報などを得る上で「市報わかやま」の役立ち度についてお尋ねします。

1. 満足            2. やや満足            3. やや不満            4. 不満

\* 「3」、「4」を選んだ理由 ( )

「市報わかやま」の満足率（「満足」と「やや満足」の割合を合わせた計）は、「見やすさ」が 83.1%、「情報量」は 80.7%、「役立ち度」は 79.9%となっている。

【満足率】



※ 「やや不満」、「不満」を選じた理由

問 65 : 「大切なことは大きな文字でお願いしたい」、「カラーは一部だけでもいいのでは」、「見易さよりコスト削減」など

問 66 : 「市議会について情報不足」、「身近な情報があまりない」、「知識が得られる記事が少ない」、「サービス内容の充実」など

問 67 : 「役立つものが少ない」、「所在地や料金などの情報不足」など

問 68 和歌山市ホームページ「わかやまC I T Y情報」について

和歌山市ホームページ「わかやまC I T Y情報」を閲覧していますか？

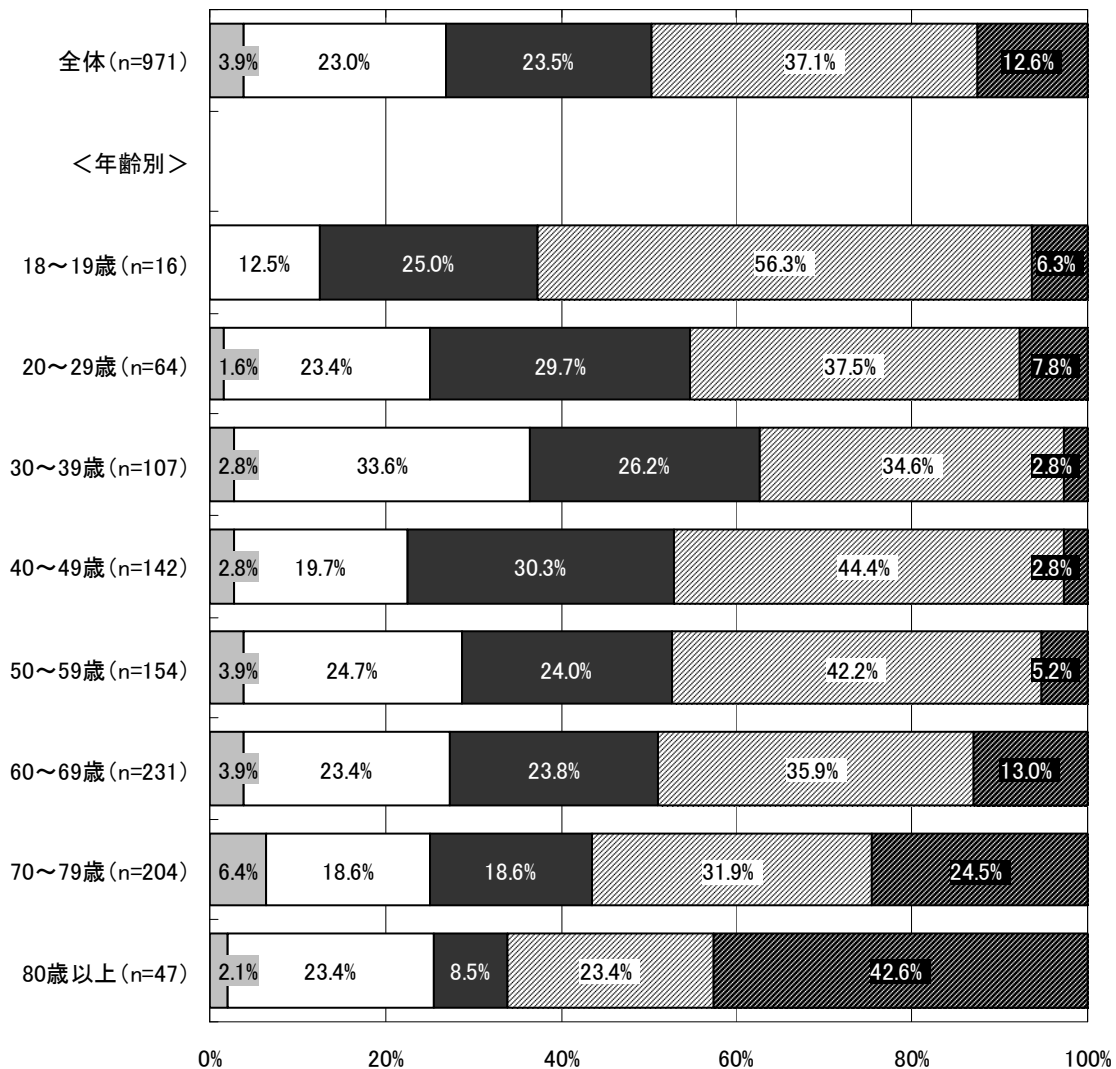
1. よく閲覧する 2. たまに閲覧する 3. ほとんど閲覧しない  
4. 全く閲覧しない※4を選択した方は問72の設問へお進みください。

\* 「3」、「4」を選んだ理由 ( )

閲覧している割合（「よく閲覧する」3.9%と「たまに閲覧する」23.0%の計）は26.9%、閲覧していない割合（「ほとんど閲覧しない」23.5%と「全く閲覧しない」37.1%の計）は60.6%となっている。

年齢別にみると、閲覧している割合は30歳代が36.4%と最も高く、18～19歳は12.5%と最も低くなっている。

□ よく閲覧する □ たまに閲覧する ■ ほとんど閲覧しない ▨ 全く閲覧しない ■ 不明



※ 「ほとんど閲覧しない」、「全く閲覧しない」を選択した理由  
「パソコンがない」、「機会がない」、「知らなかった」、「市報わかやまがある」など

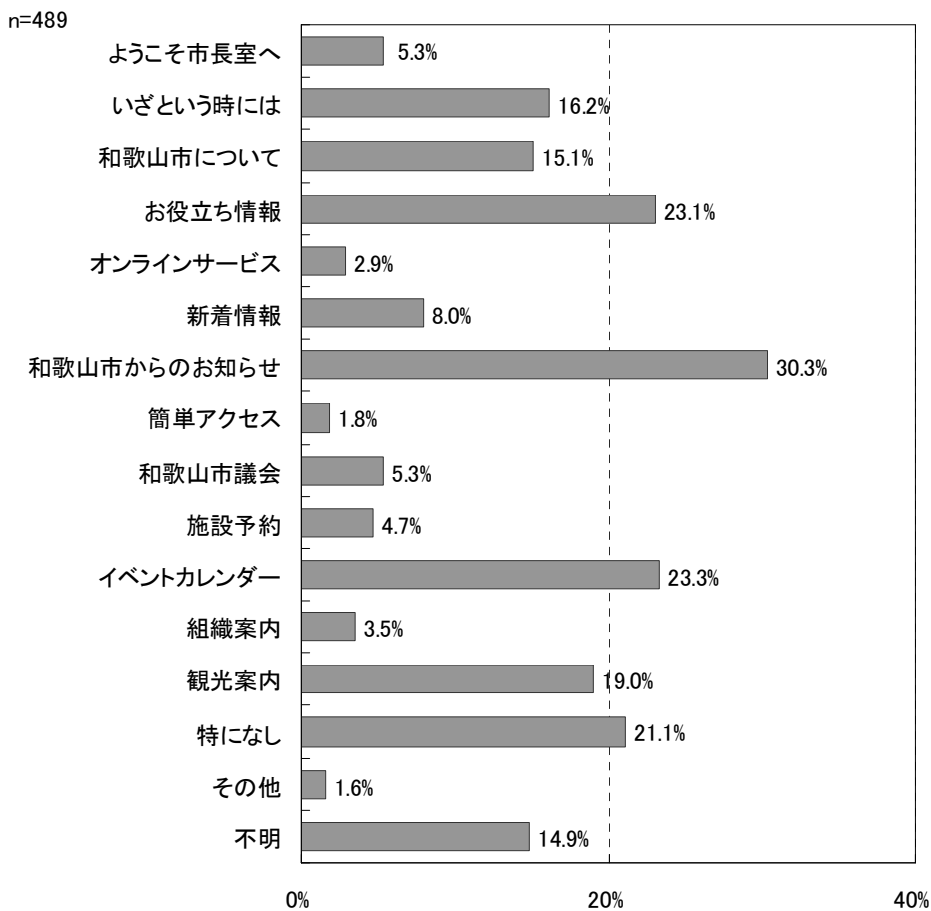
問 69 「わかやまCITY情報」でよく利用するトップページ

和歌山市ホームページ「わかやまCITY情報」のトップページでよく使う項目、興味のある項目は何ですか？該当するものをすべてお選びください。

- |                |             |
|----------------|-------------|
| 1. ようこそ市長室へ    | 2. いざという時には |
| 3. 和歌山市について    | 4. お役立ち情報   |
| 5. オンラインサービス   | 6. 新着情報     |
| 7. 和歌山市からのお知らせ | 8. 簡単アクセス   |
| 9. 和歌山市議会      | 10. 施設予約    |
| 11. イベントカレンダー  | 12. 組織案内    |
| 13. 観光案内       | 14. 特になし    |
| 15. その他 ( )    |             |

問 68 で「全く閲覧しない」以外の回答をした方と「不明」を除いた 489 人について、「和歌山市からのお知らせ」の割合が 30.3%と最も高く、次いで「イベントカレンダー」(23.3%)、「お役立ち情報」(23.1%)の順となっている。

※平成 26 年 1 月 14 日にホームページをリニューアルしています。





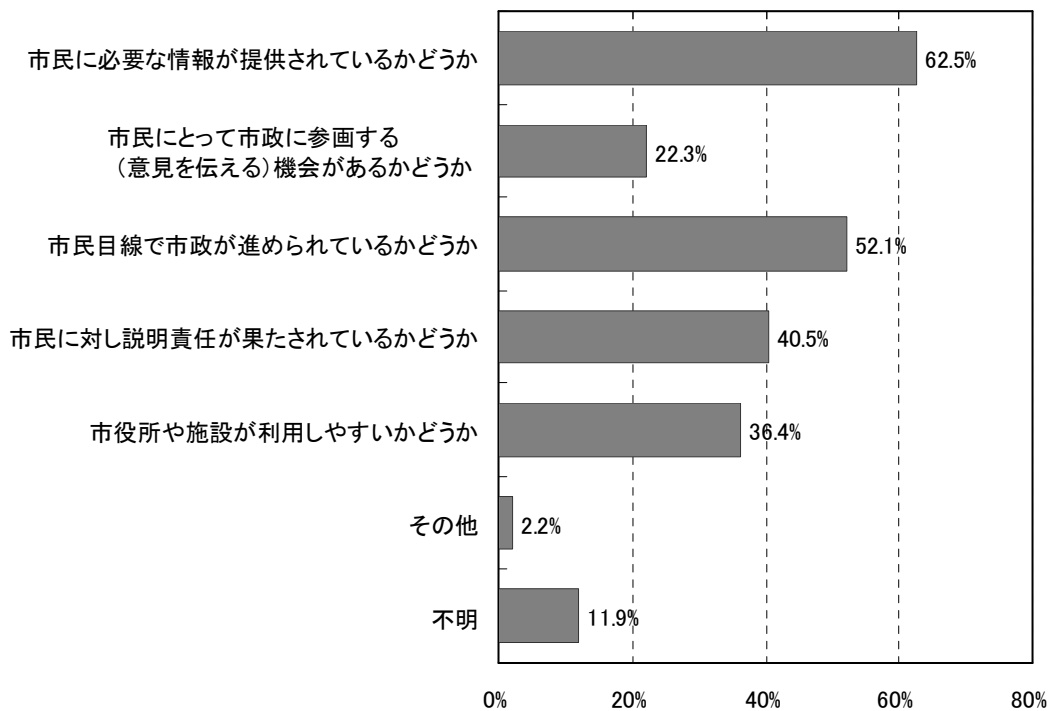
## 17. 市政運営について

### 問 72 開かれた市政運営としての条件

和歌山市では、市民に開かれた市政運営を目指し取り組んでいるところです。  
あなたにとって、開かれた市政運営であるかを判断するには何を重視しますか？  
該当するものをすべてお選びください。

1. 市民に必要な情報が提供されているかどうか
2. 市民にとって市政に参画する（意見を伝える）機会があるかどうか
3. 市民目線で市政が進められているかどうか
4. 市民に対し説明責任が果たされているかどうか
5. 市役所や施設が利用しやすいかどうか
6. その他（ )

「市民に必要な情報が提供されているかどうか」の割合が62.5%と最も高く、次いで「市民目線で市政が進められているかどうか」（52.1%）、「市民に対し説明責任が果たされているかどうか」（40.5%）の順となっている。



その他：「人員や費用を無駄に使っていないか」など

### 問 73 和歌山市の市政運営

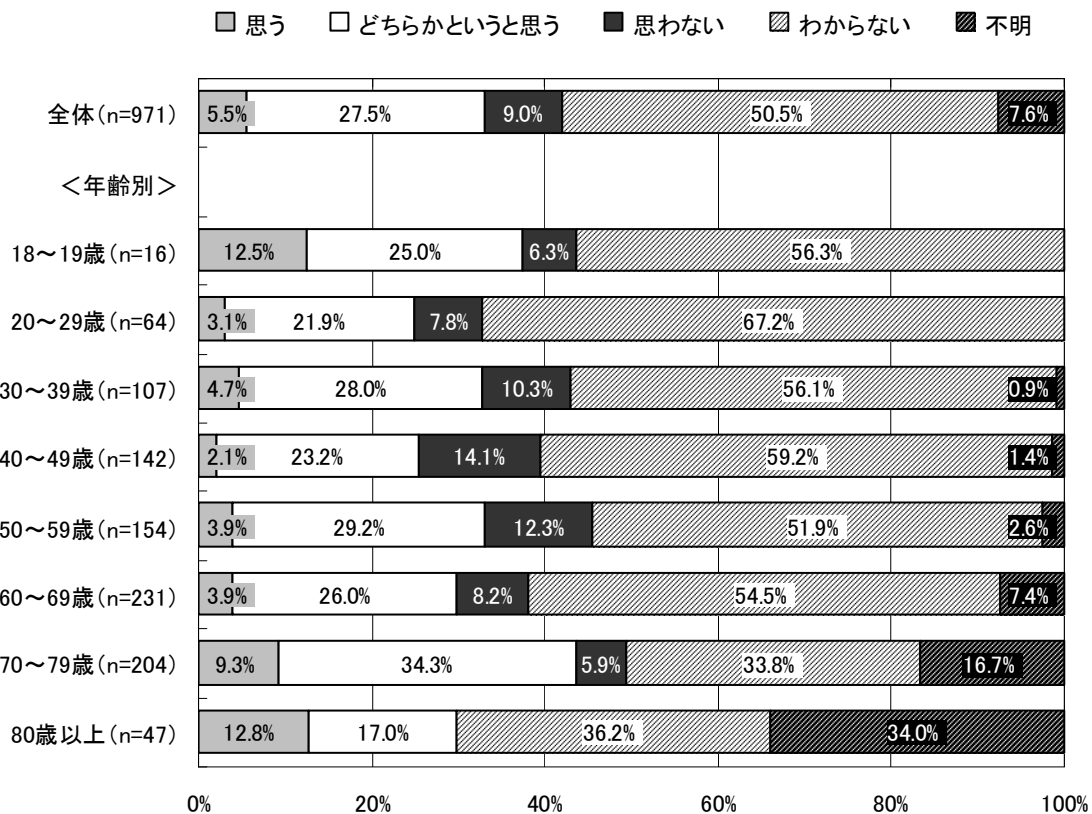
和歌山市では、市民に開かれた市政運営がされていると思いますか？

1. 思う
2. どちらかというと思う
3. 思わない（理由： \_\_\_\_\_）
4. わからない

※ 和歌山市では、市民に開かれた市政運営を行うため、主に以下のような取組みをしています。  
 広報紙・ホームページ等による情報提供、「市長への手紙」等による市への提言、審議会等への公募委員の登用、パブリックコメント制度の活用、行政評価による事務事業チェックシートの公表、行政評価委員会による外部評価の公開、フロアマネージャーの配置、気くばり市役所の推進 等

「思う」(5.5%)と「どちらかというと思う」(27.5%)を合わせた33.0%は、開かれた市政運営がされていると感じている。「思わない」は9.0%、「わからない」は50.5%となっている。

年齢別にみると、開かれた市政運営がされていると感じている割合は18～19歳が37.5%、20歳代は25.0%、30歳代は32.7%、40歳代は25.3%、50歳代は33.1%、60歳代は29.9%、70歳代は43.6%、80歳以上は29.8%と、70歳代が他の年齢層よりも高くなっている。



その他：「何をしているか伝わってこない」、「普段の生活の中で簡単に知ることができない」、「市民の意見をあまり重視されていないと思う」など



18. 和歌山市の取組みに対しての満足度・重要度について

問 74 和歌山市の市政一般の満足度と重要度

和歌山市に住んでいて、つぎのことがらについてどのように感じていますか？

満足度と重要度から、それぞれ1つずつ選んで数字を○で囲んでください。

満足度： 1. 非常に満足 2. 満足 3. どちらとも言えない 4. 不満 5. 非常に不満

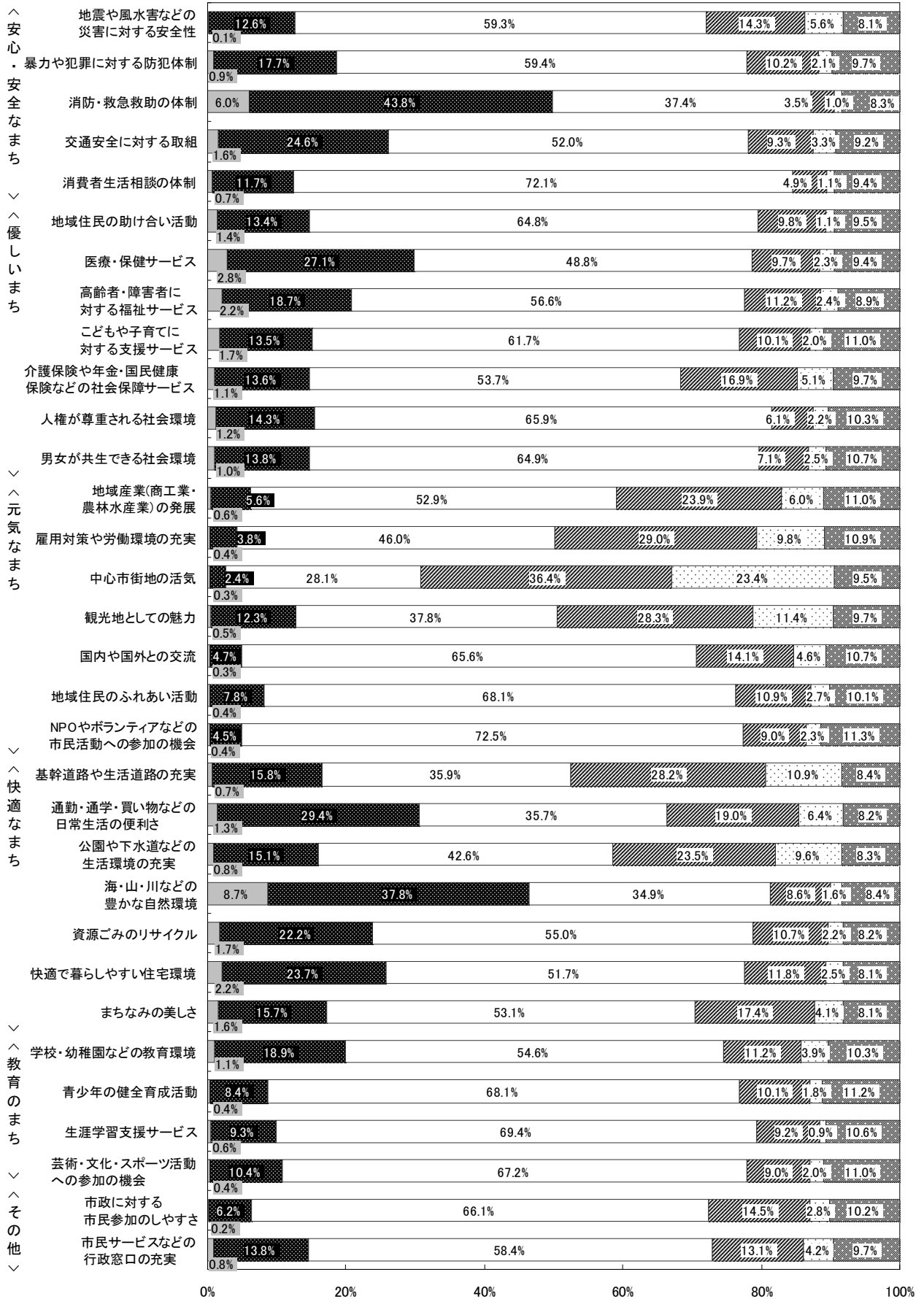
重要度： 1. 非常に重要 2. 重要 3. どちらとも言えない 4. あまり重要ではない

5. 全く重要ではない

安心・安全なまち	地震や風水害などの災害に対する安全性
	暴力や犯罪に対する防犯体制
	消防・救急救助の体制
	交通安全に対する取組
	消費者生活相談の体制
優しいまち	地域住民の助け合い活動
	医療・保健サービス
	高齢者・障害者に対する福祉サービス
	こどもや子育てに対する支援サービス
	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス
	人権が尊重される社会環境
元気なまち	男女が共生できる社会環境
	地域産業(商工業・農林水産業)の発展
	雇用対策や労働環境の充実
	中心市街地の活気
	観光地としての魅力
	国内や国外との交流
	地域住民のふれあい活動
NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会	
快適なまち	基幹道路や生活道路の充実
	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ
	公園や下水道などの生活環境の充実
	海・山・川などの豊かな自然環境
	資源ごみのリサイクル
	快適で暮らしやすい住宅環境
	まちなみの美しさ
教育のまち	学校・幼稚園などの教育環境
	青少年の健全育成活動
	生涯学習支援サービス
	芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会
その他	市政に対する市民参加のしやすさ
	市民サービスなどの行政窓口の充実

満足度

■ 非常に満足 ■ 満足 □ どちらとも言えない ▨ 不満 □ 非常に不満 ■ 不明



## 【満足率・不満率】

満足率の高い項目は順に「消防・救急救助の体制」(49.7%)、「海・山・川などの豊かな自然環境」(46.5%)、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」(30.7%)、「医療・保健サービス」(29.9%)、「交通安全に対する取組」(26.1%)となっており、“安心・安全なまち”と“快適なまち”に係わる項目の満足率が高い傾向にある。

不満率の高い項目は順に「中心市街地の活気」(59.7%)、「観光地としての魅力」(39.8%)、「基幹道路や生活道路の充実」(39.1%)、「雇用対策や労働環境の充実」(38.8%)、「公園や下水道などの生活環境の充実」(33.1%)となっており、“元気なまち”に係わる項目の不満率が高い傾向にある。

## <性別>

満足率の上位5つの項目について、性別による大きな差はみられないが、男性は「快適で暮らしやすい住宅環境」が女性より上位に位置している。

不満率の上位5つの項目について、男性は全体の項目と変わらないが、女性は「介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス」、「地域住民の助け合い活動」、「子どもや子育てに対する支援サービス」の“優しいまち”に係わる項目が高い傾向にある。

### 【満足率（「非常に満足」と「満足」の計の割合）】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体	消防・救急救助の体制 49.7%	海・山・川などの豊かな自然環境 46.5%	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 30.7%	医療・保健サービス 29.9%	交通安全に対する取組 26.1%
男性	消防・救急救助の体制 50.4%	海・山・川などの豊かな自然環境 43.2%	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 29.5%	医療・保健サービス 27.8%	・交通安全に対する取組 ・快適で暮らしやすい住宅環境 23.3%
女性	海・山・川などの豊かな自然環境 50.1%	消防・救急救助の体制 49.3%	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 32.0%	医療・保健サービス 31.6%	交通安全に対する取組 28.6%

### 【不満率（「非常に不満」と「不満」の計の割合）】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体	中心市街地の活気 59.7%	観光地としての魅力 39.8%	基幹道路や生活道路の充実 39.1%	雇用対策や労働環境の充実 38.8%	公園や下水道などの生活環境の充実 33.1%
男性	中心市街地の活気 62.7%	基幹道路や生活道路の充実 44.2%	観光地としての魅力 42.3%	雇用対策や労働環境の充実 40.9%	公園や下水道などの生活環境の充実 35.6%
女性	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス 58.0%	地域住民の助け合い活動 38.2%	子どもや子育てに対する支援サービス 37.7%	観光地としての魅力 35.8%	地震や風水害などの災害に対する安全性 31.3%

注① 同率の項目は並記している。

注② この表の満足率は「非常に満足」と「満足」の合計の割合であり、前ページのグラフの「非常に満足」と「満足」の割合を合計した数値と一致しない。(不満率も同様)

※注①と②は以降のページも同様である。

<年齢別>

満足率の上位5つの項目について年齢別にみると、30歳代は「学校・幼稚園などの教育環境」が他の年齢層より上位に位置している。60歳代以上の年齢層では「資源ごみのリサイクル」が上位に位置している。

【満足率（「非常に満足」と「満足」の計の割合）】

	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳	消防・救急救助の体制 56.3%	医療・保健サービス 43.8%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ ・公園や下水道などの生活環境の充実 ・海・山・川などの豊かな自然環境		37.5%
20～29歳	海・山・川などの豊かな自然環境 50.0%	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 29.7%	快適で暮らしやすい住宅環境 28.1%	消防・救急救助の体制 26.6%	・医療・保健サービス ・基幹道路や生活道路の充実 23.4%
30～39歳	海・山・川などの豊かな自然環境 59.8%	消防・救急救助の体制 45.8%	・医療・保健サービス ・快適で暮らしやすい住宅環境		・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ ・学校・幼稚園などの教育環境 29.9%
40～49歳	海・山・川などの豊かな自然環境 52.8%	消防・救急救助の体制 45.1%	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 31.0%	快適で暮らしやすい住宅環境 23.2%	交通安全に対する取組 21.1%
50～59歳	消防・救急救助の体制 50.6%	海・山・川などの豊かな自然環境 46.8%	・交通安全に対する取組 ・医療・保健サービス		通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 26.0%
60～69歳	消防・救急救助の体制 57.6%	海・山・川などの豊かな自然環境 42.0%	医療・保健サービス 33.8%	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 32.0%	資源ごみのリサイクル 28.6%
70～79歳	消防・救急救助の体制 52.9%	海・山・川などの豊かな自然環境 44.1%	・医療・保健サービス ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ		資源ごみのリサイクル 29.9%
80歳以上	消防・救急救助の体制 44.7%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ ・快適で暮らしやすい住宅環境		・海・山・川などの豊かな自然環境 ・資源ごみのリサイクル	27.7%

<地域別>

満足率の上位5つの項目について地域別にみると、南部は「資源ごみのリサイクル」、東南部は「高齢者・障害者に対する福祉サービス」が他の地域より上位に位置している。

【満足率（「非常に満足」と「満足」の計の割合）】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部	消防・救急救助の体制 48.4%	海・山・川などの豊かな自然環境 46.4%	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 37.9%	医療・保健サービス 27.8%	快適で暮らしやすい住宅環境 27.4%
南部	消防・救急救助の体制 54.5%	海・山・川などの豊かな自然環境 51.2%	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 31.4%	医療・保健サービス 30.6%	・交通安全に対する取組 ・資源ごみのリサイクル 26.4%
東部	消防・救急救助の体制 49.2%	海・山・川などの豊かな自然環境 43.5%	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 28.2%	医療・保健サービス 26.6%	快適で暮らしやすい住宅環境 24.2%
東南部	消防・救急救助の体制 46.4%	海・山・川などの豊かな自然環境 42.3%	医療・保健サービス 35.1%	高齢者・障害者に対する福祉サービス 27.8%	交通安全に対する取組 26.8%
河西部	消防・救急救助の体制 51.9%	海・山・川などの豊かな自然環境 51.2%	医療・保健サービス 33.1%	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 31.5%	交通安全に対する取組 30.4%
河北部	消防・救急救助の体制 47.1%	海・山・川などの豊かな自然環境 39.2%	快適で暮らしやすい住宅環境 31.4%	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 28.4%	医療・保健サービス 27.5%

<年齢別>

不満率の上位5つの項目について年齢別にみると、18～19歳は「国内や国外との交流」、「まちなみの美しさ」、「NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会」、「市政に対する市民参加のしやすさ」、20歳代は「芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会」、「地域住民の助け合い活動」、「子どもや子育てに対する支援サービス」、30歳代は「男女が共生できる社会環境」、「生涯学習支援サービス」、「資源ごみのリサイクル」、「市民サービスなどの行政窓口の充実」が他の年齢層より上位に位置している。

【不満率（「非常に不満」と「不満」の計の割合）】

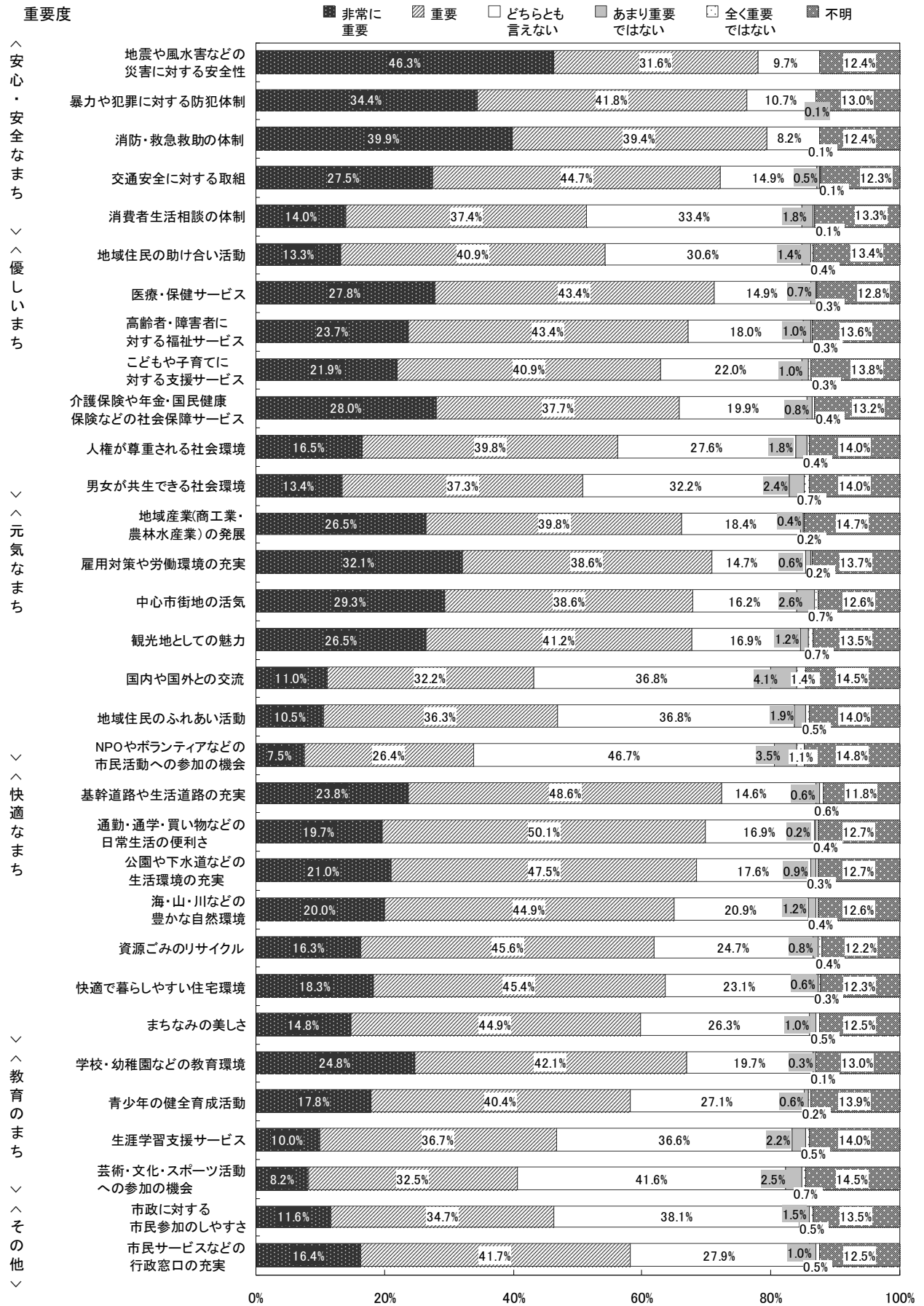
	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳	中心市街地の活気 50.0%	観光地としての魅力 43.8%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ ・基幹道路や生活道路の充実 25.0%	・海・山・川などの豊かな自然環境 ・国内や国外との交流 ・まちなみの美しさ ・NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会 ・市政に対する市民参加のしやすさ 18.8%	
20～29歳	芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会 67.2%	地域産業(商工業・農林水産業)の発展 51.6%	公園や下水道などの生活環境の充実 42.2%	地域住民の助け合い活動 40.6%	子どもや子育てに対する支援サービス 35.9%
30～39歳	暴力や犯罪に対する防犯体制 60.7%	・男女が共生できる社会環境 ・生涯学習支援サービス 45.8%	資源ごみのリサイクル 43.9%	市民サービスなどの行政窓口の充実 29.9%	
40～49歳	中心市街地の活気 73.2%	基幹道路や生活道路の充実 52.8%	雇用対策や労働環境の充実 50.7%	・観光地としての魅力 ・地域産業(商工業・農林水産業)の発展 47.9%	
50～59歳	中心市街地の活気 66.2%	雇用対策や労働環境の充実 47.4%	・観光地としての魅力 ・基幹道路や生活道路の充実 43.5%	公園や下水道などの生活環境の充実 40.9%	
60～69歳	中心市街地の活気 58.0%	雇用対策や労働環境の充実 37.2%	基幹道路や生活道路の充実 35.1%	観光地としての魅力 34.6%	公園や下水道などの生活環境の充実 34.2%
70～79歳	中心市街地の活気 51.0%	観光地としての魅力 33.8%	基幹道路や生活道路の充実 30.9%	公園や下水道などの生活環境の充実 28.9%	雇用対策や労働環境の充実 27.9%
80歳以上	中心市街地の活気 36.2%	基幹道路や生活道路の充実 29.8%	雇用対策や労働環境の充実 27.7%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ ・観光地としての魅力 23.4%	

<地域別>

不満率の上位5つの項目について地域別にみると、南部は「地震や風水害などの災害に対する安全性」、東南部は「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」が他の地域より上位に位置している。

【不満率（「非常に不満」と「不満」の計の割合）】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部	中心市街地の活気 64.9%	観光地としての魅力 41.9%	雇用対策や労働環境の充実 40.3%	基幹道路や生活道路の充実 35.9%	地域産業(商工業・農林水産業)の発展 33.1%
南部	中心市街地の活気 63.6%	基幹道路や生活道路の充実 44.6%	観光地としての魅力 36.4%	雇用対策や労働環境の充実 35.5%	地震や風水害などの災害に対する安全性 31.4%
東部	中心市街地の活気 55.6%	基幹道路や生活道路の充実 40.3%	観光地としての魅力 37.1%	・公園や下水道などの生活環境の充実 ・雇用対策や労働環境の充実 33.9%	
東南部	中心市街地の活気 53.6%	雇用対策や労働環境の充実 41.2%	・基幹道路や生活道路の充実 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ ・観光地としての魅力 ・公園や下水道などの生活環境の充実 40.2%		
河西部	中心市街地の活気 61.5%	雇用対策や労働環境の充実 43.5%	観光地としての魅力 42.7%	基幹道路や生活道路の充実 39.2%	地域産業(商工業・農林水産業)の発展 35.0%
河北部	中心市街地の活気 54.9%	・基幹道路や生活道路の充実 ・公園や下水道などの生活環境の充実 40.2%		観光地としての魅力 37.3%	雇用対策や労働環境の充実 36.3%



## 【重要率】

重要率の高い項目は順に「消防・救急救助の体制」(79.3%)、「地震や風水害などの災害に対する安全性」(78.0%)、「暴力や犯罪に対する防犯体制」(76.0%)、「基幹道路や生活道路の充実」(72.4%)、「交通安全に対する取組」(72.2%)となっており、“安心・安全なまち”に係わる項目の重要率が高い傾向にある。

## <性別>

重要率の上位5つの項目について、男性は全体の項目と変わらないが、女性は「医療・保健サービス」が男性より上位に位置している。

### 【重要率（「非常に重要」と「重要」の計の割合）】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体	消防・救急救助の体制 79.3%	地震や風水害などの災害に対する安全性 78.0%	暴力や犯罪に対する防犯体制 76.0%	基幹道路や生活道路の充実 72.4%	交通安全に対する取組 72.2%
男性	消防・救急救助の体制 80.8%	地震や風水害などの災害に対する安全性 79.6%	暴力や犯罪に対する防犯体制 78.6%	基幹道路や生活道路の充実 76.5%	雇用対策や労働環境の充実 72.7%
女性	消防・救急救助の体制 78.9%	地震や風水害などの災害に対する安全性 77.4%	暴力や犯罪に対する防犯体制 75.0%	交通安全に対する取組 ・医療・保健サービス 74.4%	

注① 同率の項目は並記している。

注② この表の重要率は「非常に重要」と「重要」の合計の割合であり、前ページのグラフの「非常に重要」と「重要」の割合を合計した数値と一致しない。

※注①と②は以降のページも同様である。



<年齢別>

重要率の上位5つの項目について年齢別にみると、18～19歳は「資源ごみのリサイクル」、  
「まちなみの美しさ」、80歳以上は「高齢者・障害者に対する福祉サービス」、「介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス」が他の年齢層より上位に位置している。

【重要率（「非常に重要」と「重要」の計の割合）】

	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震や風水害などの災害に対する安全性</li> <li>観光地としての魅力</li> <li>暴力や犯罪に対する防犯体制</li> <li>消防・救急救助の体制</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>雇用対策や労働環境の充実</li> <li>中心市街地の活気</li> <li>通勤・通学・買い物などの日常生活の利便さ</li> <li>資源ごみのリサイクル</li> <li>まちなみの美しさ</li> <li>学校・幼稚園などの教育環境</li> <li>医療・保健サービス</li> </ul>
				75.0%	68.8%
20～29歳	地震や風水害などの災害に対する安全性 85.9%	雇用対策や労働環境の充実 消防・救急救助の体制		暴力や犯罪に対する防犯体制 81.3%	医療・保健サービス 79.7%
30～39歳	地震や風水害などの災害に対する安全性 86.0%	暴力や犯罪に対する防犯体制 85.0%	消防・救急救助の体制 83.2%	基幹道路や生活道路の充実 81.3%	通勤・通学・買い物などの日常生活の利便さ 学校・幼稚園などの教育環境 79.4%
40～49歳	地震や風水害などの災害に対する安全性 85.9%	消防・救急救助の体制 85.2%	暴力や犯罪に対する防犯体制 84.5%	雇用対策や労働環境の充実 82.4%	交通安全に対する取組 医療・保健サービス 78.2%
50～59歳	消防・救急救助の体制 86.4%	地震や風水害などの災害に対する安全性 85.1%	暴力や犯罪に対する防犯体制 83.8%	雇用対策や労働環境の充実 交通安全に対する取組 77.9%	
60～69歳	消防・救急救助の体制 81.4%	地震や風水害などの災害に対する安全性 77.5%	暴力や犯罪に対する防犯体制 74.9%	交通安全に対する取組 74.5%	基幹道路や生活道路の充実 医療・保健サービス 74.0%
70～79歳	消防・救急救助の体制 72.1%	地震や風水害などの災害に対する安全性 69.1%	基幹道路や生活道路の充実 68.6%	暴力や犯罪に対する防犯体制 66.2%	公園や下水道などの生活環境の充実 65.7%
80歳以上	基幹道路や生活道路の充実 快適で暮らしやすい住宅環境 55.3%		通勤・通学・買い物などの日常生活の利便さ 53.2%	高齢者・障害者に対する福祉サービス 48.9%	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス 公園や下水道などの生活環境の充実 46.8%

<地域別>

重要率の上位5つの項目について地域別にみると、中心部は「中心市街地の活気」、南部は「公園や下水道などの生活環境の充実」、「海・山・川などの豊かな自然環境」、東部は「観光地としての魅力」、河西部は「医療・保健サービス」が他の地域より上位に位置している。

【重要率（「非常に重要」と「重要」の計の割合）】

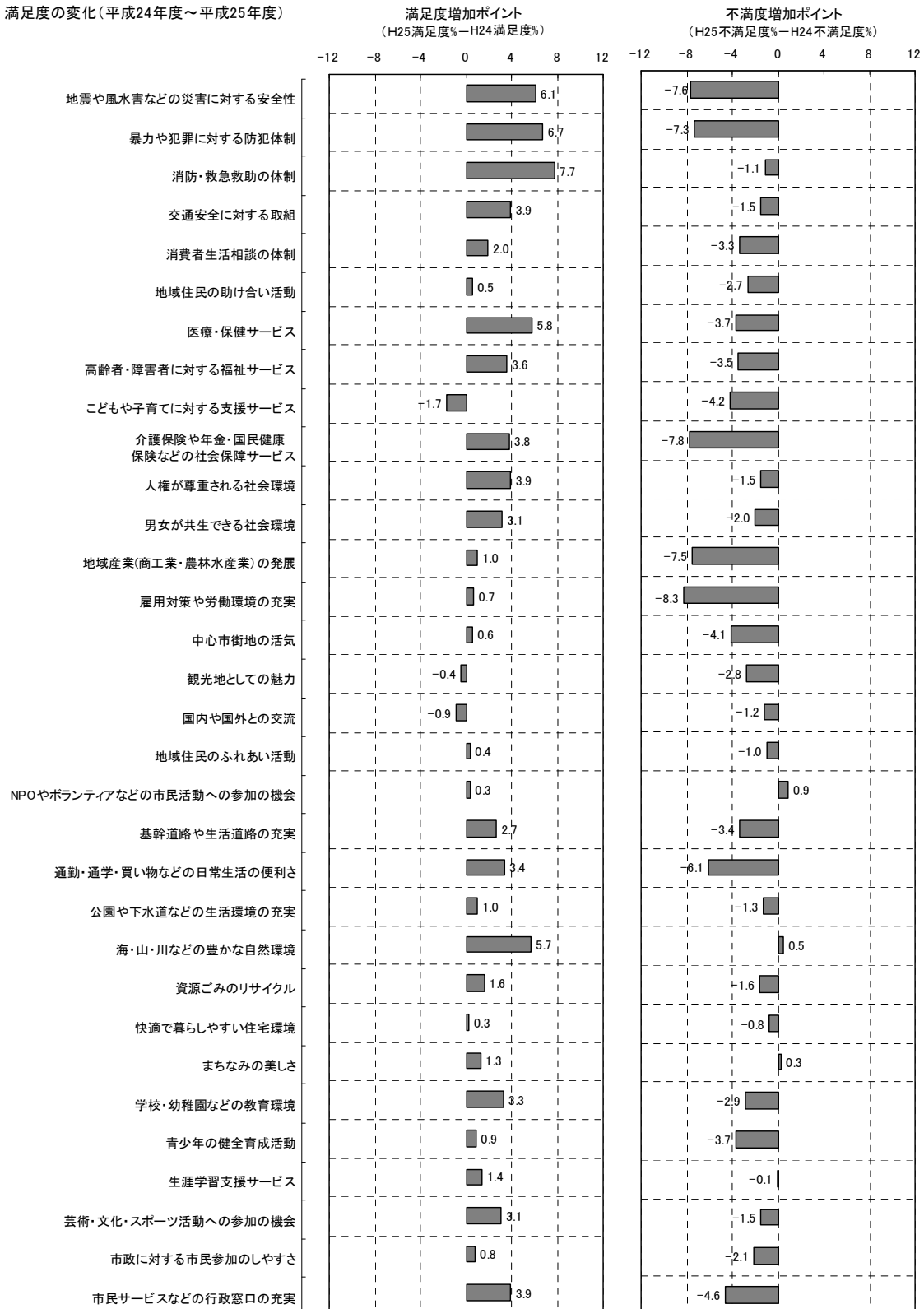
	1位	2位	3位	4位	5位
中心部	消防・救急救助の体制 81.0%	暴力や犯罪に対する防犯体制 80.6%	地震や風水害などの災害に対する安全性 77.8%	交通安全に対する取組 75.8%	中心市街地の活気 75.0%
南部	消防・救急救助の体制 81.8%	地震や風水害などの災害に対する安全性 81.0%	基幹道路や生活道路の充実 75.2%	交通安全に対する取組 74.4%	・公園や下水道などの生活環境の充実 ・海・山・川などの豊かな自然環境 72.7%
東部	消防・救急救助の体制 76.6%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 ・暴力や犯罪に対する防犯体制 75.8%	基幹道路や生活道路の充実 75.0%	・雇用対策や労働環境の充実 ・観光地としての魅力 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 72.6%	
東南部	地震や風水害などの災害に対する安全性 79.4%	・暴力や犯罪に対する防犯体制 ・基幹道路や生活道路の充実 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 72.2%		・消防・救急救助の体制	
河西部	消防・救急救助の体制 83.1%	地震や風水害などの災害に対する安全性 78.8%	暴力や犯罪に対する防犯体制 78.5%	基幹道路や生活道路の充実 75.0%	医療・保健サービス 73.8%
河北部	消防・救急救助の体制 77.5%	地震や風水害などの災害に対する安全性 76.5%	暴力や犯罪に対する防犯体制 72.5%	・雇用対策や労働環境の充実 ・基幹道路や生活道路の充実 71.6%	

## 【満足度：前年度との比較】

平成 24 年度と平成 25 年度の満足度（「非常に満足」、「満足」の割合）の変化は、「地震や風水害などの災害に対する安全性」、「暴力や犯罪に対する防犯体制」、「消防・救急救助の体制」、「医療・保健サービス」、「海・山・川などの豊かな自然環境」が 5 ポイント以上増加している。

不満度（「非常に不満」、「不満」の割合）の変化は、「NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会」と「海・山・川などの豊かな自然環境」、「まちなみの美しさ」以外の項目で減少している。

満足度の変化(平成24年度～平成25年度)

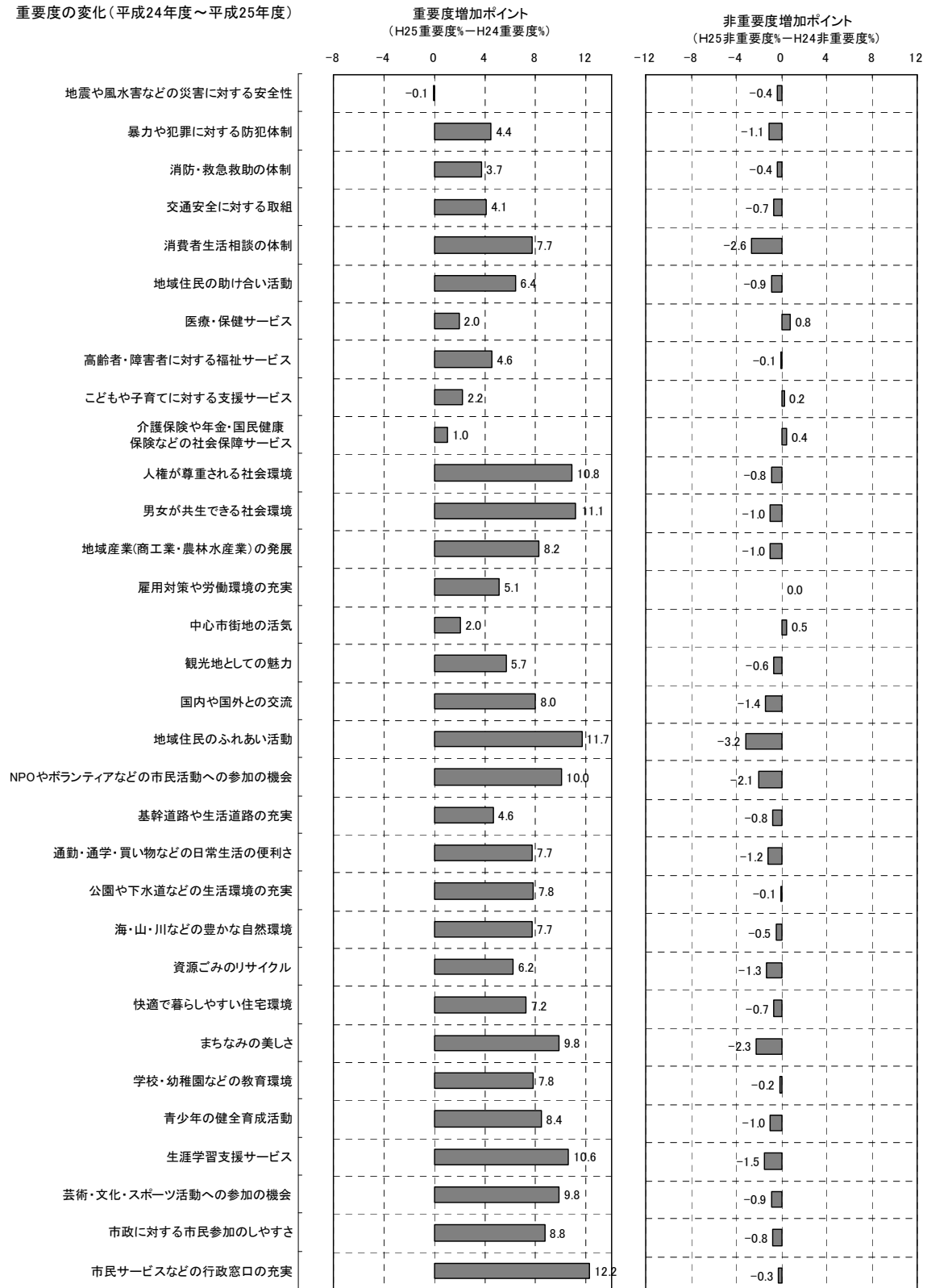


## 【重要度：前年度との比較】

平成 24 年度と平成 25 年度の重要度（「非常に重要」、「重要」の割合）の変化は、「地震や風水害などの災害に対する安全性」以外の項目で増加している。

非重要度（「あまり重要ではない」、「全く重要ではない」の割合）の変化は、1 ポイント以上増加している項目はなく、全体的に減少している。

重要度の変化（平成24年度～平成25年度）



## 19. 和歌山市の市政について（自由意見）

自由意見は235人の回答者より、307件の意見があった。

以下のとおり、「まちの方向性、市政全体に関して」、「政策に関して」、「具体的な事業・施策に関して」、「行政の体制、市職員等に関して」多岐にわたる記述があった。

### 【ご意見の概要】

<p>1、まちの方向性、市政全体に関するご意見</p>	<p><input type="checkbox"/>まちの方向性                      ◇活気のあるまち  <input type="checkbox"/>    ◇魅力のあるまち  <input type="checkbox"/>    ◇住みやすいまち</p> <p><input type="checkbox"/>市政全体                                      ◇市政全体</p>
<p>2、政策に関するご意見</p>	<p><input type="checkbox"/>中心市街地活性化                      ◇中心市街地の活性化  <input type="checkbox"/>観光    ◇観光  <input type="checkbox"/>景観    ◇まちの景観  <input type="checkbox"/>環境    ◇生活環境  <input type="checkbox"/>教育・文化                                      ◇教育・文化  <input type="checkbox"/>景気対策                                      ◇地域経済  <input type="checkbox"/>    ◇雇用条件  <input type="checkbox"/>    ◇企業誘致</p> <p><input type="checkbox"/>産業振興                                      ◇地域産業</p> <p><input type="checkbox"/>市民参加・市民協働                      ◇アンケート調査の活用  <input type="checkbox"/>    ◇社会活動、地域活動</p> <p><input type="checkbox"/>福祉    ◇高齢者・障害者の支援  <input type="checkbox"/>    ◇子育て支援  <input type="checkbox"/>    ◇社会保障</p>
<p>3、具体的な事業・施策に関するご意見</p>	<p><input type="checkbox"/>下水道  <input type="checkbox"/>公共交通機関  <input type="checkbox"/>公共施設  <input type="checkbox"/>道路  <input type="checkbox"/>防災  <input type="checkbox"/>安心安全なまちづくり</p>
<p>4、行政の体制、市職員等に関するご意見</p>	<p><input type="checkbox"/>行政システム                              ◇職員の姿勢、対応  <input type="checkbox"/>    ◇市職員、市議会議員の人員削減</p> <p><input type="checkbox"/>財政</p>

## ～ご意見内容～

### 1、まちの方向性、市政全体に関するご意見

#### まちの方向性

##### ◇活気のあるまち

▼活気ある和歌山市にしてください。

【類似意見 8 件、主に女性からのご意見】

▼空家の利用など、積極的なまちおこしをお願いします。

【類似意見 2 件】

##### ◇魅力のあるまち

▼若者が集まり、子育てしやすい魅力的な和歌山市にしてください。

【類似意見 4 件、50 歳代・女性からのご意見】

▼和歌山市の特徴を活かした魅力ある取組みに期待します。

【類似意見 3 件、60 歳代からのご意見】

##### ◇住みやすいまち

▼和歌山市は、人の温かさを感じる住みやすいまちです。

【類似意見 5 件、主に女性からのご意見】

▼子どもや高齢者、障害者が住みやすいまちにしてほしいです。

【類似意見 13 件、主に女性からのご意見】

#### 市政全体

##### ◇市政全体

▼市民の意見や困りごとの相談窓口の充実をお願いします。

【類似意見 3 件、主に女性からのご意見】

▼もっと市民の意見を聞いて下さい。

【類似意見 2 件、30 歳代からのご意見】

▼数年前に比べ、市政が良くなってきていると思います。

【類似意見 2 件、女性からのご意見】

▼県と市の連携を密にし、無駄のない市政運営をお願いします。

【類似意見 2 件、男性からのご意見】

▼市民にわかりやすい市政の情報発信をお願いします。

【類似意見 9 件、主に女性からのご意見】

▼和歌山市がさらに発展することを願っています。

【類似意見 7 件、主に女性からのご意見】

## 2、政策に関するご意見

### 中心市街地活性化

#### ◇中心市街地の活性化

▼中心市街地の立地の良さをいかして、活気あるまちにしてほしいです。

【類似意見 3 件】

### 観光

#### ◇観光

▼和歌山の豊かな自然やお城などを活用し、魅力ある観光地になるよう、もっと力を入れるべきだと思います。

【類似意見 8 件、主に男性からのご意見】

▼観光地としてもっと整備をし、長期計画で大規模再開発をすべきだと思います。

【類似意見 3 件、男性からのご意見】

### 景観

#### ◇まちの景観

▼街路樹や植え込みなどの整備をお願いします。

【類似意見 3 件】

▼景観に配慮した開発をしてください。

【類似意見 3 件】

▼ごみのない美しいまち、花のきれいなまちとなることを願っています。

【類似意見 4 件、女性からのご意見】

### 環境

#### ◇生活環境

▼ごみの出し方などのマナーを向上させてほしいです。

【類似意見 2 件、女性からのご意見】

▼粗大ごみの一部有料化も検討してはいかがでしょうか。

【20 歳代・女性からのご意見】

▼市内河川や排水溝などが汚れているので、まちをきれいにしてほしいです。

【類似意見 3 件、主に女性からのご意見】

▼交通マナーの改善を徹底してほしいです。

【類似意見 5 件、主に男性からのご意見】

### 教育・文化

#### ◇教育・文化

▼和歌山市内に総合大学の誘致をお願いします。

【類似意見 2 件】

▼学校設備の充実をお願いします。

【類似意見 2 件、男性からのご意見】

## 景気対策

### ◇地域経済

▼地域経済の発展を願います。

【類似意見 6 件、主に女性からのご意見】

### ◇雇用条件

▼雇用の条件や環境をよくし、雇用率のアップをしてほしいです。

【類似意見 2 件】

### ◇企業誘致

▼企業を誘致し、活性化していくことが大切だと思います。

【類似意見 13 件】

## 産業振興

### ◇地域産業

▼ショッピングモールやスーパーなどを充実させてほしいです。

【類似意見 2 件】

▼大きなショッピングモールより近くの商店や小型スーパーなどが充実する支援をしてほしいです。

【類似意見 2 件、河西部・女性からのご意見】

▼梅やみかん、桃などの特産物や自然を活用できないでしょうか。

【70 歳代・女性からのご意見】

## 市民参加・市民協働

### ◇アンケート調査の活用

▼アンケートの項目が多くて難しいところもあり、次回からは少なく簡単にできるようにお願いします。

【類似意見 9 件】

▼アンケートの結果、どのように対処し、対策をしているかを知りたいと思います。

【40 歳代・男性からのご意見】

▼アンケートの調査を委託せずに実施できないでしょうか。

【類似意見 4 件、40 歳代からのご意見】

### ◇社会活動、地域活動

▼自治会の高齢化に伴い、自治会活動に支障ができています。

【類似意見 3 件、主に 60 歳代・男性からのご意見】



▼美化活動やイベントの開催には市民の任意団体やボランティアに協力を呼びかけたらいい  
と思います。

【類似意見 3 件】

▼地域活動に積極的に参加したいと思います。

【類似意見 2 件、女性からのご意見】

## 福祉

### ◇高齢者・障害者の支援

▼障害者が利用しやすいサービスの充実をお願いします。

【類似意見 4 件】

▼高齢者の支援について詳しく、優しく伝わるようにお願いします。

【類似意見 5 件、主に女性からのご意見】

▼一人住まいの高齢者への見回りなどの対策を考えてください。

【類似意見 3 件、主に男性からのご意見】

### ◇子育て支援

▼子どもの医療費の無料化を小学生まで拡げるなど、子育て支援を充実させてほしいです。

【類似意見 2 件、男性からのご意見】

▼仕事と子育てが両立できるよう、保育所や学童保育などの充実が必要です。

【類似意見 5 件】

### ◇社会保障

▼社会保障サービス（生活保護など）の審査を厳格にしてほしいです。

【類似意見 5 件】

▼国民健康保険料、介護保険料、国民年金が高く、支払うのが大変です。

【類似意見 11 件、主に女性からのご意見】

▼年金などの行政手続きのわかりやすい説明が必要です。

【30 歳代・女性からのご意見】

## 3、具体的な事業・施策に関するご意見

### 下水道

▼公共下水道の完全施行の早期実現を望みます。

【類似意見 4 件、主に女性からのご意見】

▼下水道料金の見直しをお願いします。

【類似意見 2 件】

## 公共交通機関

▼高齢化が進む中、公共交通機関の充実を望みます。

【類似意見 12 件】

## 公共施設

▼適切な公共施設の整備、配置をお願いします。

【類似意見 10 件】

▼市役所の土曜日開庁を午前中だけでもお願いします。

【50 歳代・男性からのご意見】

## 道路

▼主要道路の整備をお願いします。

【類似意見 9 件】

▼生活道路の整備をお願いします。

【類似意見 8 件】

▼自転車道と歩道の拡幅や整備をしてほしいです。

【類似意見 5 件、主に女性からのご意見】

▼歩道の凹凸を解消して下さい。

【類似意見 2 件】

## 防災

▼地震対策をよろしくをお願いします。

【類似意見 2 件、女性からのご意見】

▼防災行政無線が家の中で聞きづらいです。

【60 歳代・男性からのご意見】

▼災害時の要援護者への対応に不安です。

【類似意見 2 件、女性からのご意見】

▼安全な避難場所の確保をお願いします。

【類似意見 3 件、主に 60 歳代からのご意見】

▼災害時の避難路の整備を進めてほしいです。

【類似意見 3 件、主に中心部・女性からのご意見】

▼災害による二次災害対策への取組みをお願いします。

【類似意見 3 件】

## 安心安全なまちづくり

▼街灯をつけてほしいです。

【類似意見 3 件、主に中心部・60 歳代からのご意見】

▼警察や消防の人員をもっと増やすことも重要です。

【類似意見 2 件、男性からのご意見】

---

#### 4、行政の体制、市職員等に関するご意見

##### 行政システム

###### ◇職員の姿勢、対応

▼市の職員の意識改革を望みます。

【類似意見 22 件】

---

▼市の窓口や職員の方の対応が丁寧でよくなっていると思います。

【類似意見 11 件】

---

###### ◇市職員、市議会議員の人員削減

▼市職員、市議会議員の人員削減と給与の見直しをお願いします。

【類似意見 9 件】

---

##### 財政

▼税政について、市民に理解できるよう説明をお願いします。。

【類似意見 6 件、主に女性からのご意見】

---

▼住民税などの税金が高いように思います。

【類似意見 4 件】

---

\*\*\*\*\*

## 調查票

\*\*\*\*\*



# 和歌山市政世論調査(平成 25 年度)アンケート調査票

このアンケートは、**7月31日(水)まで**に返信用封筒に入れて、切手を貼らずにお出してください。

## 1. あなたご自身のことについてお尋ねします。

### 問1 あなたの居住区はどこですか？

1. 中心部

本町・城北・広瀬・雄湊・大新・新南・吹上・砂山・今福・高松・芦原・宮前・中之島・宮北

2. 南部

雑賀・雑賀崎・和歌浦・名草・田野

3. 東部

四箇郷・宮・西和佐・和佐・小倉

4. 東南部

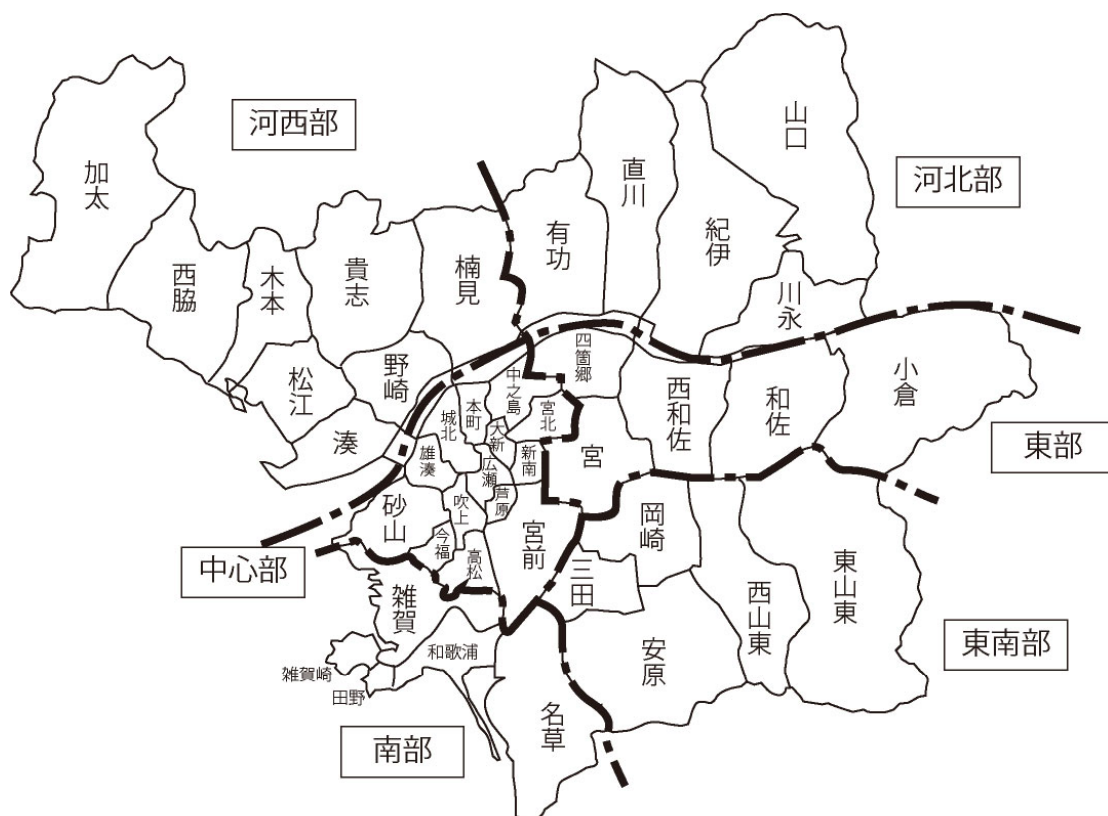
岡崎・三田・安原・西山東・東山東

5. 河西部

野崎・湊・松江・楠見・貴志・木本・西脇・加太

6. 河北部

有功・直川・紀伊・川永・山口



**問2 あなたの性別は？**

1. 男性 2. 女性

**問3 あなたの年齢は？**

1. 18～19歳 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳  
5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70～79歳 8. 80歳以上

**問4 あなたの職業は？**

1. 会社員 2. 自営業  
3. 農林水産業 4. 公務員  
5. パート・アルバイト 6. 専業主婦  
7. 学生 8. 無職  
9. その他 ( )

**問5 あなたが和歌山市に住んでいる年数は？**

1. 1年未満 2. 1～3年未満  
3. 3～5年未満 4. 5～10年未満  
5. 10～20年未満 6. 20～30年未満  
7. 30年以上

**問6 あなたは現在、結婚をしていますか？**

1. 結婚している 2. 配偶者と離・死別した  
3. 結婚していない

**問6-1 問6で「1. 結婚している」と回答された方のみお答えください。**

**夫婦とも働いていますか？**

1. 夫婦共働きである 2. 夫のみ働いている  
3. 妻のみ働いている 4. どちらも働いていない

**問7 あなたは現在、どなたと一緒に住んでいますか？該当するものをすべてお選びください。**

1. 自分ひとり 2. 配偶者  
3. 子ども（未婚） 4. 子ども（既婚）  
5. 子どもの配偶者 6. 孫  
7. 自分の親 8. 配偶者の親  
9. 兄弟姉妹 10. 祖父母  
11. その他 ( )





- |                   |              |
|-------------------|--------------|
| 11. 幼稚園などへの送り迎え   | 12. 短時間の子守り  |
| 13. 子どもの登下校時の見守り  | 14. 防犯のための巡回 |
| 15. 災害時の避難支援・安否確認 | 16. 特にない     |
| 17. その他 ( )       |              |

**問 11 あなたは、地域における助け合いを活発にするためにはどのようなことが必要だと思いますか？該当するものをすべてお選びください。**

1. 隣近所の住民同士の普段からの付き合い
2. 高齢者や子どもなどへの日常的な声かけ
3. 地域の伝統的な行事などを通じて人のつながりを広げていく
4. 困っている人や助け合いの場について情報を得やすくする
5. 同じような問題で困っている人同士の交流
6. 地域活動の積極的な情報提供と参加の呼びかけ
7. 誰もが集まることができる身近な場所づくり
8. 個人の趣味や活動を活かせる場所
9. ボランティア活動の拠点となる場所
10. 地域活動に携わる人の育成
11. 地域で活動されている人たちの連携づくり
12. 地域活動の活動費・運営費などの資金援助
13. 学校教育や社会教育での福祉教育の充実
14. 市からの働きかけ
15. その他 ( )

**問 12 あなたは「地域活動」に参加したことがありますか？該当する番号をお選びください。**

地域活動内容	現在参加している	過去に参加したことがある	参加したことがない
1. 自治会活動	1	2	3
2. 学校や幼稚園・保育園などのPTA活動	1	2	3
3. 祭りなどの行事	1	2	3
4. 子ども会・青年団・婦人会・老人クラブ活動	1	2	3
5. スポーツ、趣味・娯楽などのサークル	1	2	3
6. 清掃などのボランティア	1	2	3
7. その他 ( )	1	2	3

**問 13 「地域活動」への参加をお願いされた場合、参加しますか？あなたの考えに近いものをつぎの中から1つお選びください。**

- |              |                |
|--------------|----------------|
| 1. 積極的に参加する  | 2. 内容によっては参加する |
| 3. おそらく参加しない | 4. 参加しない       |
| 5. わからない     |                |

問 14 あなたは「ボランティア活動」（近隣への手助け、支援を含む）に参加していますか？  
また、今後、参加したいと思えますか？「現在の状況」と「今後の意向」のそれぞれに該当する番号・記号をお選びください。

ボランティア活動内容	現在の状況		今後の意向	
	い 参 加 し て	い 参 加 し て な い	た 参 加 し たい	く 参 加 し た くない
1. 高齢者関連（見守り活動、趣味活動への協力、施設訪問など）	1	2	A	B
2. 障害者関連（手話・音訳・点字による支援、外出支援、施設訪問など）	1	2	A	B
3. 子育て関連（託児、子育て相談や子育てサークル支援など）	1	2	A	B
4. 青少年関連（悩み相談、交流、見守りなど）	1	2	A	B
5. 保健（健康教室などの支援、食生活改善活動など）	1	2	A	B
6. 福祉のまちづくり（福祉マップづくりなど）	1	2	A	B
7. 防犯・防災	1	2	A	B
8. 環境美化（自然愛護や美化活動、リサイクル運動など）	1	2	A	B
9. 文化・教育・スポーツ	1	2	A	B
10. その他（ ）	1	2	A	B

問 15 問 12 で地域活動のいずれの項目も「3. 参加したことがない」、問 14 でボランティア活動のいずれの項目も「2. 参加していない」、「B. 参加したくない」を回答された方のみお答えください。その理由は何ですか？該当するものをすべてお選びください。

- |                       |                         |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 仕事や勉強で時間がない        | 2. 家事や育児で時間がない          |
| 3. 病人や高齢者の世話や介護で時間がない | 4. 家族の理解がない             |
| 5. 健康や体力に自信がない        | 6. 活動での出費が増える           |
| 7. 一緒に活動する仲間がいない      | 8. 人間関係が難しい             |
| 9. 無理な参加を求められる        | 10. 活動に参加するきっかけがない      |
| 11. 身近なところに活動できる場所がない | 12. 参加したいと思う活動の情報が得られない |
| 13. 関心がない             | 14. その他（ ）              |

#### 4. 消防・防災についてお尋ねします。

問 16 あなたは、ご自宅に「住宅用火災警報器」（煙式・熱式）を設置していますか？

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 設置している | 2. 設置していない |
|-----------|------------|
- （共同住宅等で自動火災報知設備が設置されている場合は、設置していると回答してください。）

※ 「住宅用火災警報器」とは、火災が発生したときの煙や熱を自動的に感知して、警報音や音声などで火災を知らせてくれるものです。

問 16-1 問 16 で「2. 設置していない」と回答された方のみお答えください。

和歌山市では、すべての住宅の寝室等に「住宅用火災警報器」の設置が義務づけられていることを知っていますか？

- |          |         |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|



5. 固定する方法はわかっても、自分ではできないと思う
6. 転倒しても危険ではないと思う
7. 固定しても大地震の時には効果がないと思う
8. 地震が起きても転倒しないと思う
9. 部屋の見た目が悪くなる
10. 特に理由はない
11. その他 ( )

**問 20-3 問 20-1 で「8. 非常持出品や備蓄品を用意している」と回答された方のみお答えください。あなたは、どのようなものを用意していますか？**

**該当するものをすべてお選びください。**

1. 乾パン、缶詰などの食料品
2. 飲料水
3. 携帯ラジオ
4. 手ぶくろ、ヘルメット、防災頭巾
5. 懐中電灯、ローソク
6. 救急医薬品
7. カセットコンロ
8. 予備の乾電池
9. 携帯用トイレ
10. その他 ( )

**問 21 家族や近所の方と防災に関して取り決めていることはありますか？**

**該当するものをすべてお選びください。**

1. 連絡方法
2. 集合場所
3. 避難経路
4. 役割分担
5. 特になし
6. その他 ( )

**問 22 和歌山市では昭和 56 年以前に建てられた木造住宅に、無料で木造住宅耐震診断士を派遣し、耐震診断をする制度があります。お住まいの耐震診断についてお答えください。**

1. すでに耐震診断を受けている
2. すでに耐震改修を行った
3. 耐震診断を受けたが、耐震改修はしていない
4. 耐震診断を受ける気持ちはあるが、まだ受けていない
5. 耐震診断の制度を知らなかった、ぜひ受けてみたい
6. 耐震診断を受けるつもりはない
7. 賃貸なのでわからない、又は勝手にできない
8. 昭和 57 年以降に建てられた木造住宅である、又は木造住宅ではない
9. その他 ( )

**問 23 あなたは、お住まいの地域の避難場所を知っていますか？**

1. 知っている
2. 知らない

**問 24 あなたは、避難所が\*開設されるタイミングを知っていますか？**

1. 知っている
2. 知らない

※ 開設のタイミングは、災害が発生し、又は二次災害が発生するおそれがあり、避難者の収容を必要と認めるときや、自主的な避難があったときなどです。

**問 25 あなたは、和歌山市が作成しているハザードマップを知っていますか？**

**該当するものをすべてお選びください。**

1. 和歌山市防災マップ
2. 紀の川洪水ハザードマップ
3. 亀の川洪水ハザードマップ
4. 和田川洪水ハザードマップ
5. 1～4 のマップは知らない

**問 26 あなたは、地震の大きな揺れを感じたら、津波に備えてどう行動しますか？**

**沿岸地域にいる場合を想定して、つぎの中から 1 つお選びください。**

1. 津波を警戒してすぐ避難する
2. テレビやラジオの情報を確認してから避難する
3. 行政から避難勧告などがあれば避難する
4. その他 ( )
5. 特になにもしない

問 27 和歌山市では、災害から「わが家わが町を守るため」地域の人々が結成した自主防災組織の育成を推進しています。

あなたは災害発生に備え、地域の自主防災組織に参加したいと思いますか？

1. 積極的に参加したい
2. 行政機関や自治会などから要請があれば参加したい
3. 参加したくない
4. わからない
5. その他 ( )

問 28 災害発生時や災害が発生するおそれのある時、防災行政無線などによって市から情報を発信していますが、その情報はあなたに伝わっていますか？

1. 伝わっている
2. 伝わっていない ※伝わっていない理由をご記入ください。

【理由： \_\_\_\_\_】

問 29 あなたは、災害発生時や災害が発生するおそれのある時、その情報はどこから得ていますか？該当するものをすべてお選びください。

1. テレビ・ラジオ
2. テレビのデータ放送
3. インターネット(県・市のホームページ)
4. 防災行政無線
5. 防災情報電話案内サービス
6. その他 ( )

## 5. 防犯対策についてお尋ねします。

問 30 あなたは、和歌山市の治安状況についてどう感じていますか？

1. 治安が良い
2. どちらかといえば治安が良い
3. どちらかといえば治安が悪い
4. 治安が悪い
5. わからない

問 30-1 問 30 で「3. どちらかといえば治安が悪い」、「4. 治安が悪い」と回答された方のみお答えください。治安が悪いと感じていることは何ですか？該当するものをすべてお選びください。

1. テレビなどで犯罪事件の報道が多いように感じるから
2. 不審者などが増えているように感じるから
3. 暗がりが多いように感じるから
4. 見通しの悪い場所などが多いから
5. 地域のコミュニティが希薄になったように感じるから
6. 特に理由はないが、不安を感じる
7. その他 ( )

問 31 あなたが犯罪の被害に遭わないために、日常生活で心がけていることは何ですか？該当するものをすべてお選びください。

1. 振り込め詐欺などの被害に遭わないように啓発資料やニュースなどをよく確認している
2. 家や車の鍵は少しの時間でも必ず掛けている
3. 玄関や窓には鍵を二重にしている
4. 少し遠回りになっても、明るい道を通る
5. 防犯ブザーなどの防犯機器を携帯している
6. 道を歩くときは、道路側にカバンを持たないなど、ひたたくりに注意している
7. 自転車のカゴにはひたたくり防止カバーやネットを付けている

次ページへつづく→

8. 地域の犯罪発生状況に注意している
9. 見守り活動や近所の人とのあいさつを積極的にするなど、不審者を近づけにくい環境づくりを意識している
10. 自転車には鍵を2つ以上付けている
11. 自動車やオートバイに警報機などの盗難防止装置を付けている
12. 自動車内には荷物を置かないようにしている
13. 門灯などを点灯して防犯を意識している
14. その他 ( )
15. 特になにもしていない

**問 32 あなたは、和歌山市が青色回転灯付防犯パトロール車(通称：青パト)「まもるくん」により、各種防犯活動を行っていることを知っていますか？**

1. 知っている                      2. なんとなく知っている                      3. 知らない

※ 青色回転灯付防犯パトロール車(通称：青パト)とは、一定の要件のもとで警察から許可を受け、青色回転灯を装備して巡回パトロール等を行う車両です。現在、全国の自治体や自主防犯団体等で運用が進められています。

## 6. 消費者意識についてお尋ねします。

**問 33 あなたは、悪質商法の手口について知っていますか？**

**該当するものをすべてお選びください。**

- |             |                |             |
|-------------|----------------|-------------|
| 1. 架空請求     | 2. 振り込め詐欺      | 3. ワンクリック請求 |
| 4. 点検商法     | 5. 利殖商法        | 6. 当選商法     |
| 7. サクラサイト商法 | 8. 送りつけ商法      | 9. 押し買い     |
| 10. 劇場型勧誘   | 11. 知っているものはない |             |

**問 33-1 問 33 で「11. 知っているものはない」を回答されていない方のみお答えください。**

**選択した手口をどのようにして知りましたか？**

**該当するものをすべてお選びください。**

- |            |                 |        |
|------------|-----------------|--------|
| 1. 新聞      | 2. テレビ          | 3. ラジオ |
| 4. インターネット | 5. パンフレットなどの印刷物 |        |
| 6. 家族・友人から | 7. 研修会          |        |
| 8. その他 ( ) |                 |        |

**問 34 あなたは、悪質商法の被害に遭わないために日頃から気をつけていることはありますか？**

1. はい                                      2. いいえ

**問 34-1 問 34 で「1. はい」と回答された方のみお答えください。悪質商法の被害に遭わないために日頃から気をつけていることは何ですか？該当するものをすべてお選びください。**

1. 不審なはがきやメールに反応しない
2. うまい儲け話は疑う
3. 身近な人に相談している
4. あいまいな返事をしない
5. インターネットや携帯端末などのセキュリティ対策をしている
6. 事業者の選定に気をつけている
7. 広告や噂を鵜呑みにしない

## 7. 国民体育大会・全国障害者スポーツ大会についてお尋ねします。

問 35 あなたは、2015 年（平成 27 年）に和歌山県において開催される、第 70 回国民体育大会（紀の国わかやま国体）終了後、引き続き第 15 回全国障害者スポーツ大会（紀の国わかやま大会）が開催されるのを知っていますか？

1. 知っている
2. 知らない

問 36 県外から来られた選手たちを温かくおもてなしするために、多くのボランティアが必要となります。あなたは、ボランティア活動に参加することについてどう考えますか？

1. ぜひ参加したい
2. 頼まれれば参加してもよい
3. ボランティアの作業内容や条件によっては、参加してもよい
4. 参加したくない
5. どちらともいえない

## 8. 男女共生についてお尋ねします。

問 37 あなたは、「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべき」という考え方についてどのように思いますか？つぎの中から 1つお選びください。

1. 賛成
2. どちらかといえば賛成
3. どちらかといえば反対
4. 反対
5. わからない

## 9. 男性の育児参加についてお尋ねします。

問 38 和歌山市では男性の育児参加を促進するため、各種事業に取り組んでいます。あなたは、男性が育児に参加することに対してどのように思いますか？つぎの中から 1つお選びください。

1. 積極的に参加すべきだと思う
2. どちらかというに参加すべきだと思う
3. 特に参加する必要はないと思う
4. わからない

問 39 あなたは、男性が育児休業を取得することについてどのように思いますか？つぎの中から 1つお選びください。

1. 積極的に取得すべきだと思う
2. どちらかというを取得すべきだと思う
3. 特に取得する必要はないと思う
4. わからない

## 10. 健康についてお尋ねします。

問 40 あなたの健康状態はいかがですか？

1. よい
2. まあまあよい
3. ふつう
4. あまりよくない
5. 悪い

問 41 あなたは、意識的に健康づくりに取り組んでいますか？

1. はい
2. いいえ

☆問 4 2～問 4 4－2までは20歳以上の方のみ伺います☆

問 42 あなたは、タバコを吸っていますか？

1. 現在吸っている
2. 吸ったことはあるが今は吸っていない
3. 吸ったことがない

**問 42-1** 問 42 で「1. 現在吸っている」又は「2. 吸ったことはあるが今は吸っていない」と回答された方のみお答えください。

「一日の平均喫煙本数」は何本ですか ( ) 本  
「喫煙期間」は何年ですか ( ) 年

**問 42-2** 問 42 で「1. 現在吸っている」と回答された方のみお答えください。最も当てはまるもの 1 つをお選びください。

1. やめる気はない
2. やめたいがやめられない
3. 簡単な方法やきっかけがあればやめたい

**問 43** あなたが、つぎの病気・症状の中で、今までにかかった、又は今かかっているものはありますか？該当するものをすべてお選びください。

1. 高血圧
2. 糖尿病
3. 脂質異常症
4. 高尿酸血症
5. がん
6. 心臓病
7. 脳卒中
8. 腰痛、ひざ等の関節痛
9. 骨粗しょう症
10. B型肝炎又はC型肝炎
11. その他 ( )
12. 特になし

**問 44** あなたは、定期的に、がん検診（胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がんのいずれか）を受けていますか？

1. 定期的に受けている
2. 定期的には受けていない
3. 一度も受けたことがない

※ 定期的な検診とは、「胃がん・肺がん・大腸がん」は1年に1回、「子宮頸がん・乳がん」は2年に1回の検診を受けることです。

**問 44-1** 問 44 で「1. 定期的に受けている」と回答された方のみお答えください。定期的に何の検診を受けていますか？該当するものをすべてお選びください。

1. 胃がん
2. 肺がん
3. 大腸がん
4. 子宮頸がん
5. 乳がん

**問 44-2** 問 44 で「2. 定期的には受けていない」「3. 一度も受けたことがない」と回答された方のみお答えください。その理由は何ですか？該当するものをすべてお選びください。

1. 健康なので必要ない
2. 受けようと思っているが、つい忘れてしまう
3. がんを発見されるのが怖い
4. 面倒だ
5. 忙しい
6. お金がかかる
7. 受ける方法を知らない
8. 受診場所が遠い
9. 病気になればいつでも受診できる
10. その他 ( )

**問 45** あなたは、「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」という病気を知っていますか？

1. 言葉も意味もよく知っている
2. 言葉も知っているし、意味もだいたい知っている
3. 言葉は聞いたことがあるが、意味はあまり知らない
4. 言葉も意味も知らない

**問 46** あなたは、「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」という言葉を知っていますか？

1. 言葉も意味もよく知っている
2. 言葉も知っているし、意味もだいたい知っている
3. 言葉は聞いたことがあるが、意味はあまり知らない
4. 言葉も意味も知らない



**問 47 あなたは、B型及びC型肝炎ウイルス検査を受けたことがありますか？**

1. B型及びC型肝炎ウイルス検査を受けた
2. B型肝炎ウイルス検査を受けた
3. C型肝炎ウイルス検査を受けた
4. 肝炎ウイルス検査を受けたことはあるが、どちらかわからない
5. 肝炎ウイルス検査を受けたことはない

**問 47-1 問 47 で肝炎ウイルス検査を受けたことがあると回答された方のみお答えください。**

**肝炎ウイルス検査は何で受けましたか？該当するものをすべてお選びください。**

1. 妊婦健診
2. 手術前の検査
3. 保健所での無料検査
4. 病院での無料検査
5. 職場健診
6. その他 ( )

**問 48 和歌山市保健所で「肝炎ウイルスの感染の恐れがあったが、今まで検査を受けたことがない方」を対象に無料の肝炎ウイルス検査を実施していることを知っていますか？**

1. 知っている
2. 知らない

**問 49 B型及びC型肝炎ウイルスの感染経路として該当していると思うものをすべてお選びください。**

**a. B型肝炎ウイルスの感染経路について**

1. わからない
2. ウイルスが混入している輸血、血液製剤の投与
3. 母子感染
4. ウイルスに汚染された注射器や注射針の使用(覚せい剤の回し打ちなど)
5. ウイルスに汚染された器具を使って刺青を彫ったり、ピアスの穴をあける
6. 感染予防行動をとらない性行為

**b. C型肝炎ウイルスの感染経路について**

1. わからない
2. ウイルスが混入している輸血、血液製剤の投与
3. 母子感染
4. ウイルスに汚染された注射器や注射針の使用(覚せい剤の回し打ちなど)
5. ウイルスに汚染された器具を使って刺青を彫ったり、ピアスの穴をあける
6. 感染予防行動をとらない性行為

**問 50 B型及びC型肝炎ウイルスについて知っていることは何ですか？該当するものをすべてお選びください。**

1. B型及びC型肝炎ウイルスについて知っていることはない
2. B型もしくはC型肝炎ウイルスに感染し慢性肝炎を発症した場合、放っておくと肝硬変や肝がんに進展する恐れがある
3. B型肝炎ウイルスによる慢性肝炎では、核酸アナログ製剤及びインターフェロン治療において治療費の助成制度が存在する
4. C型肝炎ウイルスによる慢性肝炎では、インターフェロン治療において治療費の助成制度が存在する
5. 肝炎ウイルス検査は、現在、妊婦健診でも実施している
6. 肝炎ウイルス検査を手術前に実施している医療機関もある
7. B型及びC型肝炎ウイルスは、日常生活(食事・共同浴場・トイレ・握手・抱擁など)では感染しない
8. その他 ( )



## 1 2. 日常の買い物環境についてお尋ねします。

問 53 あなたは、日常の買い物に不便を感じていますか？

1. はい 2. いいえ

問 53-1 問 53 で「1. はい」と回答された方のみお答えください。あなたは、買い物環境を良くするにはどのようなことが必要だと思いますか？

該当するものをすべてお選びください。

1. 宅配サービス 2. お店への送迎サービス  
3. 近隣への店舗の誘致 4. 移動販売車  
5. 家族の協力 6. 公共交通機関の充実  
7. 介護ヘルパーなどの支援 8. 特になし  
9. その他 ( )

## 1 3. 家庭での動物の飼育状況についてお尋ねします。

問 54 あなたが現在、飼育している動物種は何ですか？該当するものをすべてお選びください。

1. 犬 2. 猫 3. 犬・猫以外のほ乳類 4. 鳥類  
5. は虫類 6. その他 ( ) 7. 何も飼っていない

問 54-1 問 54 で「7. 何も飼っていない」以外を回答された方のみお答えください。

あなたが、現在、飼育している動物はどこから入手しましたか？

該当するものをすべてお選びください。

1. ペットショップで購入 2. ブリーダーから直接購入  
3. 知人などから譲渡された 4. 保健所・動物愛護センターから譲渡された  
5. タウン誌やインターネットの掲示板などを通じて譲渡された  
6. 動物愛護団体などから譲渡された 7. 所有者不明の動物を拾得した

問 54-2 問 54 で「1. 犬」、「2. 猫」と回答された方のみお答えください。

あなたは、現在、飼っている犬や猫へ避妊・去勢手術を実施していますか？

1. している 2. 今はしていないが、手術する予定がある  
3. していない 4. 不明

問 54-3 問 54-2 で「3. していない」と回答された方のみお答えください。

手術をしていない理由は何ですか？

最も当てはまるもの1つをお選びください。

1. 手術するのはかわいそう 2. 手術する必要性を感じない 3. 手術費用が高い  
4. 繁殖する予定がある 5. 手術について知らない 6. わからない

## 1 4. 市民公益活動についてお尋ねします。

※ 「市民公益活動」とは、NPO活動やボランティア活動等のように、市民が自発的に行う公益的で非営利の活動です。

問 55 あなたは、市民公益活動の経験はありますか？

1. 現在、活動している 2. 活動したことがある  
3. 活動したことがない 4. その他 ( )

問 55-1 問 55 で「3. 活動したことがない」と回答された方のみお答えください。

活動しない理由は何ですか？該当するものをすべてお選びください。

1. 時間がない
2. どこでどのような活動をしているのかわからない
3. 一緒に活動する仲間がない
4. 高齢、体調不良のため
5. 興味・関心がない
6. その他 ( )

問 56 あなたは、「協働」という言葉を知っていますか？

1. 内容もよく知っている
2. 聞いたことはあるが、詳しくは知らない
3. 知らない

※ 「協働」とは、公益という共通の目的のもとに、行政と市民(市民公益活動団体等)が互いの立場を認めながら、対等な関係で連携・協力し、共通課題の解決に当たる取組みです。

問 57 協働のまちづくりを進める上で、行政が市民公益活動団体支援のために行う施策として、最も相応しいと思うものは何ですか？該当するものをすべてお選びください。

1. 活動に役立つ情報の提供
2. 団体同士が交流できる機会や場の提供
3. 活動に役立つ講座等の開催
4. 補助金や助成金による資金の支援
5. 何でも相談できる窓口の整備
6. 活動拠点の提供
7. 市民参画ができる仕組みづくり
8. その他 ( )

## 15. 節水についてお尋ねします。

問 58 ご家庭の生活用水は主に何を使っていますか？つぎの中から1つお選びください。

1. 水道水
2. 井戸水
3. 水道水と井戸水の両方
4. その他 ( )

問 59 あなたは日常生活において、節水を心がけていますか？

1. 積極的に節水している
2. ある程度節水している
3. どちらかといえば節水していない
4. 節水していない
5. どちらともいえない

問 59-1 問 59 で「1. 積極的に節水している」又は「2. ある程度節水している」と回答された方のみお答えください。

どのような節水に心がけていますか？該当するものをすべてお選びください。

1. 蛇口はこまめに閉め、シャワーはこまめに止めている
2. 節水器具、機器を使用している
3. 食器は貯め洗いしている
4. 食器の油污れなどを紙で拭き取って洗っている
5. 風呂の残り湯を利用している
6. 洗濯はまとめ洗いをする
7. 洗面所では洗面器などに水を貯めて洗っている
8. 歯磨きにはコップを使っている
9. 洗車や散水にはバケツやじょうろを使っている
10. トイレでは大小レバーを使い分けている
11. 雨水を利用している
12. その他 ( )



問 64 あなたが、「市報わかやま」の中で興味のあるコーナーは何ですか？  
該当するものをすべてお選びください。

- |          |          |                |
|----------|----------|----------------|
| 1. 表紙(表) | 2. 特集    | 3. 和歌山市からのお知らせ |
| 4. まちの話題 | 5. 募集    | 6. 講座・教室       |
| 7. 施設案内  | 8. 催し    | 9. 健康・子育て      |
| 10. 裏表紙  | 11. 特になし | 12. その他( )     |

問 65 平成 25 年 5 月号から「市報わかやま」をフルカラーに変更しました。  
「市報わかやま」の見やすさについてお尋ねします。

1. 満足                      2. やや満足                      3. やや不満                      4. 不満  
\* 「3」、「4」を選んだ理由 ( )

問 66 「市報わかやま」に掲載されている情報量についてお尋ねします。

1. 満足                      2. やや満足                      3. やや不満                      4. 不満  
\* 「3」、「4」を選んだ理由 ( )

問 67 市の行政情報などを得る上で「市報わかやま」の役立ち度についてお尋ねします。

1. 満足                      2. やや満足                      3. やや不満                      4. 不満  
\* 「3」、「4」を選んだ理由 ( )

問 68 和歌山市ホームページ「わかやまCITY情報」を閲覧していますか？

1. よく閲覧する    2. たまに閲覧する    3. ほとんど閲覧しない  
4. 全く閲覧しない※4を選択した方は問 72 の設問へお進みください。  
\* 「3」、「4」を選んだ理由 ( )

問 69 和歌山市ホームページ「わかやまCITY情報」のトップページでよく使う項目、興味のある項目は何ですか？該当するものをすべてお選びください。

- |                |             |
|----------------|-------------|
| 1. ようこそ市長室へ    | 2. いざという時には |
| 3. 和歌山市について    | 4. お役立ち情報   |
| 5. オンラインサービス   | 6. 新着情報     |
| 7. 和歌山市からのお知らせ | 8. 簡単アクセス   |
| 9. 和歌山市議会      | 10. 施設予約    |
| 11. イベントカレンダー  | 12. 組織案内    |
| 13. 観光案内       | 14. 特になし    |
| 15. その他 ( )    |             |

問 70 和歌山市ホームページ「わかやまCITY情報」の構成（分類・ジャンル）の見やすさについてお尋ねします。

1. 満足                      2. やや満足                      3. やや不満                      4. 不満  
\* 「3」、「4」を選んだ理由 ( )

問 71 市の行政情報を知る上で和歌山市ホームページ「わかやまCITY情報」の役立ち度についてお尋ねします。

1. 満足                      2. やや満足                      3. やや不満                      4. 不満  
\* 「3」、「4」を選んだ理由 ( )

## 18. 市政運営についてお尋ねします。

問 72 和歌山市では、市民に開かれた市政運営を目指し取り組んでいるところです。  
あなたにとって、開かれた市政運営であるかを判断するには何を重視しますか？  
該当するものをすべてお選びください。

1. 市民に必要な情報が提供されているかどうか
2. 市民にとって市政に参画する（意見を伝える）機会があるかどうか
3. 市民目線で市政が進められているかどうか
4. 市民に対し説明責任が果たされているかどうか
5. 市役所や施設が利用しやすいかどうか
6. その他（ )

問 73 和歌山市では、市民に開かれた市政運営がされていると思いますか？

1. 思う
2. どちらかというと思う
3. 思わない（理由： )
4. わからない

※ 和歌山市では、市民に開かれた市政運営を行うため、主に以下のような取組みをしています。  
広報紙・ホームページ等による情報提供、「市長への手紙」等による市への提言、審議会等への公募委員の登用、パブリックコメント制度の活用、行政評価による事務事業チェックシートの公表、行政評価委員会による外部評価の公開、フロアマネージャーの配置、気くぱり市役所の推進 等

19. 和歌山市の取組みに対しての満足度・重要度についてお尋ねします。

問 74 和歌山市に住んでいて、つぎのことがらについてどのように感じていますか？

満足度と重要度から、それぞれ1つずつ選んで数字を○で囲んでください。

	満足度					重要度					
	非常に満足	満足	どちらとも言えない	不満	非常に不満	非常に重要	重要	どちらとも言えない	あまり重要ではない	全く重要ではない	
安心・安全なまち	地震や風水害などの災害に対する安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	暴力や犯罪に対する防犯体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	消防・救急救助の体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	交通安全に対する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	消費者生活相談の体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
優しいまち	地域住民の助け合い活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	医療・保健サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	高齢者・障害者に対する福祉サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	子どもや子育てに対する支援サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	人権が尊重される社会環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	男女が共生できる社会環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
元気なまち	地域産業(商工業・農林水産業)の発展	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	雇用対策や労働環境の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	中心市街地の活気	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	観光地としての魅力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	国内や国外との交流	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	地域住民のふれあい活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5



		満足度					重要度				
		非常に満足	満足	どちらとも言えない	不満	非常に不満	非常に重要	重要	どちらとも言えない	あまり重要ではない	全く重要ではない
快適なまち	基幹道路や生活道路の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	通勤・通学・買い物などの日常生活の 便利さ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	公園や下水道などの生活環境の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	海・山・川などの豊かな自然環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	資源ごみのリサイクル	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	快適で暮らしやすい住宅環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	まちなみの美しさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
教育のまち	学校・幼稚園などの教育環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	青少年の健全育成活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	生涯学習支援サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	芸術・文化・スポーツ活動への参加の 機会	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
その他	市政に対する市民参加のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	市民サービスなどの行政窓口の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

和歌山市の市政についてご意見をお聞かせください。

.....

.....

.....

\*\*\*\*\*ご協力ありがとうございました\*\*\*\*\*